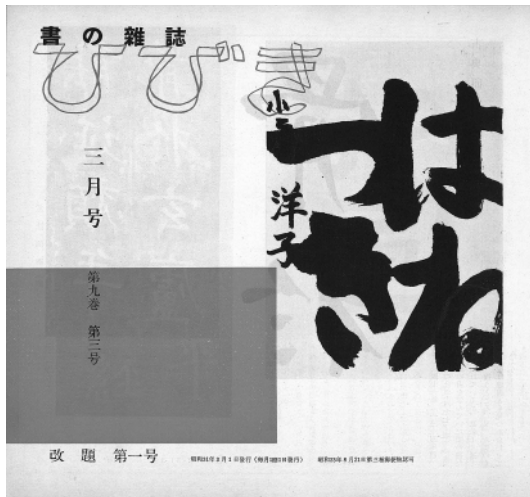


江口草玄が主幹として編集・発行した、主に児童・生徒向けの書の学習のための雑誌『ひびき』¹があった。今日も書道の競書雑誌は市中に数多あるが、書道塾で一般的に続けられている先生、師匠の書いたお手本のとおりに書かせる、その上、古典の臨書でさえも同様にして、師法と同じその用筆法をなぞり、その出来を評価するような競書雑誌とは異なり、『ひびき』は、子供達一人一人の人間としての創意を刺激し、「文字を書く」ことによって心の生長を培い、育てるため、多様な表現を児童・生徒に体験させるものだった。筆法取得、段級位至上の競書誌というより、表現の幅広さを経験し、書の広さ、奥深さを通して、個人の様々な表現を育む雑誌であった。この雑誌を通して草玄が子供達において実践した書教育を探り、その特異性を詳らかにすることは、草玄の書観の一面面が明らかとなるにとどまらず、自身の作品制作にも繋がっていったものと考えられることから、草玄の『ひびき』での活動を通覧し、考察を加える。

図1 『ひびき』創刊号 昭和三十一年（一九五六年）三月一日発行



1. 『ひびき』誌について

a. 『ひびき』前史、『墨友』と『書教育』

『ひびき』誌に触れる前に前身の『墨友』について概略しておく。

『墨友』は、墨人会の「小・中・高校生のためのテキスト」²として機関誌『墨人』の発行と同じ昭和二十七年（一九五二）四月に創刊され³、『墨人会編集、編輯人関谷大年、発行人森田子龍、発行所書道出版社』⁴で刊行している。その後、同二十八年十月号（第六巻第一〇号）から『書教育学会編集』⁵に改組され、同時に判型が長型（25.8 × 12.0 cm）から正方形型（17.7 × 19.0 cm）に変わっている。提出作品の評価は、「内容」、「表現（態度）」、「表現（技術）」の三点から、「大変よい」、「ややよい」、「よくない」の三段階を3、2、1の数値化して評点を付けるものであった。草玄も墨人会編集ということから参加しており、提出課題の参考作品掲載と子供達の提出作品への評の掲載が発行当初の判型が長型期には確認できるが、判型が正方形型に変更された後は、参考作品の掲載はなく、子供達の提出作品の評のみである⁶。

一方、『書教育』は、『書教育学会編集、発行人森田子龍、発行所書道出版社』⁷で昭和二十八年（一九五三）四月一日に創刊されている。こちらは『墨友』創刊の一年後の創刊で、書教育の確立推進のため『書教育学会』を結成し、研究誌『書教育』を中心に研究を進める指導者用の書の冊子である。B5判で創刊、第七号（同二十八年十月号）から『墨友』と同型の正方形型となっている。小学校の習字から高等学校の芸術科書道まで、教科書や手本問題、カリキュラム、指導要領の改訂、実践記録、現場の問題等を扱っていた。

〔註1〕『書』の最終号（昭和二十七年三月号）では、『墨人』の案内と共に『墨友』の案内が掲載され、「高校・中学・小学校に於ける書教育雑誌」すべての点に於て従来の在り方に大反省を加えた／見えて美しく習えは幅と深さを持つて楽しい」とある。また、『墨人』創刊号（同年四月）には、「〇人間性の開発を目的とする書芸術教育／〇日常書写技能の習得をはかる習字教育」の両面に亘る文字を書く生活を広く学習出来る／理想的な小・中・高生のためのテキストとある。なお、以降、引用文中「改行は」で示す。また、旧字体は新字体に改めた。

〔註2〕『墨友』創刊号も改題第一号とされ、第三種郵便認可が昭和二十三年八月二十一日となっていて、『書』の美学生生版（昭和二十三年八月創刊の認可日と同じである『墨友』第二号に第五巻第四号と記載され創刊号に第五巻第三号）の巻号記載はなし、巻号の連続も一致することから、『墨友』が『書』の美学生生版の改題と判る。

〔註3〕昭和三十年二月号（第八巻第二号）から墨美出版社発行。

〔註4〕昭和二十八年十月号までは書教育学会の代表者は関谷義道と記されていたが（十一月号欠本で未確認、不明）、十二月号からは代表者名掲載が無くなっている。発行人は森田子龍のまま。

〔註5〕草玄の『墨友』掲載記事目録は、「百寿 江口草玄のすべて」図

b.『ひびき』

書の雑誌『ひびき』は、江口草玄主幹により、昭和三十一年（一九五六）三月一日発行号を創刊号の改題第一号とし、草玄が墨人会を脱退した年末の同五十一年（一九七六）十二月一日発行号までの二十一年に亘り、毎月欠くことなく、全二百五十冊からなる（註7、資料1、参照）。判型は『墨友』の正方形型と一緒である（註8）。その発行等の変遷について表1に示す。

表1 『ひびき』発行等の変遷

巻号	発行年月日	特記事項
三月号（第九卷第三号・改題第一号）	昭和三十一年（一九五六）三月一日	創刊。編集人江口草玄／発行人森田子龍／発行所墨美出版社／事務取扱い 京都市北区紫竹下緑町五四ひびきの会／二十五円
四月号（第九卷第四号・改題第二号）	昭和三十一年（一九五六）四月一日	「発行所墨美社」に変更。
五月号（第九卷第五号・改題第三号）	昭和三十一年（一九五六）五月一日	「編集兼発行人江口草玄／発行所京都市北区紫竹下緑町五四ひびきの会」 に変更。／事務取扱い表記なくなる。
三月号（第十一卷第三号・改題第二十四号）	昭和三十三年（一九五八）三月一日	巻号を「改題第二十四号」と誤記。
四月号（第十一卷第四号・改題第二十五号）	昭和三十三年（一九五八）四月一日	巻号を「改題第二十五号」と誤記。
五月号（第十一卷第五号・改題第二十七号）	昭和三十三年（一九五八）五月一日	巻号が正しく「改題第二十七号」と記載される。
六月号（第十一卷第六号・改題第二十七号）	昭和三十三年（一九五八）六月一日	巻号を「改題第二十七号」と誤記。以降、終刊まで二号少ない表記のまま続く （以下省略）。
一月号（第十四卷第一号・改題第五十八号）	昭和三十六年（一九六一）一月一日	価格改定三十円
一月号（第十七卷第一号・改題第九十五号）	昭和三十九年（一九六四）二月一日	「発行所京都市北区紫竹下緑町五四日本書道学舎」に変更。
四月号（第十九卷第四号・改題第一百一十二号）	昭和四十一年（一九六六）四月一日	価格改定四十円
四月号（第二十二卷第四号・改題第五百五十七号）	昭和四十四年（一九六九）四月一日	価格改定五十円
一月号（第二十五卷第一号・改題第九百九十九号）	昭和四十七年（一九七二）一月一日	価格改定七十円
二月号（第二十六卷第三号）	昭和四十八年（一九七三）二月一日	巻号を「第二十六卷第三号・改題第二百三十三号」と誤記。
八月号（第二十六卷第八号・改題第二百九十九号）	昭和四十八年（一九七三）八月一日	発行所住所変更、「京都市東山区山科音羽野田町ノ四・B棟六二二」
一月号（第二十七卷第二号・改題第二百一十四号）	昭和四十九年（一九七四）一月一日	価格改定百円
十月号（第二十九卷第十号・改題第二百四十八号）	昭和五十一年（一九七六）十月一日	十月、山科区が東山区から分区し、住所表示変更、「京都市山科区音羽野田町ノ四・B六二二」
十二月号（第二十九卷第十二号・改題第二百四十九号）	昭和五十一年（一九七六）十二月一日	巻号を「改題第二百四十九号」と誤記。／表紙に堀尾勝彦が継続する『響』を表記。／巻末の「編集室」には草玄が「今月号までは私の編集です」とあるが、編集兼発行人には堀尾名が記されている。／発行所、住所、共に山科のまま。

録二〇一八 新潟県立近代美術館「江口草玄 文獻一覽」
二百八十五頁参照。

（註6） No.21 昭和三十年二月から発行所が墨美出版社に変更。

（註7） 全二百五十冊だが、途中、巻号の誤記がある。ただし、終刊号の第二百四十九（二百五十七）号は、誌名が漢字で『響』となり、堀尾勝彦編集とした表記となる。表1および、資料1

「書の雑誌『ひびき』全二百五十冊表紙図版、資料2-書の雑誌『ひびき』全二百五十冊内容目録、参照。以降、巻号表記の（ ）内は正しい巻号数。

（註8） ただし、巻号によって若干の大きさに差異がある。

『ひびき』誌は巻号について『墨友』の改題として引き継いでいるものの註9、内容については、連続性はないものとしている。草玄は、「書の雑誌『ひびき』創刊の御挨拶」註10の中で、「『ひびき』は『墨友』の延長ではなく、日本書教育学会とも全く無関係で、私個人の責任に於て新しく出発したいと思っています。」と、出版物としては『墨友』の改題号として巻号は記載され続けられるが、別物として始めた。「いろいろ傾向のものを掲載して一方に偏らないで、然もその中に書表現の意義を見出していきたくと思っています。」と、「広い一般社会の人々と共に進みながら、かくあらねばならないというものを盛り、「いらざる抵抗をさけながら前進していきたく」と、創刊に際し草玄は考えていた。「一方に偏らないで」とあるように、草玄は昭和二十七年（一九五二）に墨人会を立ち上げ、墨人会に帰属しているのだが、『ひびき』の指導者には、墨人会以外の書家たちにも創刊以来、終刊まで依頼しており、「書表現の意義を見出すことを客観的に研究、指導していこう」としていたと思われる。これについては、「二、『ひびき』の内容」に後述する。

この『ひびき』に参加している指導者および児童、生徒の地域を確認すると、北海道から九州鹿児島まで全国的に広がりを持つていたが、およそ三分の二の都道府県に支部があり、参加していることが掲載記事や子供等の競書成績表などから窺われる。

二、『ひびき』の内容

a. 『ひびき』の指導者

『ひびき』の掲載、執筆者の一覧は別表のとおりである。なお、この別表の人々のみが全ての『ひびき』に関わっていた指導者ではなく、参考作品の掲載や記事執筆のなかつた支部指導者達もいた。

参考作品として子供達の作品も取り上げているが、指導者として当然墨人会会員が多いが、前掲の「創刊の御挨拶」とおり、他団体の者も「いろいろ傾向のものを掲載して一方に偏らないで」とするために多く執筆依頼している。

毛筆では、創刊号である昭和三十一年（一九五六）三月号に草人社の小林龍峰註11が中学一・二・三年の規定の参考作品を掲載していたり、子供の作品の評も掲載している。龍峰は、草玄が師事した上田桑鳩と戦前期に同門だった書道藝術社にいた大澤雅休に師事している。雅休の平原社は草玄が昭和二十四年（一九四九）年三月初めに桑鳩に師事する以前の独学期、桑鳩を中心とした森田子龍編集の『書の美』の購読の他、平原社の機関誌『書原』も購読し、雅休の下で学ぼうかとも一方を考えていたことがある人物であり、草玄自身に近いものであったと思わ

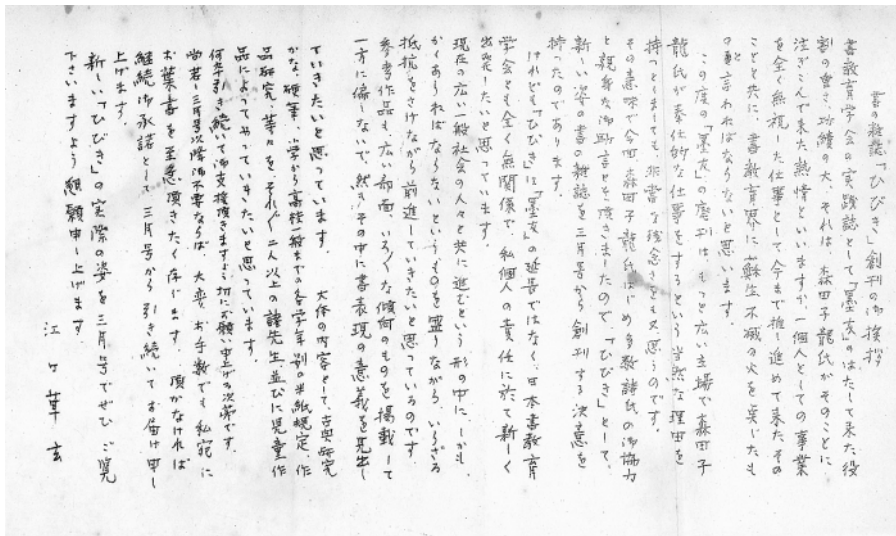


図2 江口草玄書の雑誌『ひびき』創刊の御挨拶

（註9）
第三種郵便の手續きを省くため、巻号を引き継ぐこととなった。

（註10）

『墨友』第二号附録「森田子龍墨友」の廃刊について「江口草玄」書の雑誌『ひびき』創刊の御挨拶。以下、草玄の御挨拶全文。書教育学会の実践誌として『墨友』のはたして来た役割の重さ、功績の大、それは、森田子龍氏がそのことに注ぎこんで来た熱情と言いますか、一個人としての事業を全く無視した仕事として今まで推し進めて来たそのことと共に、書教育界に蘇生不滅の火を点じたものと言わねばならないと思います。この度の『墨友』の廃刊は、もっと広い立場で森田子龍氏が奉仕的な仕事をしようとするという当然の理由を持つとしても、非常な残念さを感じよう。その意味で今、森田子龍氏をはじめ多数諸氏の御協力と親身な御助言とを頂きましたので、「ひびき」として、新しい姿の書の雑誌を三月号から創刊する決意を持ったのであります。けれども『ひびき』は『墨友』の延長ではなく、日本書教育学会とも全く無関係で、私個人の責任に於て新しく出発したいと思っています。現在の広い一般社会の人々と共に進むという形の中に、しかもかくあらねばならないというものを盛りながら、いらざる抵抗をさけながら前進していきたくと思っています。参考作品も、広い範囲のいろいろな傾向のものを掲載して一方に偏らないで、然もその中に書表現の意義を見出していきたくと思っています。大体の内容として、古典研究、かな、硬筆、小学から高校一般までの各学年別の半紙規定、作品研究、等々を、それぞれ二人以上の諸先生、並びに児童作品によってやっています。何卒引き続いて御支援頂きますようお願い申し上げます。尚若し三月号以降御不要ならば、大変お手数でも私宛にお葉書至急頂きたく存じます。頂かなければ継続御承諾として三月号から引き続いてお届け申し上げます。新しい『ひびき』の実際の姿を三月号でぜひご覧下さいませよう懇願申し上げます。江口草玄

（註11）
大澤雅休の平原社に属し、その後、岡部吾風、池田水城らと草人社を結成する。『書教育』第二号、昭和二十八年（一九五三）五月一日発行。では、『書教育』展開の一試案が東京都立戸山高等学校教諭名で掲載されている。

れる(註12)。また同じく書道藝術社の桑原翠邦や手島右卿の作品や記事掲載も『ひびき』誌上に確認できる。

日展系では、松井如流の参考作品が昭和三十七年(一九六二)三月号に『心事数茎白髮生涯一片青山』の作品(註3)と記事を、そして同四十四年(一九六九)三月号にも『石門碩』の参考作品を書いている(註4)。また、参考例として同三十七年(一九六二)十二月号には拓本だが豊道春海の『日光山輪王寺』も取り上げている(註5)。翌年七月号には、書海社の松本芳翠『天地一沙鷗』(註6)、十月号には日本書芸院の谷辺橋南の自詠の歌を散らし書きした小色紙(註7)、同じく日本書芸院の村上翔雲への神戸新聞社記者によるインタビュー記事「純粹に表現の場を与えよう」を同四十六年(一九七二)六月号、同五十年(一九七五)十一月号では高校・専門部で「孝女曹娥碑」(註8)を取り上げるなどしている。

墨人会を結成して、袂を別った上田桑鳩には、当初、誌面に桑鳩色を無くしたかったのか、それともやはり臆したのであるうか、依頼はしなかったようだが、しかし、昭和三十九年(一九六四)十一月頃、腹を決め、参考作品を依頼する手紙を送ったようだ。同年十二月二日付(三日消印)で桑鳩は草玄に四点、『木簡集英』からの臨書を送った返信があり、そこに八年近く経った草玄ら墨人メンバーへの桑鳩の思いが綴られている(註9)。その返信を受け、草玄の思いも、同年同月十四日付で桑鳩に送った手紙の下書きが残る(註10)。この手紙を受けて桑鳩は「書翰拝見全部了解十二月十八日」と、師として草玄の思いを広い心で汲んでいる。そして翌四十年(一九六五)一月号に中学一・二年の見本として桑鳩臨書(註11)が急遽掲載されている。

また、硬筆でも、始め墨人会会員で岐阜大学の教授でもあった関谷義道が担当していたものが、昭和三十三年(一九五八)七月から奎星会の伊勢屋光華が担当し、同三十五年(一九六〇)三月からは、小林龍峰が加わっている(註12)。途中、井関聰松、政本遂之、飯原弘喜が加わったりするも、硬筆部は、この二人が専らである。なお、草玄の硬筆の言説や提出物への評はあるものの、参考作品掲載はない。



図3 松井如流



図7 谷辺橋南

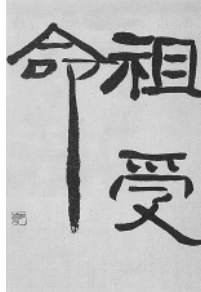


図4 松井如流

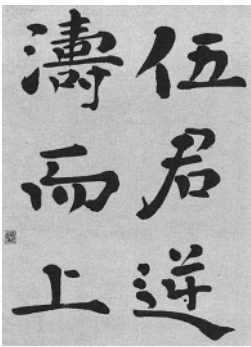


図8 村上翔雲



図5 豊道春海

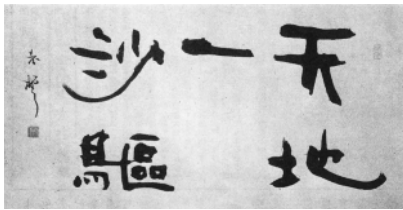


図6 松本芳翠



図9 上田桑鳩

※図3・9、いずれも『ひびき』掲載番号より転載。

(註12) 雅休から草玄宛の手紙が残る。昭和二十三年(一九四八)五月十三日消印手紙、誌代拝着しばらく御待ち下さい。それまで、臨書をして送って下さい。御地にもお仲間がおりましたら、共同して研究会でもいたして向上せられたいと思ひます。四五人熟のある方が居てつくりおやりのれば向上顯著だと思ひます。良寛の本場、御地の書人の出現を期待いたす次第であります。先は右まで、御同好がありましたら、書原に結びつけて下さい。先は勿々。

同年同月二十七日消印手紙、江口様、大沢生/拝啓御たづねの件、一般的にはすぐれた古典ならば何でもよいといふことになりませう。その鑑賞に徹してその技法に理解がつけば正しい学書となると思ふのであります。但し、何を次に習ふべきかといふことはその人々によつて一定せずともよろしいわけですね。誰にでも師事して添削を数回受ければその特長と欠陥とはつきりとわかると思ひます。私は指導を惜むわけではありませんが、他の指導者とは異つたシステムを持ち又方法をもつが為、それは多少特別なので、よくよく縁あつて私について本格的に習ふ人へのみ強いて、他の方にはその人の作品について私の考へをのべるだけにしておきます。でない、その人の師の方針と齟齬して迷はせることがありますので、わいのことと思ひますから、雑誌でもこらんなつてから私の方針がわかれば一層ふかいつなかりをもつて共に研究することになるかと思ひます。この点もお考へ下さい。雑誌購読ならならん立場でもよいが、その人に師事となると、一生の運命に關することですからよくお考へになつてこの人ならと思はれる方を選んで薦進されたいと思ひます。只君の書風からすれば弘法大師が顔真卿を深くせられたらなつと豊饒な書性となるのかと思ひますか如何。雑誌は六月初めに出版す。

(註13)

乍遅延臨書四通届けました何れも木簡集英より臨書しました「衆」は上巻三頁「四百五十五」は上巻八頁「建國」は同二五頁「長」は下巻八頁より臨書してあります。原字を併載されるだうから報告しておきました。次に一言述べなければならぬ思ひました、添え書き的に書きます。御判読下さい。というは、僕は墨人の人達も、皆僕の子供だと思つてゐるので、どのようなことを申越されても、大方のことは承諾して引受けています。例えば、墨美における蒼海の書論の如きです。曾つての事情を知つてゐる人たちが、は、さまざまに批判も受けますが、僕はそれら問題をせず子供等が成長し発展することの為なら何でも引受けてやるのが、親だと思つて敢えて馬耳東風にしてゐるので、よいとして、僕が必要な時には、用事を申付けてこれらなのです。僕は親として、総てを許容して申込みを受容していますが、それは僕だけに通じることであつて、そのような態度や心構えでは、他人に通じないことであることはいふまでもありますまい。僕はそれでよいとして、他人様には、どうかこのような態度や仕儀はしないようにして下さい。社会に通じないことをしては、君等が折角よいことをしながら社会から批判されるようなことでもあつて、それは前衛運動が十分に効果をあげないことになるのです。僕はどのように立場を異にするとも、前衛運動が進展することを念願して止まないものなので、前衛陣営の者全部が、誠心誠意をもつて、世に処して、折つてやまないのです。前衛運動を推進するためには、先ず自分の行動から正していかねばならぬ鉄則の実行からしなくてはならぬことを今一度改めて考へてほしいのです。言論や作品だけでなく……そのことがいいたくて、少々ながら苦言を呈

仮名では日展系の池田鳥川^{註16}が担当し、時折、森田竹華^{註17}が加わっている。

このように墨人会以外で書道藝術社の流れの書家連に依頼し、応諾され、『ひびき』誌上にその書や原稿を掲載する場合は多く確認できるが、全てが書道藝術社系ばかりではなかったことが判る。

しかし、それでも実現できなかった人もいた。桑鳩に遡ること三年前、草玄は、西川寧に依頼している^{註18}。昭和三十六年（一九六二）十二月十四日付で西川寧から断りの手紙^{註19}を受け取っている。西川の手紙の文言通り多忙であったのかもしれないが、他方、この通り一遍の手紙は、かつて草玄が同三十年（一九五五）九月五日付『書芸新聞』に「西川氏に問う―対談『これからの書』を見て」^{註20}で、西川の意見が旧態の固定観念から全く逸脱しておらず、また、恣意的悪意を感じると、「前近代的な構え及び排他的独断的謬論に対して大きな憤りを覚える」と断じたこと等が根にあったのではないかと思われる。この断りで改めて、年月は前後するが、前掲の桑鳩への草玄の手紙から言葉借りるならば「鉄のカーテン式の大きな自縛の壁の中に身を沈めてしまう人々」という、変わらない書家の意識を再認識したと思われる。草玄らが批判していた旧態の筆頭であった西川寧に対し、しかし、『ひびき』では「参考作品も、広い部面、いろ／＼な傾向のものを掲載して一方に偏しな

い、然もその中に書表現の意義を見出し、いきな思っています」として、子供達の書教育では純粹に多様な傾向の表現を示し、幅広く感じ取ってもらおうと間口を広げ依頼したことに対して、西川、謹慎会側から断ってきたのであるから、既に日展に異を唱えて墨人会を結成した時から十年近く経ているのに、未だ変わらない守旧の姿勢を確認したところである^{註21}。こうしたこともあり、『ひびき』には、終刊まで謹慎会系の掲載はなかった。

b. 『ひびき』の指導内容

『ひびき』での学習の課題計画を草玄は別図1のように作成し、課題の語句や子供達が何を学び、この学習で何を生長のため求めるかを明らかにして、そして、月次の指導者の一覧も別図2のように計画表を作りつつ、『ひびき』の編集、そして指導を進めた^{註22}。別図1を『ひびき』の発刊された各号と比較すると、別図1中の昭和三十三年（一九五八）十月号、中二・三年の項では「×」印が付き、空白から矢印を引いて差し替えているように、後でまとめたものではなく、当初計画とは変更された目標、内容となったことが冊子でも確認できる。また途中、同三十七年（一九六二）頃から複数の学年に亘って目標設定が行われ始めていることも確認でき、それは別図3のように、終刊の同五十一年（一九七六）分に亘って確認できる。この課題計画は、こうした変更等も確認できることから、事前にある程度の期間分を計画して作られていたと推定できる^{註23}。

そして、指導内容は大きく、毛筆を中心とした部門と硬筆の部門とで構成される。草玄は、毛筆と硬筆の両者を学ぶ違いについて次のように語っている。

（前略）私たちの日常生活の文字を書くいろいろな場合に不便を感じたり困ったりしないように、その目的の場合にふさわしい書き方ができて、ペンや鉛筆の用具になれることの勉強もとても大切なことなのです。「字を書く」勉強と言え

した次第で、私的な感情等は一切ありません。その点純粋に受取って下されば幸甚／＼桑鳩／草玄君／十二月二日

（註14）

39 12 14 上田先生宛／先日は御無理なお願ひを申しまして、お願いしておきました期日も過ぎましたもお返しも頂けぬものですから、実はあきらめかけておったところなのです。ひびき一月号を編集中でしたので、急遽レイアウトを変更して、先生の臨書を使わせて頂きました。有りがとうございました。然もお手紙も頂戴してあるのにもかかわらず、例えそれがひびきの編集中の為と申せ、今日まで御礼の手紙も差し上げず、本当に申し訳ありませんでした。ところで、御文面の如く、先生に対して全く無沙汰過ぎました。お詫びの心の中で、今その心を心から認めます。申し訳ないことになりました。何時か、東京展の時だっと思いましたが、有一とこの話の中で、先生へ御無沙汰にしているが一度行ってみようか、なつた時もあるのですが、展覧会場の何かの都合でそれが実現出来なかったことがあったりしましたが、とに角、やっぱり具体的に無沙汰の失礼をして来ているわけですね。／今後は御無沙汰にならないように注意していきたいと思っております。故、どうかよろしくお願ひ致します。／しかし、墨人のみんなは、決して何か他意があつて御無沙汰をしているのではないと思われず、特に私に於けるひびきの場合、いわゆる低俗の意味でのたゞ我利々たゞだけでの先生の利用なんている、ケチなコンタンではないことだけは確信をもつて申し上げることが出来ます。／森田さんだけの墨美の場合私の関知しないところですが、殊更な師弟関係のないひびきです、時々はどうしても狭く低く閉り勝たのを、いろ／＼な人々からのお力を貸して頂いて、それを高めそしてひびきを見ることの中で書というのに関心を持ち、そして、自分の中に書というのを育てつつある若い人々に、より広い、より高次の作品を見せることによつて、書に対する視野を拡大させてやることは、今の私たちとして、一面為さねばならない当然の義務だと思つて、その意味では、先生たちのお力を借り、そのお力を利用すると言えは言えるでしょう。しかし今のことは書というものの真正運動をやらねばならない、今の私たちに果せられている一つの然し重要な任務だとも思われます。そういう場が全国で汎山あればある程いいわけで、書の雑誌というものをその姿勢の中で編集し、純粹さの中で考えた場合にのみそれ／＼の雑誌の存在価値が認められて来る筈です。御理解下さつて御協力下さる人々や、或は、鉄のカーテン式の大きな自縛の壁の中に身を沈めてしまう人々や、いろ／＼と思ひ、そのことを何時もひびきの為の考えの中心にしているわけですね。どうも口はばつたことを書きつらねてしまいました。言葉足らずで十分だと思います。切々せんが、おゆるし下さいませようお願ひします。どうか、これからひびきの為にもさらには、だから書それ自身の為にも、こそお力をお貸し下さいませようお願ひ申し上げます。

（註15）

龍峰は、その後、昭和三十三年（一九六三）『ひびき』六月号から翌年十一月号までで（途中掲載ない月あり）十四回に亘つて十四回でマスターできる。硬筆書写講座を連載し、それを一冊にまとめて日本書道学会発行で同四十年（一九六五）一月号の中で同著の出版が告知されている。龍峰は終刊まで硬筆を担当した。

（註16）

当時、京都在住。昭和二十七年（一九五二）第八回日展より

ます。ですからそれを「ペン習字の部」で手本をよく見て一生けんめいに習って、正しく勉強していきましょう。／それから、もう一つ「書」の勉強があることも忘れてはいけません。毛筆で字を書くことです。昔、ペンや鉛筆がまだ私たちの日常生活の中で重要な用具でなかった時には毛筆で「字を習う」勉強もしましたが、今は毛筆は即ち一般実用の用具ではなくなっているのですから、字を習ったり、書いたりする勉強はペンや鉛筆でするのが最も現在適切な方法なのですが、それではそのように現在実用の用具ではなくなっている「毛筆で書く」ということ即ち「書」の勉強とはどういうことなのでしょう。昔の人が「心正しければ筆正し」と言っていますが、筆はそれほど私たちの心の中の微妙さをびつたりと伝えてくれるものなのです。毛筆でかくことによって、そのような微妙な毛筆の働き方を知り、自分自身を深く深く、ひろくひろく、掘りおこしていくことなのです。(中略)／文字を書くということでは以上の二つの場合同じなのですが、目的といえますか、はつきりと違ったものであるということをしつかりと考えていきましょう。そして、その両方がとてもとても大切なのですから、私たちはこの広い場をもった「ひびき」で、それぞれに正しい勉強をしていきましょう。(『ひびき』第十巻第六号・改題第十六号 昭和三十二年六月号)

こうした毛筆と硬筆との目的の違いは、「全日本青少年書作品展覧会(ひびき展)」の来館者用(親用)リーフレットの中でも繰り返し綴られていることが確認できる^{註25)}。しかしながら毛筆と硬筆との違いが全国的になかなか認識されず、その上、一般だけでなく、指導する書家たちも違いを明確にせず指導、発言している状況を日々感じ続け、繰り返し毛筆と硬筆との書教育の違いをことあることに述べ、記している。また、小林龍峰の言説をも引用して、このままでは「同じく字を書く」ということの中でも毛筆と硬筆の現代に於けるそれはそれぞれの分野として自ら全く別個の意義を持っているにもかかわらず、「毛筆と硬筆をいっしょくたにしたりしていたのではいつまでたつてもらちがあきません」(二月号、小林氏)。(註26)と指摘している。このような毛筆と硬筆との目的の差違を考慮してであろう、『ひびき』では、表2のような部門を設定、その後、経年の中で改変を加え、各年代によって階層が分けられ、途中呼称の変更もあるが学習を進めている。

創刊当初は、課題の学習、古典の研究、そして作品の制作という各部門を設定していたが、「作品部」が十五箇月で終了している。それは、『ひびき』では、様々な表現の学習を指向し、試行してみることで、子供達の表現活動を広げる目的であったから、一気に自己表現を問う作品制作を目指す場のような作品部の廃止となっていたのだらう。また、「かな部」は、昭和三十三年(一九五八)八月号で毛筆課題の中に統合され、一時、同三十五年(一九六〇)二月号で特設されるが、翌月号の二回で「寸松庵色紙」を取り上げてすぐに終わり、以降、専門部の中で取り上げられる程となる。「かな」と言っても流麗、典雅な平安仮名の表現の臨書だけでは表現幅が狭くなってしまうためであろう。流麗、典雅な一調子だけでなく、そこからの「かな」表現、今日的な平安仮名表現も含めての発展が期待されるところで、漢字、仮名の分け隔て無く、平安的仮名表現も「毛筆表現」の中での一表現法として見ることによって統合され、同様に「古典研究部」も課題を書き表すための参考とする多様な表現を学ぶ前例として、早い段階で整理統合されていったと思われる。それが大きな毛筆と硬筆の、「字を書く」目的の違う大きく二つの部門として設定されることになっていったと考えられる。

その上、指導者からの一方向で『ひびき』を作っていくことのないように、一方的な「お習字のお手本」は示さず、その月の学習の目標達成する為のあくまで参考の見本として、「二人以上の諸先生、並びに児童作品によってやっていきたい」と、多

名が見られる。

(註17) 明治四十一年(一九〇八)東京生。父は書家、尾崎黙峰。岡山高藤に師事。昭和三十年(一九五五)秋、ピエール・アレシンスキー撮影の「Calligraphie Japonaise」に草女や子龍らと共に撮影されている。

(註18) 別図1、2のような、毎年の課題計画表。昭和三十六年(一九六二)月号から同三十八年(一九六三)八月号分によれば昭和三十七年(一九六二)月号の項に「西川寧」の名が記載されており、予定していたことが確認できる。

(註19) 原稿拝読しました。非力の私、自分関係の書品にも義理をかき、目下やっとの思で十月号校正中というやうな次第です。折角ですが御申越のこと御許願します。あしからず願します。十二月十四日

(註20) 『百寿』江口草女のすべて(図録二〇一八 新潟県立近代美術館)三三―三四頁参照。

(註21) ただし、草女は、西川寧を全く評価していなかったわけではなく、後年、平成七年(一九九五)二月十三日消印、読売新聞社菅原夫宛手紙への返信(コピー)の中で、「西川寧の作品は私は評価するのですが――或る機会に西川寧の作品をしつかり見て――寧没後――戦後の書の中で自分の不明を恥じたことがありましたが、中略寧がかんでよくめるようにして説いた、文化としての書という理念(中略)しかし、西川寧が、毅然とした格をとるものとして説いたはずと思う文化としての書(中略)なぜ西川寧が説いた一番大事な言葉文化としての書(後略)」と西川没後、評価が変化したことを書いています。

(註22) 昭和五十年(一九七五)九月二十二日消印、金子鶴亭、草女宛葉書「ひびき」も拝見しております。つねに新味を盛るための御努力敬意を表します。小生に臨書御下命のところ、ブラジル展の為南米北米を廻り去月末帰朝十月は日展の審査あり本年は到底時間の餘裕ありませんのであしからず御了承願します。

(註23) 初めの一年を除き、昭和三十一年(一九五七)三月号から同五十一年(一九七六)の終刊号までの課題を各年ごとにまとめた一覧が確認できる。

(註24) 註18も参照。

(註25) 例えは昭和三十六年(一九六一)の第八回展リーフレット「おかあさんへ」では、次のように記している。抜粋「前略」いわゆる実用的な意味での「字を書く」という要求にはペンや鉛筆といった「硬筆」によるのがよいのはあきらかなくことです。毛筆とペンと鉛筆とはその構造が違ふということをよくわきまえて「硬筆」の勉強をさせなければならぬわけです。本会でも「硬筆部」して指導をおるそかにして

表2 『ひびき』各部門の推移

創刊時 S 31・ 3月号	毛筆) 小一一般	古典研究部	作品部	かな部 A・B部	ペン習字部 小学生/中学 ・高校一般
	<p>← 一般が専門部に名称変更 S 34・6月号(39)(40)号</p> <p>← 小一一般の各階層を 書写部と創作部に分ける S 34・9月号(42)(43)号</p> <p>← 書写部と創作部が元の小一 専門部に戻される S 34・11月号(44)(45)号</p> <p>← 小学生未満の「幼」が加わる S 38・12月号(93)(94)号</p> <p>← 終刊 S 51・12月号(249)(250)号</p>	<p>← 掲載終了 S 34・10月号(43)(44)号</p> <p>各階層で古典を取り 上げることには創刊か らあり、毛筆の中に まとめられる。</p>	<p>← 条幅作品部に 名称変更 S 31・9月号(7号)</p> <p>← 掲載終了 S 32・5月号(15号)</p>	<p>← 階層を「中学」「高校」「一 般」に変更 S 31・5月号(3号)</p> <p>← 掲載終了 S 33・8月号(29)(30)号</p> <p>この後は毛筆の中で仮 名も取り上げるように なる。</p> <p>S 35・2月号(47)(48)号 S 35・3月号(48)(49)号 二号のみ「かな部」特設 される。</p>	<p>← 小学生を「一・二・三年」「四・五 ・六年」に分ける S 31・5月号(3号)</p> <p>← 小学生を「一二年」「三四年」 「五・六年」の三層に分ける。 S 32・5月号(15号)</p> <p>次号以降、その時々によって各 階層を離合して実施される。</p> <p>← 硬筆習字部に名称変更 S 37・1月号(70)(71)号</p> <p>← 小学生未満の「幼」が加わる。 S 39・3月号(96)(97)号</p> <p>← 終刊 S 51・12月号(249)(250)号</p>

(註26)
 草玄(後記、昭和三十六年(一九六一)四月号改題第六十一
 (六十二号)、二十一頁。
 いない理由でもありません。(中略)「書は人なり」とか「心正し
 ければ筆正し」という言葉が昔からあります。その作品に
 その人の人格を見ることが出来るのが毛筆の字である、と
 受けとつていいと思います。人と作品とが最も直接的に結
 びつくものとして毛筆による字を見て来ているのです。中
 略)書かれた字自体に或る目的なりその主体が置かれると
 いう硬筆の場合に比較して、「書」の場合は、字を書く側即
 ちこちら側の「人間」にあくまで主体があるのです。(後略)

様性のある表現を示し、子供達にも触れさせ、考え、表現できるようにしようとしていた。一般的な競書ではされない淡墨による「滲み」の表現(昭和三十一年(一九五六)七月号)、詩文を書いたり(同年十一月号、条幅部)、同じ字を他種の古典から切り抜いて比較紹介したり(同年九月号)して多様性を示して、子供達の表現の参考としている。また、年賀状や暑中見舞いの手紙の実践月があったり(同三十四年(一九五九)七月号)、拓本(同三十一年(一九五六)四月号)、印(同三十二年(一九五七)八月号)、そしてそれも芋版、石、木、ゴム板、消しゴムなどでも実践する月もあった。他に蠟引きで書いたり(同三十八年(一九六三)三月号)、マツチ棒で書いたり(同年七月号)するなど、墨と毛筆以外での表現法も体験させている。

その他、「ひびきの会」を構成している各支部の紹介を誌上に掲載したり、また一方で、「赤いポスト」「子供の便り」「リレー作文」等^(註27)のコーナーを設け子供達の声、作文、感想文などを掲載し、稽古している大人や子供の親達が見、読むだけでなく、子供達にも身近に手に取られるような冊子となるよう工夫していた^(註28)。しかし、そのため当然、その月例作品が提出され、子供達の表現が損なわれた作品や、指導者の技巧を真似た作品など、目に余る作品には厳しい評を下した^(註29)。

こうした『ひびき』誌での毎月の練習、稽古の成果披露として、全日本青少年書作展(その後「ひびき展」、左記参照)が開催され、その後、子供達の練習、稽古の意欲をより高めるために二つの大会が『ひびき』誌上に設けられた。全日本一字競書大会では、普段、半紙に四字、六字と書いて練習していたものが、一字だけとなり、紙面の拘束も少なく、子供達は大きく自由に表すことが出来、子供心に楽しい練習時間だったようである^(註30)。

○全日本青少年書作作品展覧会 (ひびき展)

昭和二十九年(一九五四)一月に第一回が書教育学会主催で京都市美術館を会場に開催され、同三十二年(一九五七)第四回から「ひびきの会」主催で継続、主幹の草玄が当たり、春、同会場で開催。第一部 半紙以外の作品。形、大きさすべて自由/第二部 半紙作品」で始まるが、「ひびきの会」主催の第四回展から「第三部 ペン習字(硬筆)」が設けられた。第四回から「ひびき展」と通称されていたが、同三十九年(一九六四)第十一回から正式に「ひびき展」に名称変更。『ひびき』の編集を退く同五十一年(一九七六)第二十三回が草玄の関わる最後となる。

○全日本一字競書大会

昭和三十一年(一九五六)六、七、八月の三箇月毎月一点出品して三箇月の合計で昇級、昇段試験を兼ねて第一回が設けられたが、第二回以降、六月から八月の夏期に一回行われるようになった。『ひびき』誌上に掲載。同三十八年(一九六三)からは冬、夏の年二回開催。『ひびき』の編集を退く同五十一年(一九七六)第三十四(三十五)回^(註31)が最後となる。

○全日本ペン習字大会 (全日本硬筆習字大会)

昭和三十五年(一九六〇)十二月の締め切りで、第一回開催。翌年二月号改題第五十九(六十)号に掲載。同三十七年(一九六二)から年二回開催で、同年の第三回から「全日本硬筆習字大会」に名称変更する。『ひびき』の編集を退く同五十一年(一九七六)第三十(三十一)回^(註32)が草玄の関わる最後となる。

(註27) 昭和三十二年(一九五七)十一月号(改題第二十号)から同四十四年(一九六九)十月号(改題第百六十三(百六十四号)まで続いた。

(註28) 支部紹介関連は、昭和三十一年(一九五六)五月号(改題第三号)から同四十四年(一九六九)十月号(改題第百六十三(百六十四号)の間掲載される。

(註29) 「ひびき」後期でも貫かれていた。昭和五十年(一九七五)三月号三頁での高校専門部での評の一例「努力が足りない。引いているその自分の線に対して何の不満もないのではないかと思えるくらい、努力不足です。この程度のし方は古典はその固有のよさを決して見せてくれない。中略)木下さん 線に、巾があっても厚み、深さが無い。立体的な深い線を引く工夫が大事。」松村さん やや筆をやわらかく使っているのはいいが筆使いが利巧すぎて、浅い。」

(註30) 令和二年(二〇二〇)九月十日、後藤祐自氏(註43参照)へのインタビューで確認。以下後藤氏の言は、このインタビューによる。

(註31) 途中開催回数に誤りがあり、昭和四十二年(一九六七)以降は、一回少ない回数表記された。以降()内は実際の回数。

(註32) これも途中、昭和四十三年(一九六八)第十五回から回数に

「全日本一文字競書大会」と「全日本硬筆習字大会」は、当初年一回の開催だったが、昭和三十八年（一九六三）から年二回の同時期開催となり、『ひびき』にほぼ同時掲載された。ここに少し経営的側面が垣間見える。書学習の雑誌として、他の競書誌と内容では一線を画したとは言え、雑誌出版継続の問題は、当然発生する。表1にあったように『ひびき』誌の価格も二十五円から最終的には百円となっている。「もはや戦後ではない」と言われ始める高度成長期の初め昭和三十一年（一九五六）から、高度成長期の終わり近く同五十二年（一九七六）の間に物価は約十五倍となっており、物価上昇が誌代に反映されることもさることながら、『ひびき』誌存続のため、会員増加を図らなければならないし、そうするとやはり一般的に親御さんには、子供の昇級、昇段ということが目に見える安心材料であることとしての側面は否めない。そうしたことでこの大会が年一回ではなく、二回開催によって、より昇級、昇段機会が増えることとしたことは想像に難くない。

しかしながら『ひびき』の指導や活動と、昇級、昇段で関心を釣ることとの指導姿勢の矛盾を草玄は抱いてた。草玄の偽らざる告白は、同五十一年（一九七六）一月号裏表紙の「編集室」にも記されている^{註33}。矛盾を抱きつつも、子供達が喜んで稽古に真つ直ぐに向かえるように工夫し、一字競書大会では実質、子供達には通常のお稽古とは違う用具を使うなどの機会が増えることにも繋がり、「一字競書（大会）の前とかね、そういう時だけ特別にこんなのできる。それが楽しくてね。」^{註34}と子供達当人には楽しみの回数が増え、稽古への関心が増したと思われる。草玄も同四十七年（一九七二）二月号の編集後記に「一字競書大会の審査では、「自発的なよるこびの中で書を書いてるかどうか、自発性がその子の生の根太いところに直結した自発性かどうかを見落さぬようにしたつもりである。◇ひびき全国展も、指導というよりは、一面、子供と大人の自分たちとの対等の対決の場所である。」と記している。このような葛藤を抱えながらも『ひびき』は運営されていたと見受けられる。

c. 『ひびき』後期に表れる草玄の姿勢

通常の毛筆課題では漢字を中心としながら、そして低学年では平仮名を中心に課題計画を立てていることは別図1、3からも窺える。草玄の漢字指導は『ひびき』誌の全般に亘っているが、仮名では『ひびき』の活動当初には、「かな部」での前述のように池田烏川や森田竹華の指導や作品掲載だったものが、昭和四十五年（一九七〇）から草玄の仮名の参考作品の掲載の例も確認できる。この仮名の参考作品では、同年一月号（改題第百六十六（百六十七）号）から高校・専門部「仮名を習う」として半年間の六回、六月号（第百七十一（百七十二）号）まで原本と共に臨書を掲載している。

- ・ 伝藤原行成「重之集」^{図10} 一月号（改題第百六十六（百六十七）号） 「線の鮮度」
- ・ 伝藤原公任「大色紙」^{図11} 二月号（改題第百六十七（百六十八）号） 「鋒の開きを楽しむ」
- ・ 伝藤原行成「針切相模集」^{図12} 三月号（改題第百六十八（百六十九）号） 「細やかな敏感性」
- ・ 「春日懐紙」^{図13} 四月号（改題第百六十九（百七十）号） 「人くささの中で耀く力」
- ・ 伝藤原行成「曼殊院本古今集」^{図14} 五月号（改題第百七十（百七十一）号） 「新芽」
- ・ 伝藤原俊成「詞花集切」^{図15} 六月号（改題第百七十一（百七十二）号） 「人間の生」

誤りがあり、一回少ない回数が表記された。以降、（ ）内は実際の回数。

^{註33} (前略)◇ひびきに於ける評価は、送られてきた作品、つまり「結果」の上に立つ以外にない。ところが実は、表現活動その中にいかに十全に没入しきつているかその時そこで大きな新しい自分自らの呼吸をしているかが「過程」の中で、実態をふまえて見すえられていなければならない。「結果」だけでは乾ききつた評価にならないか（中略）かし、時として好みの側面だけが出てきたり、まこと大ゆれの中で苦しい作業でした。その上、級を重視しているわけでもないのだけれども結果的には相も変らず級を売りものにし、級をつけているこの矛盾。◇以上正月早々からの、大ゆれの渦と矛盾との告白であります。（草）

^{註34} 令和二年（二〇二〇）九月十日、後藤祐自氏へのインタビュー1で確認。発言中、「こんなの」とは、草玄の筆を借りて紙面に一字だけ大きく書くようなことを指す。

この六回では、平安仮名の定石とは異にした仮名の古典を学ぼうとしているように映る。この以前、同四十二年（一九六七）七月号から十二月号まで高校・専門部で森田竹華によって、「高野切第三種」、「高野切第一種」、「寸松庵色紙」、「関戸本古今集」、「十五番歌合」、「継色紙」と、仮名の定石の古典による指導がなされているが、草玄の参考作品による、この前掲六箇月の課題は、流麗典雅、優美なばかりの平安仮名ではなく、名の知られる古典ではあるが、全てが平安仮名の標準的な仮名ばかりではない。行成の手と伝わる「重之集」、「曼殊院本古今集」、同手とされる「針切相模集」あたりまでを広く見て規範とするならば、「大色紙」、「春日懷紙」、「詞花集切」は、書き手の手癖がより表れていると言える仮名である。しかも「春日懷紙」は鎌倉期のものである。単に平安期の貴族的上品な「細かさ、光沢、安堵感」を求めるより、細い線の中にも表れる線の太細や、筆の当たりに人そのものが筆に乗って表れている、その人のおいを感じて表す、というような「かな」表現の学習目的をここでは取り上げているように映る。

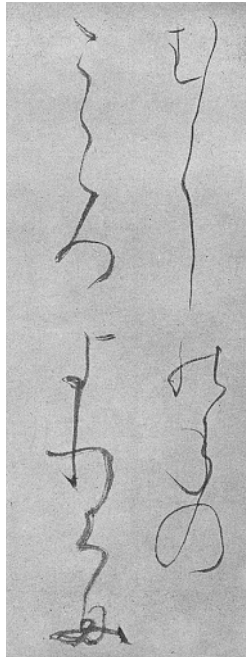


図10 臨重之集 昭和四十五年（一九七〇）一月号

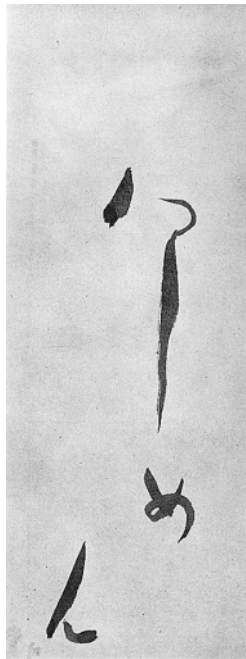


図11 臨大色紙 昭和四十五年（一九七〇）二月号

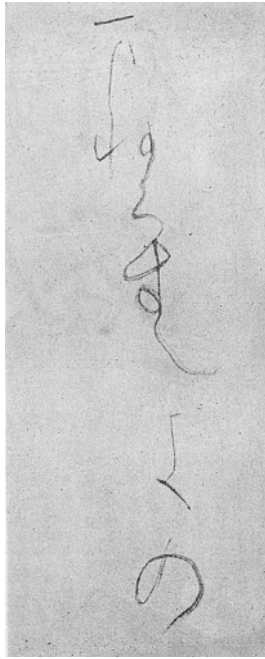


図12 臨針切相模集 昭和四十五年（一九七〇）三月号

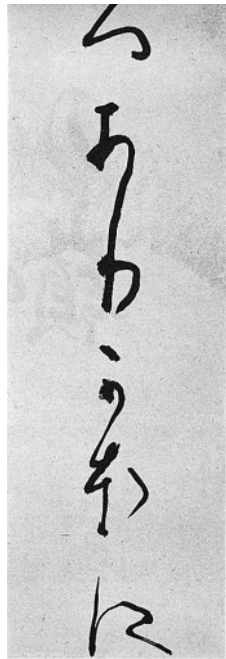


図13 臨春日懷紙 昭和四十五年（一九七〇）四月号

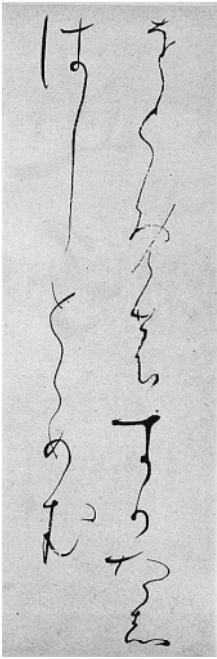


図14 臨曼殊院本古今集 昭和四十五年（一九七〇）五月号

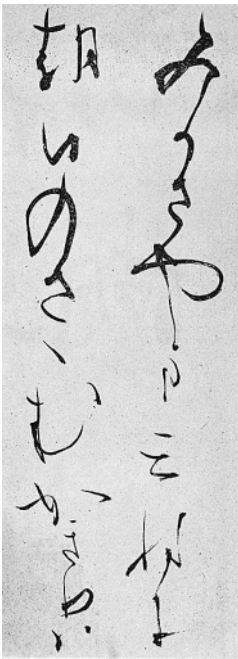


図15 臨詞花集切 昭和四十五年（一九七〇）六月号

また目を転じれば、この仮名の研究が昭和四十五年（一九七〇）であることにも、注目したい。

同年は、墨人会展など対外的には、これまで漢字作品を発表していた草玄が「かな」の作品を発表し始めた年と一致する。同年四月には、第四回日本現代書展に《てまりつく》^{〔図16〕}、《無常》^{〔図17〕}、《花のあわれ》^{〔図18〕}の三点の「かな」作品の初出品をしている。必ずしも「かな」表現として、うまくいっているとは言いが、自分の作品として実践し、試行している姿が見られる。『ひびき』誌上での、この仮名の草玄の参考作品掲載の第一弾は半年で終わるが、三年後の同四十八年（一九七三）一月号から三月号の三回、課題に再び仮名を取り上げ、草玄の手による参考作品を掲載している。

- ・伝紀貫之「高野切第一種」^{〔図19〕} 一月号（改題第二百二（二百三）号）「ねばり」
- ・良寛「牟羅き裳能」^{〔図20〕} 二月号（改題第二百三（二百四）号）「躍、その大きな世界」
- ・藤原定家「基俊集付登蓮集」^{〔図21〕} 三月号（改題第二百四（二百五）号）「相剋」

そして、同年、七月号から十月号では高校・専門部課題に「良寛を習う」として（八月号は漢字）仮名を取り上げ、別人の手による参考作品を掲載しているが、同五十年（一九七五）六、七月の二回、再び草玄の手による「関戸本古今集を習う」として臨書も掲載している^{〔図22、23〕}。

昭和四十五年（一九七〇）の第二弾から同五十年（一九七五）の「関戸本古今集」までの取り上げた仮名の古典と共に草玄の臨書を見渡せば、よく見られる平安仮名の流れるような典雅で規範的な古典を繰り返し学び、その後、変化に富むものへと進むような学習順ではなく、規範的な古典に触れつつも、規範も一つの表現として多様な古典を見渡した上で自身の表現を考えて行く進め方であったように見える。筆法的なことを学習目的としているのではなく、運筆の中で表れる線の表情に視線が向けられていると捉えられないだろうか。それは、この草玄の取り上げた仮名古典の解説中、「重之集」での「線の鮮



図16 《てまりつく》 昭和四十五年（一九七〇） 当館蔵

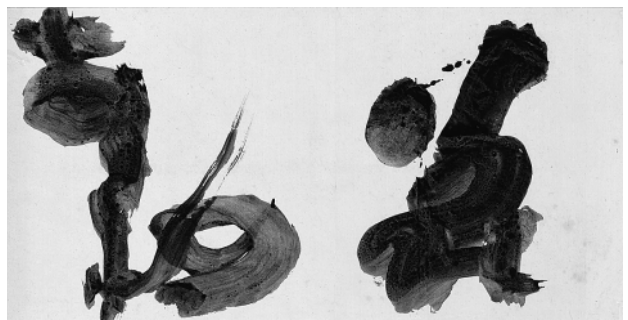


図18 《花のあわれ》 昭和四十五年（一九七〇） 当館蔵

度」の文中に、「筆の毛のはずみを利して闊達に、筆毛のねじれ、はじき、そして紙を切つて走るのを見よ」と、毛筆表現による筆毛の妙を語っている早い例が、確認できることや、また、四月号「春日懐紙」の「人くささ」という言葉も草玄の作品制作上の重要な語句であり、同年に起こってくる「作品の完成度」の問題で森田子龍と交える論争の中で、その早い使用例であることから、単なる筆法だけでなく、表れている個性への視線、視点で表現を見ることが裏付けられよう。さらに、同五十年（一九七五）の「関戸本古今集」も「前略」細かく見ていくと、けつして例えば高野切の如く典雅美だけに終始せず、さまざまな変化の場面が展開されて、これはまことに、見て楽しい本である。（後略）」と言つて、規範的仮名の連綿美を追うのではなく、それ以外に眼が向けられている点からも窺えよう。

前掲の「春日懐紙」の解説文に続く中にある「平安仮名のように上品さはない。貴族的なよそよそしさでなくぶあつい人の手が書いたという、かえつて人間らしいにおいがしてくる。どこにでもある字かも知れない。それだけに、この、何でもない、ふだん着的な書きぶりをしているここにこそ芸術に最も不可欠な、ほんとうの人くささが生きているというものである。」と記している中で、「ふだん着」という言葉は、まさしく草玄の書の志向を語るものでもある。自分の書いた作品について「前略」この一枚は、反古の代表なのです。（中略）書とは、反古です。反古でいいのです。ぜんぶ、反古でなければ

図19 臨高野切第一種 昭和四十八年（一九七三）一月号

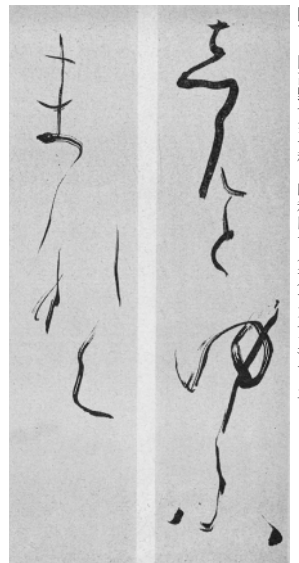


図20 臨良寛書 昭和四十八年（一九七三）二月号



図21 臨基俊集付登蓮集 昭和四十八年（一九七三）二月号

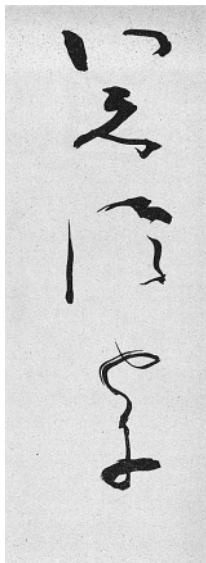


図22 臨関戸本古今集 昭和五十年（一九七五）六月号

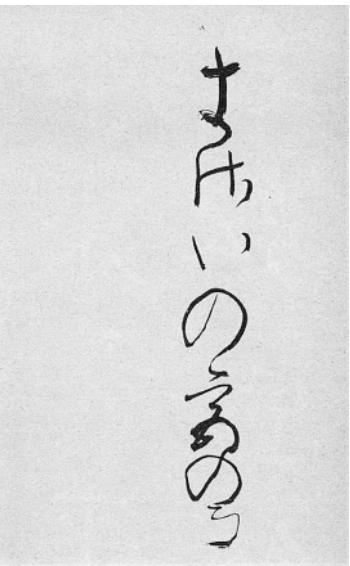
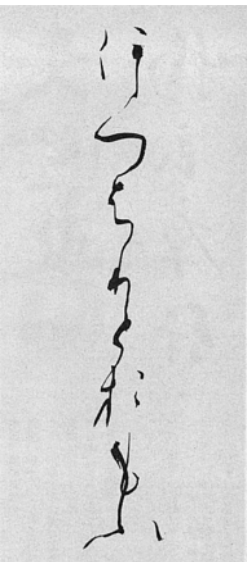


図23 臨関戸本古今集 昭和五十年（一九七五）七月号



ならないのです。ぜんぶ、反古。(中略)つまり未完であっても、未完であるが故により人間の生きざまの血がかよう、いとおしさ^(註35)と、技法的なことよりも、血の通う書ということに書の本質を見据えていた。その為、良寛の書に躍動を見た、定家の臨書に臨む自他の制作姿勢を見たりしていることにも、形や流れのみを追う従来の仮名の臨書とは違ったところ、「ふだんの人間性の表出」を求める草玄の姿勢を主張していると捉えられる。

また一方で、『ひびき』の編集の中で、それまでは年一回くらい巻末に「後記」として草玄の書教育の考えについて記していたものが、昭和四十六年(一九七二)十月号から毎号「編集後記」、翌年三月号から「編集室」として記された。前述の「かな」へ眼が移って行くことと並行して、ここでは文部省による昭和三十三から五年(一九五八―六〇)の学習指導要領の改訂(小学校同三十六年、中学校同三十七年、高校同三十八年実施)の中で「書写」の言葉となり、更に同四十三から五年(一九六八―七〇)に改訂(小学校同四十六年、中学校同四十七年、高校同四十八年実施)されているにもかかわらず、「画一的に統制する筆使いや、形の取り方は全くナンセンスである。／＼にもかかわらず、その馬鹿げたことをやろうとしている現状」^(註36)での学校教育の中での問題や、巷の書塾、団体、社中での師弟関係について改めて繰り返し記され、続けて「人間それ自体に直結した教育ということへの原点にたしかえった書学習のことを今こそ真剣に、一生けんめいに考え合うべきであろう」、「いろいろな教科を通して一個の人間としての創意を刺激し培い、育てていこうとしているのが初等教育の目標である筈」等々、やはり血の通わない指導、一人一人を見ないで一法則に寄りかかっている書教育の現状に対して、本来的書教育の姿に立ち返る警鐘を、自戒も込めて記し続けている。まわりに左右されない個々の人の心の動きを自発的に表すことのできる人間性の育成について例を替えながら綴っていることが多く記されていることも、「かな」の学習で人くさい「かな」を草玄が取り上げていることと重なっており、この時期、草玄の書観がまとまり、強く打ち出されていくこととなった証と言えよう。

三、江口草玄の児童・生徒

草玄が開いていた書の教室は京都で最大三箇所であった。昭和二十八年(一九五三)八月下流、柏崎から京都へ転居後、最初に開いたのは同三十五年(一九六〇)頃、京都市南区の東寺近く鍋取川八条付近。次いで同四十年(一九六五)に北区紫竹の自宅近くで、墨人会の加納菊女と共同で指導をした。そして同四十二年(一九六七)頃から中京区三条大宮の光明幼稚園の三箇所である^(註37)。前二者は、同四十八年(一九七三)七月下流に草玄が山科に転居する前年頃に閉じている。紫竹の自宅近くでの教室は、人数も増えたが、加納に任せて止めたという^(註38)。光明幼稚園では、平成二十年(二〇〇八)一月四日に脊椎管狭窄症による手術を受ける前年の同十九年(二〇〇七)まで続いた。この光明幼稚園の途中までが『ひびき』を自身で主幹し、その指導を子供達に実践していたことになる。昭和五十一年(一九七六)末の『ひびき』終刊後は、翌五十二年(一九七七)一月号から堀尾勝彦編集による『響』に加わり、そこでの活動を取り入れつつ、『ひびき』活動の時からしていた草玄独自の指導をしていたことと推定される^(註39)。

このように三教室を開いていたが、『ひびき』誌上では、小学生から一般まで筆の使えない幼児を除いた全年齢を対象とした階層を設け課題を各々掲載していた^(註40)。各支部では、こうした幅広い年齢層の構成によって運営されていたようであるが^(註41)、草玄の開いていた三つのいずれの教室でも、基本的には小学生のみが対象であった^(註42)。

(註35) 江口草玄「地べたのぬくと」の説明文「わたしの反古」
『ひびき』昭和四十九年(一九七四)三月号改題第二百十六
(二百十七号)、二十四頁。

(註36) 「編集後記」ひびき、昭和四十六年(一九七二)十月号改題
第二百十七(百八十八号)裏表紙。

(註37) 令和二年(二〇二〇)九月二十七日、磯部一美、江口久幸姉弟
へのインタビューで確認。

(註38) 註37に同じ。

(註39) 昭和五十二年(一九七七)以降、『響』誌上で草玄の記事掲載
が確認でき、平成五年(一九九三)二月号でも草玄の記事
掲載が確認できることから、堀尾の活動への協力を確認が
できる。「白寿 江口草玄のすべて」図録「江口草玄」文獻一
覧「二百八十六―二百八十七頁」。

最初の鍋取川八条付近の教室では昭和三十七年（一九六二）末から翌年三月までの間に、能面師の後藤祐自氏が通い始めている（註38）。後藤氏は「お習字はもうおしまい」「中学に入ったから来なくてもよろしい」と小学六年生の終わり頃に、草玄から言われたとの言が残る（註39）。後藤氏は、小学一年生終わり頃から鍋取川八条近くの教室（坊城通り教室）と後藤氏は呼んでいた）で草玄に学び、小学六年生の終わり、中学生に進学する際にこの言を草玄から言われたと言う。後藤氏は昭和三十年（一九五五）生で、小学一年は同三十七年（一九六二）度、小学六年は同四十二年（一九六七）度である。後藤氏の記憶では中学生は、当初数人いたようではあるが、後藤氏同様「中学に入ったら来なくてもよろしい」と草玄に言われ、次第に居なくなり、中学二年生の夏には、中学一年生の子と二人、翌三年生時ではたった一人だったようである（註40）。そうした中で後藤氏は、遊びながらも中学生になっても続け、「ひびき」とは関係なく、『書の古典（中国編）』三版（書道出版社刊 昭和二十九年（一九五四））を草玄から貰って専ら臨書をしていたと言う。そのことは、中学生ながら同四十五年（一九七〇）十二月号の『ひびき』「高校・専門部」厳然たる存在の姿 龍門二十品を習う（6）で臨書と共に紹介解説で草玄に取り上げられ、（前略）今月は後藤祐自君の臨書を出して、見ることにした。筆に不満があるとしても正に若々しい力をその引かれてある線の奥に蓄えているのを見る。彼は龍門造像の一ページだけを一年間、黙々と書いていた。その執拗なねばりに敬意を表している私である。」（註41）と掲載している。この頃の臨書は、練習の度、草玄が数枚ずつ預かり、大事に取り置きしていた。この頃の取り置きしていた作品（註25）も現在、後藤氏の手許に「これ全部預かっていただけもういらぬわ」と言って、後藤氏が結婚された後に返されたと言う。後藤氏の草玄への親しみは高校生になっても続き、同四十六年（一九七一）夏、原付免許を取ったことから、書が続いていくようなら光明幼稚園での稽古に来る様に草玄に誘われる。そこでは、小学生のお稽古、練習の後、仏教大学書道部の学生が専ら臨書をしてきた。そこでまた一緒に



図24 「ひびき」昭和四十五年（一九七〇）十二月号



図26 後藤祐自《臨蘭亭叙》 昭和四十六年五月二十日（高一）



図25 後藤祐自《臨造像記》 昭和四十五年五月二十一日（中三）

（註40）昭和三十八年（一九七三）十二月号からは就学前として幼児も階層の対象に加わった。

（註41）終刊の昭和五十一年（一九七六）十一月号時点での「ひびき」参加の構成は、小学生・幼児含む約千九百人強、中学生約百人、高校・専門部約九十人。

（註42）中学生や大人も若干教えたが、後述するように中学生は声を掛けられていたこともあって、早々に辞めていき、大人も画家・須田勉太の奥さんや友人などの知り合いなどで僅かだった。

（註43）後藤氏は昭和三十年（一九五五）京都生。金沢市立金沢美術工芸大学で日本画を学び、京都市の中学校美術教師を経て、独学で能面の研究をする。能面の修理、修復をする他、数少ない能面師として「面匠会」「祐門会」を主宰して制作指導し、普及にも尽力。現在、宝生流宗家・金剛流宗家の能面修復に携わる。金沢市在住。

（註44）後藤祐自《能面談義》 北陸中日新聞 平成七年（一九九五）七月十一日付。

（註45）前掲の後藤氏へのインタビューと、「ひびき」の昭和四十三年（一九六八）七二の競書成績表の確認による。

になって黙々と臨書をしていたと言う。草玄の特段の指導は無く、草玄も一緒に臨書をしていたと言う。そして時折、古典の話や書人の話を、書いている大学生と交わっていたと回想する(註46)。この仏教大学書道部学生との錬磨は長くなかった。半年程で幼稚園側からの申入れで終わつたようである(註47)。草玄との会話もほとんどなく、まれに「君は渴筆がいいね。」とか、「筆は洗うのではなく、洗ってやるんだ。」と声を交わした程度であつたとも聞く。「中学生に入つたら来なくてよしい」という発言は、中学生以上の人は、書を追求する同じ立場として、その人格を認め、前掲の「筆に不満があるとしても正に若々しい力をその引かれてる線の奥に蓄えているのを見る。」と述べたように、それぞれが自己研鑽をした中から書は掴んでいくものと考え、師匠と弟子というような主従の関係では無く、等しく書を追求しあう同胞との考えからによる為と思われる。

こうした草玄の指導は徹底されていたようである。例えば小学生には「書を「教える」のでなく、書を書くことの中で「子供を」育てる」ところに書教育の本来がある。つまり、結果よりも過程に、より多くの意味を持つのである。(註48)ということから、小学生には、永字八法的なトメ、ハネ、ハラを細かく指導するのではなく、そのため「きれいに書きなさい」というようなことはなく、枠や紙面から点画がはみ出ても「出たら出たで良い」と言つて、子供の純真なありのままの表現を大切に指導していたと言ふ(註49)。これらのことから、成長し、自我の目覚め始めた中学生からは、当人の考えを尊重し、その表現を尊重し合う中となるようにしていた——そこには師弟関係は生まれぬ——という書本来の学究の姿を実践していたと言えよう。書を学究する立場に師も弟子も無い、個、それぞれの書を追う、草玄の書に思う姿勢が見えてくる。それは当然、墨人会発足時からの考えでもあつた。

なお、他二箇所の教室も小学六年生に対して「中学に入つたら来なくてよしい」と告げていたか不明であるが、草玄の書教育の姿勢を見れば、他二箇所も同様であつたと思われる(註50)。

四、終わりに

草玄が二十一年に亘つて注力した『ひびき』誌は、子供の競書雑誌という書の学習雑誌であつたことから、これまであまり顧みられなかつた。しかし、草玄は墨人会退会一年九箇月後の昭和五十三年(一九七八)三月三十日に発行した『草玄ことは書き』の中で、二十一点の作品に加えて、この『ひびき』での編集後記が自身を語る文として、冊子に再掲載しており、これまでもその意義を筆者は掴みきれずにいた。しかし今回、全三百五十冊を具さに見渡せたことは、草玄の書教育面のみならず、この『草玄ことは書き』に「当時、わたしは自分自身の作品づくりのことも犠牲にして書教育にかかわる『ひびき』の仕事をしてきたのであつた。わたしにとつてはやはり唯一懸命な場所でもあつた。」と記したように、草玄にとつて作品制作だけでなく、人生の上で大きな意味を持つていたことが判明し、草玄自身が書に対峙する厳しくも純粹な姿勢、思想を、別側面から補足することができる材料となつたと思われる。また指導を受けた後藤氏の言を伺い、それらのことが確認できたことは、裏付けを強くするものであり、確証に繋がるものと心強く思われた。『ひびき』は、草玄のもう一つの純粹な自身の表現の場であつたわけである。作品での発表だけでなく、子供達への書教育の面で自己実践した、その表現の一つに『ひびき』が加えられると言えないかと思える。

(註46) 後藤氏だけでなく、当時の仏教大学書道部学生、公森仁氏、山川正道氏への令和二年(二〇二〇)十一月二十三日付手紙の回答による確認による。

(註47) 註46に同じ。

(註48) 江口草玄「作品を見て『ひびき』昭和二十八年五月号」改題 第八十六(八十七号) 四頁。

(註49) 註37同じ。

(註50) 磯部一美氏、江口美愛氏(久幸氏令室)は、教室の運営を手伝つたこともあり、インタビューからも、そうした姿勢だつたことが窺える。

『ひびき』は、草玄にとって墨人会に属していた時の一つの表現の姿であった。そしてその終了は、墨人会の纏も捨て、身一つでいよいよ作品制作本位に眼を大きく切り替える区切りとなったことに間違いないと思われる。

本稿の執筆するにあたり、多大なる御協力を賜りました磯部一美氏、江口久幸・美愛御夫妻、また、「ひびきの会」で学んだ能面師の後藤祐自氏、当時、仏教大学書道部学生と一緒に臨書した、公森仁氏、山川正道氏、各氏の御氏名をここに記し、また、情報提供等賜りました関係各位も含め、ここに改めて感謝申し上げます。

(新潟県立近代美術館 専門学芸員)

【参考文献】

- ・『墨友』第五卷第三号(創刊号)―第九卷第二号(終刊号) 昭和二十七年(一九五二)四月一日発行―昭和三十一年(一九五六)二月一日発行 書道出版社
- ・『書教育』No.1―No.32 昭和二十八年(一九五三)四月一日発行―昭和三十一年(一九五六)二月一日発行 墨美出版社
- ・江口草玄編『ひびき』創刊号―第二百四十九(二百五十)号 昭和三十一年(一九五六)三月一日発行―同五十一年(一九七六)十二月一日発行 墨美出版社(日本書道学会)
- ・江口草玄著『作品集』草玄ことは書き』 昭和五十三年(一九七八)三月三十日発行 江口草玄
- ・芸術新聞社編『近代日本の書 現代書の源流をたずねて』 昭和五十九年(一九八四)四月二十一日発行 芸術新聞社
- ・『愚人作品集』 昭和六十二年(一九八七)一月一日発行 愚人会事務局
- ・日展史編纂委員会編『日展史17 日展編二』 昭和六十二年(一九八七)三月三十一日発行 社団法人日展
- ・季刊墨スベシヤル第10号 現代の書 半世紀の歩みと展望 平成四年(一九九二)一月五日発行 芸術新聞社
- ・O美術館編『書と絵画との熱き時代 1945―1969』図録 平成四年(一九九二)一月二十五日発行) O美術館
- ・『現代の書芸術―墨象の世界』 平成九年(一九九七)十月二十八日発行 淡交社
- ・新潟県立近代美術館編『白寿 江口草玄のすべて』図録 平成三十年(二〇一八)五月二十六日発行 新潟県立近代美術館

別表 掲載、執筆者の一覧 ※不明箇所は空欄

34	鶴飼寒鏡	草人会	愛知／大妻女子大学教授／師鈴木翠軒		
33	上田素笛				
32	上田桑鳩	奎星会	師比田井天来		
31	岩田俊		東京		
30	岩田佳峰				
29	入沢勝義		北海道／小樽市立緑小学校		
28	芋生皖哉				
27	今泉楓佳				
26	今岡徳夫	墨人会	京都		
25	今井満里	蒼狼社	師今井松堂		
24	今井松喬		浦和		
23	今井洲翠				
22	井上有一	墨人会	神奈川		
21	井上静枝				
20	一条虎之進		福島		
19	井田律子				
18	磯部南海雄	墨人会	神奈川		
17	伊勢屋光華	奎星会／若草書道会	兵庫／師宇野雪村		
16	井関徳松	墨人会	和歌山市立富貴小学校		
15	石本安広		大津市立平野小学校		
14	石政美代子		埼玉		
13	石島よしみ				
12	池田直	鯤会	東京		
11	池田水城	平原社↓草人会	東京		
10	池田鳥川	橘書道会／日展系	京都		
9	家城竹嶺	奎星会か／毎日系	小田原市立久野小学校		
8	飯原弘喜	墨人会	高松市／中学校		
7	飯田八重子		名古屋市立浄心中学校		
6	安中俊道	奎星会か			
5	有田光甫	学者	師上田桑鳩		
4	荒谷文字		広島／熊野市立第一小学校		
3	天池芳明	毎日系	富山／師大澤雅休		
2	浅沼伝一		岩手／遠野市綾織小学校		
1	浅野五牛	奎星会	岡山／師上田桑鳩		
			備考(地域は初回掲載地)		
68	河野久美子	書宗院	師比田井天来／書道藝術社		
67	桑原翠邦				
66	樺大介	詩人	神戸		
65	君本昌久				
64	北野智子				
63	川嶋靖雄		静岡		
62	亀川勲		兵庫		
61	金子鷗亭	創玄書道会	書道藝術社／師比田井天来		
60	金森世耕				
59	金森朴堂		島根大学		
58	金津雄三	(墨人会)北海道書連	札幌		
57	門田其外		兵庫／新宮町		
56	奥村千鶴		岐阜		
55	奥田百年		旭川市立第二小学校		
54	岡村雄風	奎星会か			
53	小田秀幸	墨人会	堺		
52	岡本恵美子		広島		
51	岡部蒼風	草人会↓蒼狼社	東京		
50	岡田富美子	墨人会	横浜		
49	岡田剛愚		岐阜／美濃小学校		
48	小笠原孝子				
47	岡稔	墨人会	高田		
46	大和田光明				
45	大脇文子		岐阜／神坂小学校		
44	大野良明	墨人会	美濃市立第一中学校		
43	大友登	蒼狼社か	秋田		
42	大塚えつし	蒼狼社か			
41	大島礼子		神戸		
40	大島節子	墨人会	神戸		
39	大沢晩成	墨人会	東京		
38	大沢華空	墨人会			
37	大浦真理子		北海道標津町		
36	江川蒼竹	書壇院	師吉田苞竹		
35	浦野正	独立書人団	松江市立中原小学校		
			備考(地域は初回掲載地)		
102	鈴木海南	墨人会			
101	鈴木嘉雄		名古屋		
100	菅原晴一		北海道／風運旭小学校		
99	神野正彦				
98	神野弘道		和歌山／師瀬川杏人		
97	神野辰彦		堺		
96	神野繁男		和歌山		
95	城市武久				
94	白倉丘		新潟阿賀／義務教員		
93	下山秋翠	独立書人団	北海道留萌市		
92	清水草舟	墨人会	浜松		
91	清水信男		静岡		
90	島南城				
89	篠田昭二	墨人会	名古屋市立浄心中学校		
88	茂林孝華	学書院／日展系	秋田／師柳田泰雲		
87	塩野松雲	墨人会	和歌山		
86	塩田慥洲	墨人会	旭川		
85	早苗恭子		神奈川		
84	佐藤大朴	平原社↓墨人会	札幌／師大澤雅休		
83	佐藤蒼龍	奎星会	秋田／師上田桑鳩		
82	佐々木臂山		広島		
81	酒井静子		福岡		
80	佐賀三恵子				
79	近藤豊子				
78	小柳新吉				
77	込山清卿				
76	小松原茂				
75	小林龍峰	平原社↓草人会	東京／師大澤雅休		
74	後藤千郁	墨人会	岐阜		
73	公森仁	墨人会	滋賀		
72	幸田峰月		大阪／阪南高校		
71	児玉義信		広島		
70	木ノ花政治		北海道／比布小学校		
69	河野純子	墨人会	東京／両国小学校		
			備考(地域は初回掲載地)		

34年	33年	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月
11	(遠く)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
12	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
13	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
14	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
15	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
16	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
17	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
18	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
19	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
20	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
21	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
22	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
23	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
24	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
25	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
26	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
27	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
28	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
29	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)
30	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)	(文々)

別図1 課題計画表(横向き) 昭和三十三年(一九五八)四月号—三十四年(一九五九)二月号分

別図2 指導者計画表

昭和三十三年(一九五八)四月号—同年三十四年(一九五九)二月号分

月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一二月
小一	井上	奥島	篠田	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包
小二	(+)	河野隆子	玉有	定崎重美	小津美	松下桂	飯塚弘幸	城守武久	奥田百年	折本金鶴
小三	徳村	小田秀幸	大沢華	有	豊川 通	大沢 暁	宮崎郁夫	松下桂	奥田隆城	奥田隆城
小四	松下	森 霞外	大里良助	今岡	森 霞外	藤林泰紀	藤本白穂	徳村文和	平田耕村	平田耕村
小五	徳田 (伊智包)	河野心	大沢 暁	新崎 梨	渡辺 浩	上	藤川 孝人	西田 昭男	奥田 玲厚	奥田 玲厚
中一		玉 牛	島 向雄	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包
中二	玉 牛									
中三		瀬川 孝人	伊智包	葉生 悦都	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包
高一般										
大奥研		玉 牛	島 一	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包
かな	地尾									
小一		伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包	伊智包
小二										
小三										
小四										
小五										
小六										
中一										
中二										
中三										
高一般										
大奥研										
かな										
小一										
小二										
小三										
小四										
小五										
小六										
中一										
中二										
中三										
高一般										
大奥研										
かな										
小一										
小二										
小三										
小四										
小五										
小六										
中一										
中二										
中三										
高一般										
大奥研										
かな										
小一										
小二										
小三										
小四										
小五										
小六										
中一										
中二										
中三										
高一般										
大奥研										
かな										
小一										
小二										
小三										
小四										
小五										
小六										
中一										
中二										
中三										
高一般										
大奥研										
かな										
小一										
小二										
小三										
小四										
小五										
小六										
中一										
中二										
中三										
高一般										
大奥研										
かな										

別図3 課題計画表

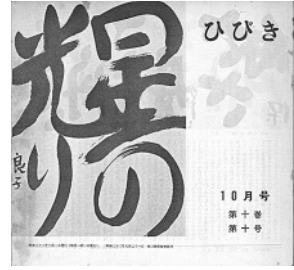
昭和五十一年(一九七六)五月号—同年十二月号分

月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
小一	大 (奥島)	山 (小津)	才 (田)	小 (津)	小 (津)	小 (津)	小 (津)	小 (津)
小二	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小三	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小四	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小五	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小六	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中一	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中二	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中三	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
高一般	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
大奥研	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
かな	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小一	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小二	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小三	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小四	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小五	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小六	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中一	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中二	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中三	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
高一般	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
大奥研	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
かな	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小一	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小二	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小三	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小四	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小五	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小六	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中一	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中二	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中三	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
高一般	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
大奥研	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
かな	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小一	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小二	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小三	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小四	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小五	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
小六	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中一	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中二	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
中三	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
高一般	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
大奥研	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)
かな	大 (津)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)	草 (田)

【資料1】

書の雑誌『ひびき』全二百五十冊表紙図版

※ここには「発行年〇月号」と掲載した。
巻号の表記は「資料2」書の雑誌『ひびき』
全二百五十冊内容目録「参照」。



20 昭和三十三年十月号



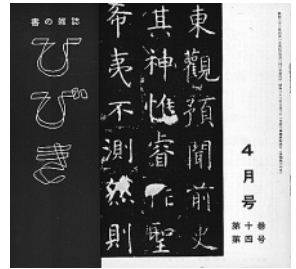
13 昭和三十三年三月号



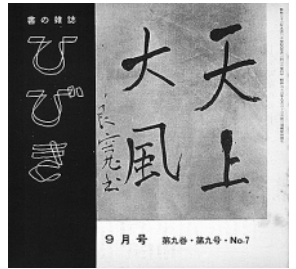
6 昭和三十一年八月号



21 昭和三十三年十一月号



14 昭和三十三年四月号



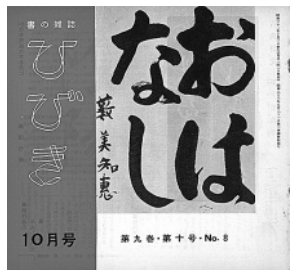
7 昭和三十一年九月号



22 昭和三十三年十二月号



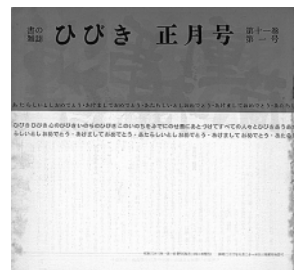
15 昭和三十三年五月号



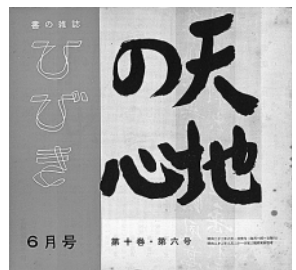
8 昭和三十一年十月号



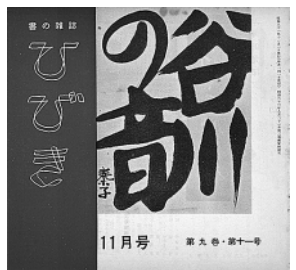
1 昭和三十一年三月号



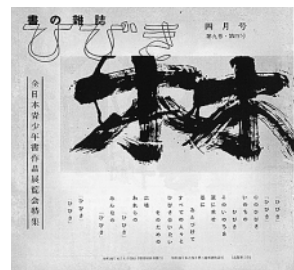
23 昭和三十三年一月号



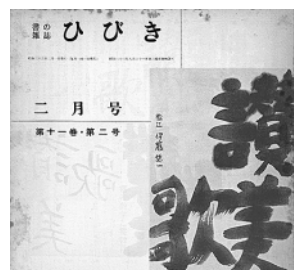
16 昭和三十三年六月号



9 昭和三十一年十一月号



2 昭和三十一年四月号



24 昭和三十三年二月号



17 昭和三十三年七月号



10 昭和三十一年十二月号



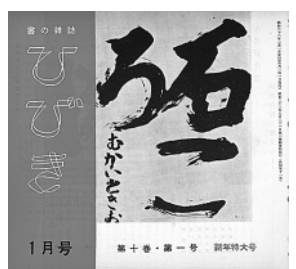
3 昭和三十一年五月号



25 昭和三十三年三月号



18 昭和三十三年八月号



11 昭和三十三年一月号



4 昭和三十一年六月号



26 昭和三十三年四月号



19 昭和三十三年九月号



12 昭和三十三年二月号



5 昭和三十一年七月号



⑳昭和三十五年二月号



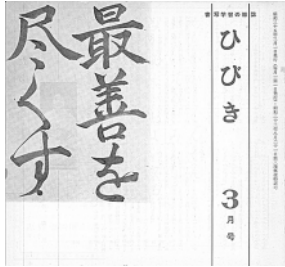
㉑昭和三十四年七月号



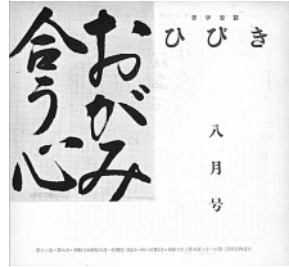
㉒昭和三十三年十二月号



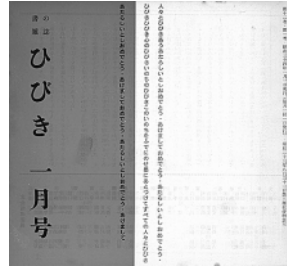
㉓昭和三十三年五月号



㉔昭和三十五年三月号



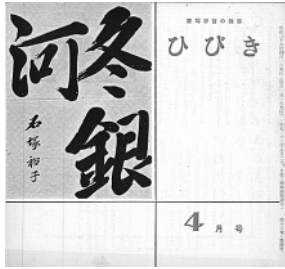
㉕昭和三十四年八月号



㉖昭和三十四年一月号



㉗昭和三十三年六月号



㉘昭和三十五年四月号



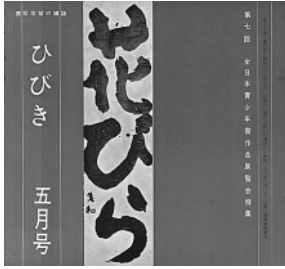
㉙昭和三十四年九月号



㉚昭和三十四年二月号



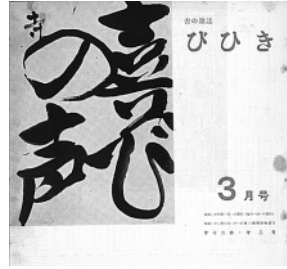
㉛昭和三十三年七月号



㉜昭和三十五年五月号



㉝昭和三十四年十月号



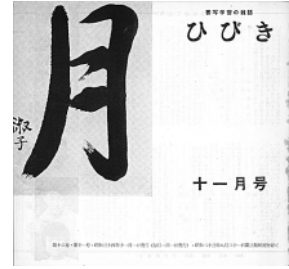
㉞昭和三十四年三月号



㉟昭和三十三年八月号



㊱昭和三十五年六月号



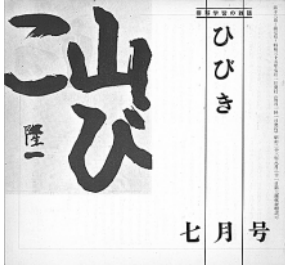
㊲昭和三十四年十一月号



㊳昭和三十四年四月号



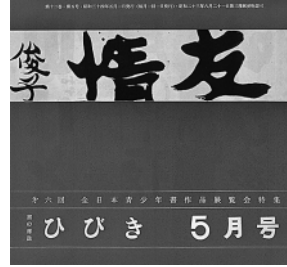
㊴昭和三十三年九月号



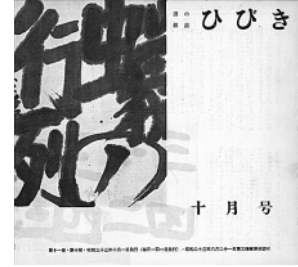
㊵昭和三十五年七月号



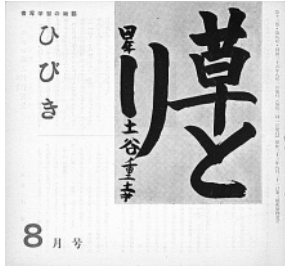
㊶昭和三十四年十二月号



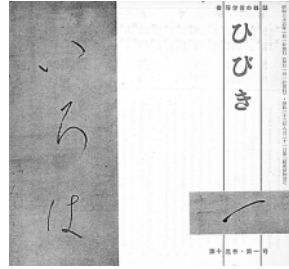
㊷昭和三十四年五月号



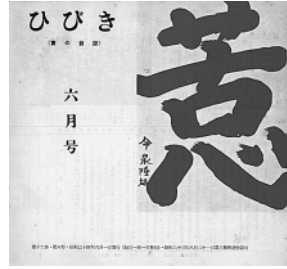
㊸昭和三十三年十月号



㊹昭和三十五年八月号



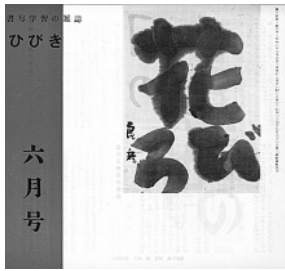
㊺昭和三十五年一月号



㊻昭和三十四年六月号



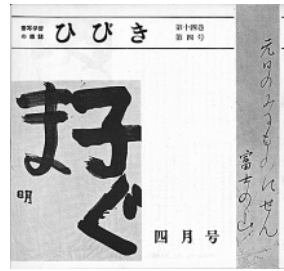
㊼昭和三十三年十一月号



⑦⑥ 昭和三十七年六月号



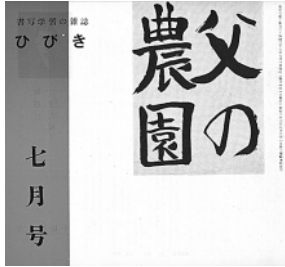
⑥⑨ 昭和三十六年十一月号



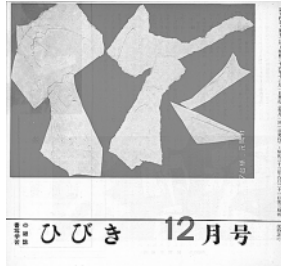
⑥⑧ 昭和三十六年四月号



⑥⑤ 昭和三十五年九月号



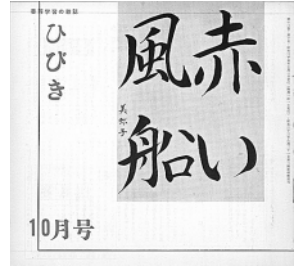
⑦⑦ 昭和三十七年七月号



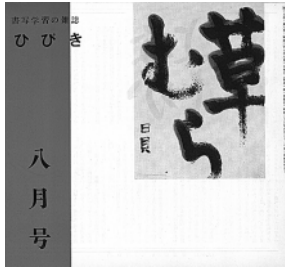
⑦⑩ 昭和三十六年十二月号



⑥③ 昭和三十六年五月号



⑥⑥ 昭和三十五年十月号



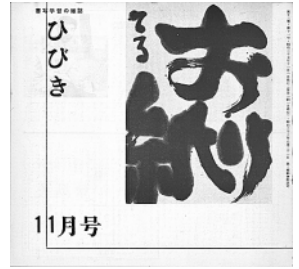
⑦⑧ 昭和三十七年八月号



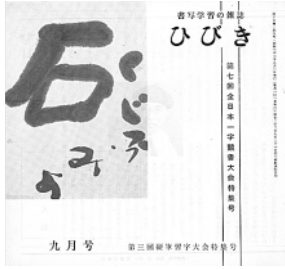
⑦① 昭和三十七年一月号



⑥④ 昭和三十六年六月号



⑥⑦ 昭和三十五年十一月号



⑦⑨ 昭和三十七年九月号



⑦② 昭和三十七年二月号



⑥⑤ 昭和三十六年七月号



⑥⑧ 昭和三十五年十二月号



⑧① 昭和三十七年十月号



⑦③ 昭和三十七年三月号



⑥⑥ 昭和三十六年八月号



⑥⑨ 昭和三十六年一月号



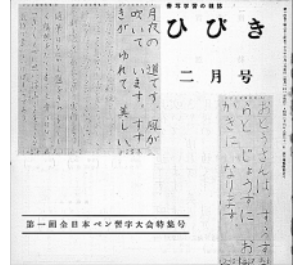
⑧② 昭和三十七年十一月号



⑦④ 昭和三十七年四月号



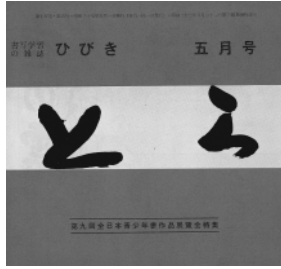
⑥⑦ 昭和三十六年九月号



⑦⑥ 昭和三十六年二月号



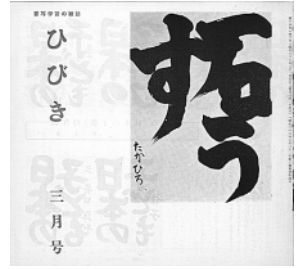
⑧③ 昭和三十七年十二月号



⑦⑤ 昭和三十七年五月号



⑥⑧ 昭和三十六年十月号



⑦⑦ 昭和三十六年三月号



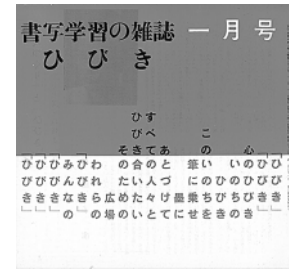
⑧昭和三十九年十月号



⑨昭和三十九年三月号



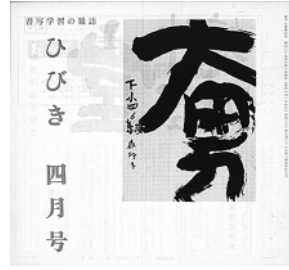
⑩昭和三十八年八月号



⑪昭和三十八年一月号



⑫昭和三十九年十一月号



⑬昭和三十九年四月号



⑭昭和三十八年九月号



⑮昭和三十八年二月号



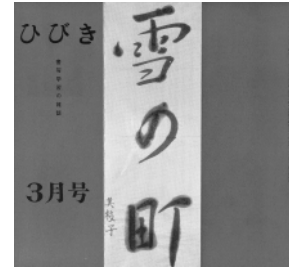
⑯昭和三十九年十二月号



⑰昭和三十九年五月号



⑱昭和三十八年十月号



⑲昭和三十八年三月号



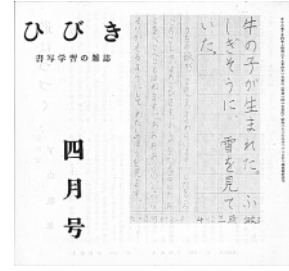
⑳昭和三十九年六月号



㉑昭和三十九年六月号



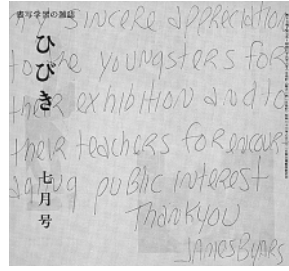
㉒昭和三十八年十一月号



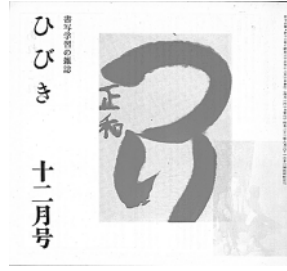
㉓昭和三十八年四月号



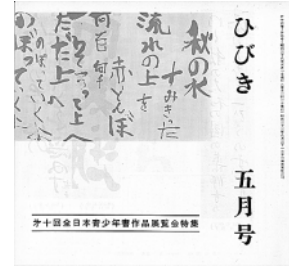
㉔昭和三十九年七月号



㉕昭和三十九年七月号



㉖昭和三十八年十二月号



㉗昭和三十八年五月号



㉘昭和三十九年八月号



㉙昭和三十九年八月号



㉚昭和三十九年一月号



㉛昭和三十八年六月号



㉜昭和三十九年九月号



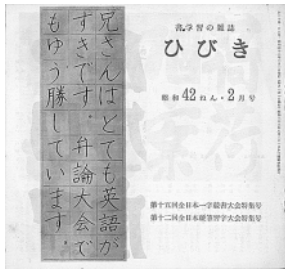
㉝昭和三十九年九月号



㉞昭和三十九年二月号



㉟昭和三十八年七月号



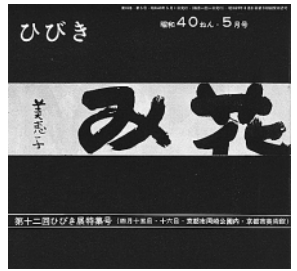
⑬昭和四十二年二月号



⑭昭和四十一年七月号



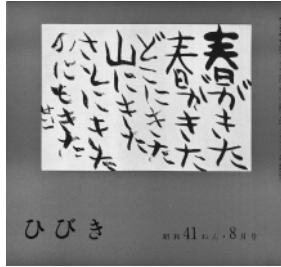
⑮昭和四十年十二月号



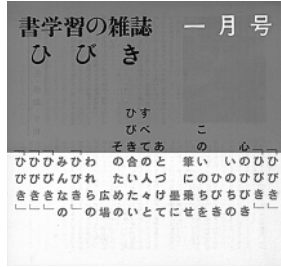
⑯昭和四十年五月号



⑰昭和四十二年三月号



⑱昭和四十一年八月号



⑲昭和四十一年一月号



⑳昭和四十年六月号



㉑昭和四十二年四月号



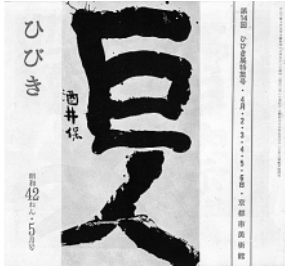
㉒昭和四十一年九月号



㉓昭和四十一年二月号



㉔昭和四十年七月号



㉕昭和四十二年五月号



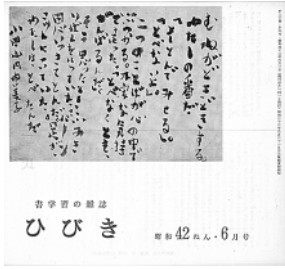
㉖昭和四十一年十月号



㉗昭和四十一年三月号



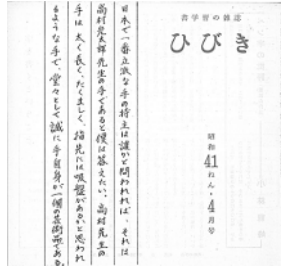
㉘昭和四十年八月号



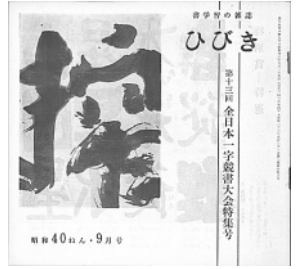
㉙昭和四十二年六月号



㉚昭和四十一年十一月号



㉛昭和四十一年四月号



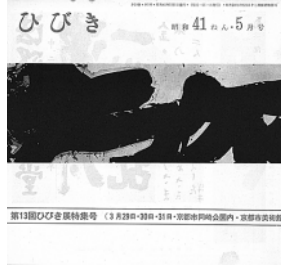
㉜昭和四十年九月号



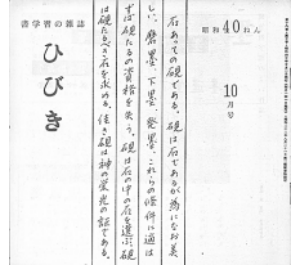
㉝昭和四十二年七月号



㉞昭和四十二年十二月号



㉟昭和四十一年五月号



㊱昭和四十年十月号



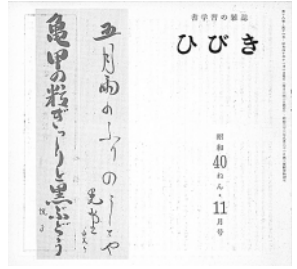
㊲昭和四十二年八月号



㊳昭和四十二年一月号



㊴昭和四十一年六月号



㊵昭和四十年十一月号



⑭昭和四十四年六月号



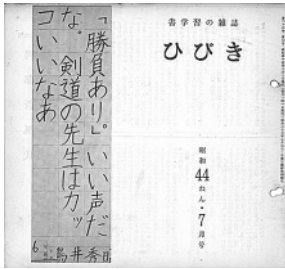
⑬昭和四十三年十一月号



⑫昭和四十三年四月号



⑪昭和四十二年九月号



⑯昭和四十四年七月号



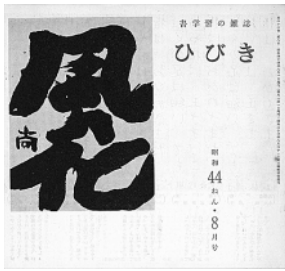
⑭昭和四十三年十二月号



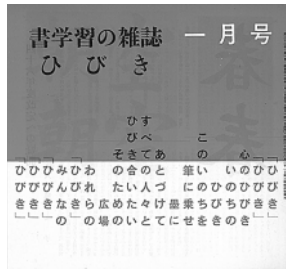
⑬昭和四十三年五月号



⑫昭和四十二年十月号



⑰昭和四十四年八月号



⑮昭和四十四年一月号



⑬昭和四十三年六月号



⑫昭和四十二年十一月号



⑱昭和四十四年九月号



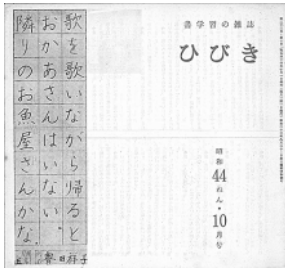
⑯昭和四十四年二月号



⑭昭和四十三年七月号



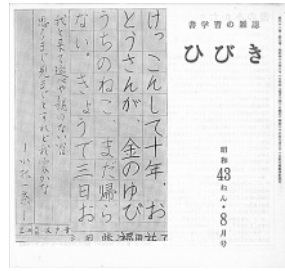
⑫昭和四十二年十二月号



⑳昭和四十四年十月号



⑰昭和四十四年三月号



⑮昭和四十三年八月号



⑬昭和四十三年一月号



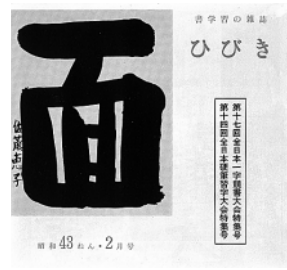
㉑昭和四十四年十一月号



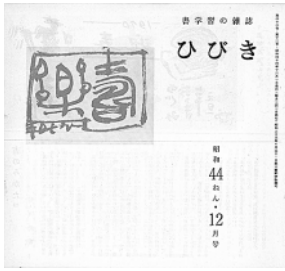
⑱昭和四十四年四月号



⑯昭和四十三年九月号



⑫昭和四十三年二月号



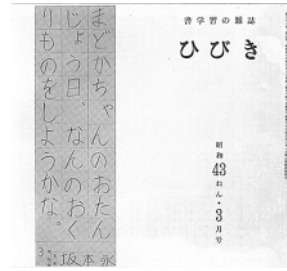
㉒昭和四十四年十二月号



㉓昭和四十四年五月号



⑰昭和四十三年十月号



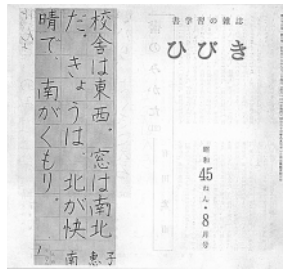
⑬昭和四十三年三月号



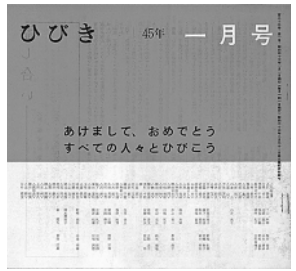
⑳昭和四十六年十月号



㉑昭和四十六年三月号



㉒昭和四十五年八月号



㉓昭和四十五年一月号



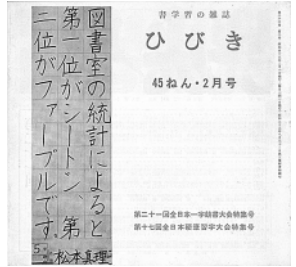
㉔昭和四十六年十一月号



㉕昭和四十六年四月号



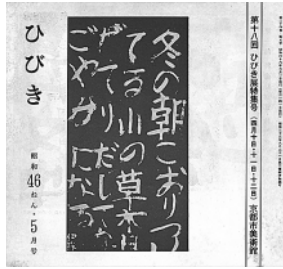
㉖昭和四十五年九月号



㉗昭和四十五年二月号



㉘昭和四十六年十二月号



㉙昭和四十六年五月号



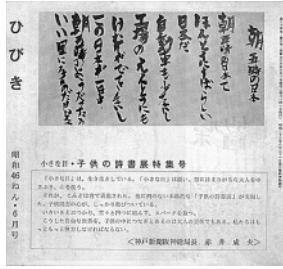
㉚昭和四十五年十月号



㉛昭和四十五年三月号



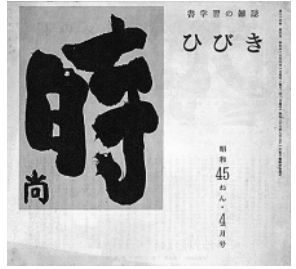
㉜昭和四十七年一月号



㉝昭和四十六年六月号



㉞昭和四十五年十一月号



㉟昭和四十五年四月号



㊱昭和四十七年二月号



㊲昭和四十六年七月号



㊳昭和四十五年十二月号



㊴昭和四十五年五月号



㊵昭和四十七年三月号



㊶昭和四十六年八月号



㊷昭和四十六年一月号



㊸昭和四十五年六月号



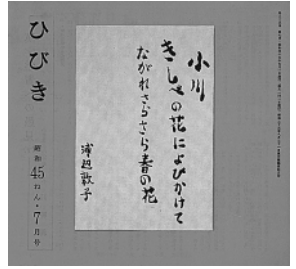
㊹昭和四十七年四月号



㊺昭和四十六年九月号



㊻昭和四十六年二月号



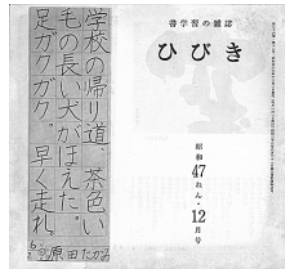
㊼昭和四十五年七月号



206 昭和四十九年二月号



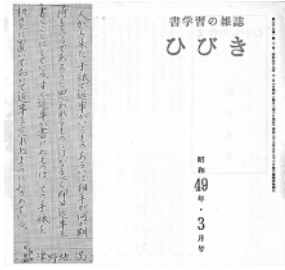
207 昭和四十八年七月号



208 昭和四十七年十二月号



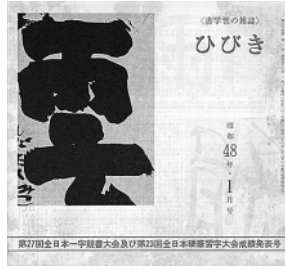
199 昭和四十七年五月号



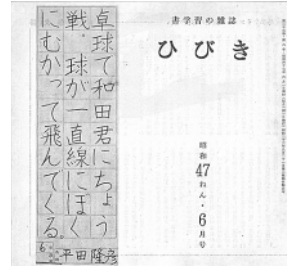
211 昭和四十九年三月号



210 昭和四十八年八月号



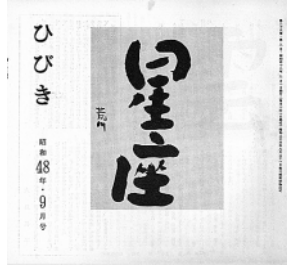
209 昭和四十八年一月号



198 昭和四十七年六月号



218 昭和四十九年四月号



217 昭和四十八年九月号



207 昭和四十八年二月号



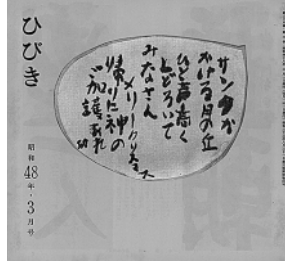
197 昭和四十七年七月号



219 昭和四十九年五月号



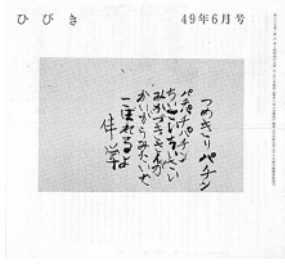
212 昭和四十八年十月号



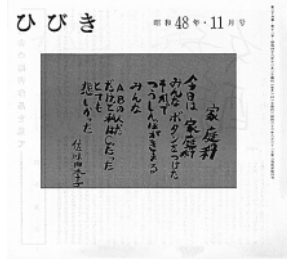
206 昭和四十八年三月号



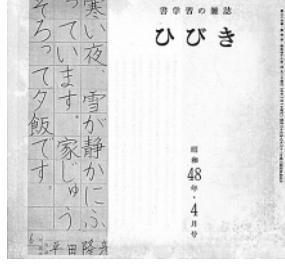
196 昭和四十七年八月号



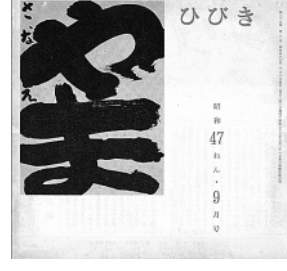
220 昭和四十九年六月号



213 昭和四十八年十一月号



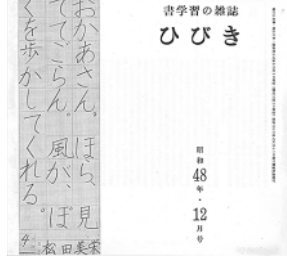
205 昭和四十八年四月号



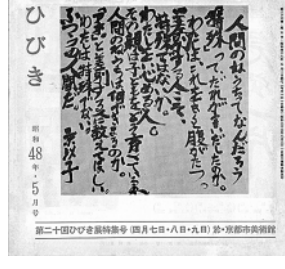
195 昭和四十七年九月号



221 昭和四十九年七月号



214 昭和四十八年十二月号



204 昭和四十八年五月号



200 昭和四十七年十月号



222 昭和四十九年八月号



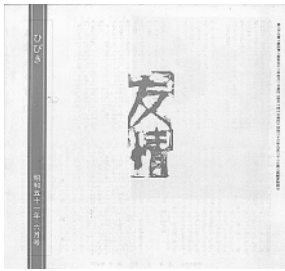
215 昭和四十九年一月号



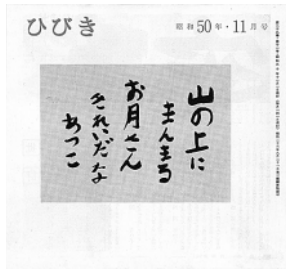
203 昭和四十八年六月号



201 昭和四十七年十一月号



24 昭和五十一年六月号



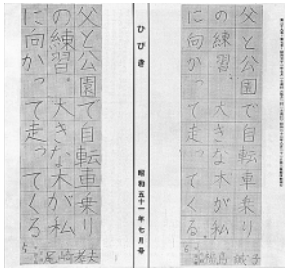
25 昭和五十年十一月号



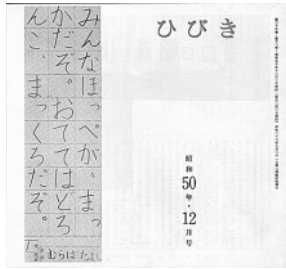
26 昭和五十年四月号



27 昭和四十九年九月号



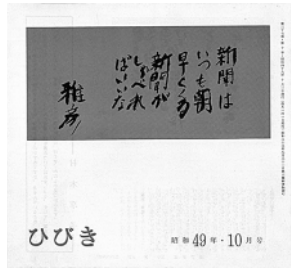
28 昭和五十一年七月号



29 昭和五十年十二月号



30 昭和五十年五月号



31 昭和四十九年十月号



32 昭和五十一年八月号



33 昭和五十一年一月号



34 昭和五十年六月号



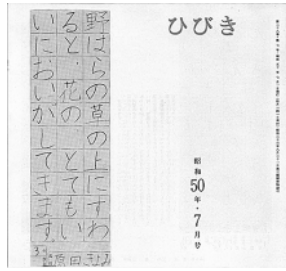
35 昭和四十九年十一月号



36 昭和五十一年九月号



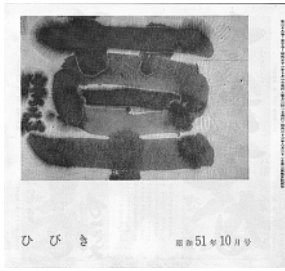
37 昭和五十一年二月号



38 昭和五十年七月号



39 昭和四十九年十二月号



40 昭和五十一年十月号



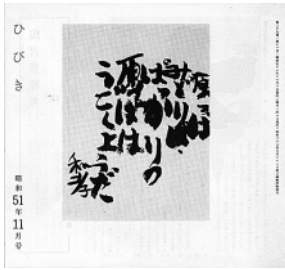
41 昭和五十一年三月号



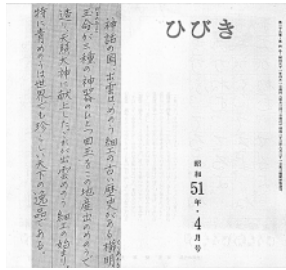
42 昭和五十年八月号



43 昭和五十年一月号



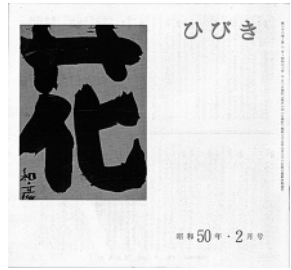
44 昭和五十一年十一月号



45 昭和五十二年四月号



46 昭和五十年九月号



47 昭和五十年二月号



48 昭和五十一年十二月号



49 昭和五十一年五月号



50 昭和五十年十月号



51 昭和五十年三月号

【資料2】

書の雑誌『ひびき』全二百五十冊内容目録

【凡例】

- ・発刊について編集、発行等の変更があった場合、最初の巻号にのみ記し、以降は省略した。
- ・改題通巻の号数に誤りがある号は、実際の表記の次に(一)で正しい号数を記載した。
- ・全日本一文字競争大会および全日本硬筆習字大会の開催回数で誤りがあるものは、実際の表記の次に(一)で正しい号数を記載した。
- ・競争の参考作品は「」に課題を記し、その参考作品の制作者が指導者の場合は氏名を、子供等の場合は氏名を省略し(子)と記した。
- ・競争の参考作品として古典原本や拓本が掲載されているものは「原・古典名」と記した。
- ・古典名は掲載のとおり記した。
- ・児童・生徒への作品評は、(一)内に人数と指導者名を記した。
- ・執筆者の判明する文章で表題のないものは、(一)に文頭を記して項目とした。
- ・児童・生徒の作品評で表題のないものは(鑑賞)成績表については、項目掲載を省略した。
- ・出品規定 相談担当員 本会役員 会員規定等の項目掲載は省略した。

昭和三十一年(一九五六)

- ①三月号(第九卷第三号・改題第一号)／三月一日発行／編集人江口草玄／発行人森田子龍／発行所墨美出版社／事務取扱い京都府北区紫竹下緑町五四 ひびきの会／表紙「はねつき」(子)
- ・古典研究部「骨於」弘宣「江口草玄」原・孟法師碑
- ・かな部A部 原・藤原行成筆「和漢朗詠集」B部 原・伝貫之「寸松庵色紙」
- ・作品部(七言二句)金森朴堂／(詩)(子)
- ・小学一年規定「かけっこ」江口草玄／小学二年規定「坂みち」今井松喬／(子)／小学三年規定「人形」江口草玄／金森朴堂／小学四年規定「先頭」政本遂之／井上一／原・鄭文公下碑・孫秋生造像記「竹山聯句」／小学五年規定「心の泉」金森朴堂／小学六年規定「勇氣百倍」浅野五牛(二種類)
- ・中学一・二・三年規定「若人の夢」小林龍峰／豊島鐘城(各二種類)／原・皇甫府君碑・牛楸造像・弘法大師書・王羲之書
- ・高校一 一般規定「温故知新」政本遂之／関谷義道

- ・ペン習字部 小学生／中学 高校一 一般関谷義道
- ・今月の優秀作品(1人)富田重明・江口草玄・関谷義道
- ・墨の中の生活から「荒谷文字」高根 松江 三中支部 支部長野崎邦臣
- ②四月号(第九卷第四号・改題第二号)／四月一日発行／編集人江口草玄／発行人森田子龍／発行所墨美社／事務取扱い京都市北区紫竹下緑町五四 ひびきの会／表紙「林」(子)
- ・全日本青少年書作品展覧会特集(鑑賞)(12人(江口草玄)4人(森田子龍)1人(今岡徳夫))
- ・希望に胸ふくらむ「江口草玄」ペン習字部 小学生／中学 高校一 一般関谷義道
- ・小学一年規定「まり」今岡徳夫／小学二年規定「友だち」富田重明・鶴飼寒鏡／小学三年規定「小鳥」(子)／浅野五牛／小学四年規定「若芽」徳村大和／(子)／小学五年規定「千里一步」関谷義道／小林龍峰／小学六年規定「自分の力」(子)／金森朴堂／原・顔真卿書「褚遂良書
- ・中学一・二・三年規定「放情自娛」今井松喬／政本遂之(各二種類)／原・張猛龍碑
- ・高校一 一般規定「澄懷」豊島鐘城／中村木子(二種類)
- ・かな部A部(つゆつち)／B部 原・伝貫之「寸松庵色紙」
- ・作品部「水を渡りまた水を渡る花をみまた花をみる」小林龍峰／(詩)(子)
- ・古典研究部「調風」井上一／原・温泉銘
- ③五月号(第九卷第五号・改題第三号)／五月一日発行／編集兼発行人江口草玄／発行所京都市北区紫竹下緑町五四 ひびきの会／表紙「うめの花」(子)
- ・「表紙作品」小林龍峰
- ・「心の集中」江口草玄
- ・古典研究部「度」学「江口草玄」／「光我王度」池田水城／原・建中告身帖／「建中帖」について「池田水城
- ・小学一年規定「くさむら」奥村千鶴／小学二年規定「はれた空」井上一／小学三年規定「大地」政本遂之／今岡徳夫／小学四年規定「心の女王」政本遂之／浅野五牛

- (二種類)／小学五年規定「雄大」金森朴堂／(子)原・顔真卿書「陽詢書」／小学六年規定「働き」(子)
- ・中学一・二・三年規定「生命の光」森霞外／豊島鐘城／森霞外／原・太宗皇帝書・趙子昂書
- ・高校一 一般規定「理想遠大」徳村大和／富田重明
- ・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学四・五・六年規定／中学 高校一 一般規定 各関谷義道
- ・かな部(中学 高校一 一般「寸松庵色紙」作品部(小・中学 高校一 一般)関谷義道
- ・支部のページ「岩谷支部 支部長小松原茂」猿まねをしかる王羲之(おはなし(1)有田光甫
- ・鑑賞(3人(江口草玄)／2人井上一)／小林龍峰)／1人(今井松喬・辻太 政本遂之・関谷義道)
- ・河野純子／臼井支部松本金鶏
- ④六月号(第九卷第六号・改題第四号)／六月一日発行／表紙「月澄」(子)
- ・「表紙作品」井上一
- ・「墨の中の生活から」荒谷文字
- ・古典研究部「曹公之夢」関谷義道／「曹公之夢澤」浅野五牛／原・李嶠詩
- ・小学一年規定「あめ」小林龍峰／小学二年規定「ながくつ」関谷義道／徳村大和
- ・「よろこびのおたより」(子)4人
- ・小学三年規定「わらい声」金森朴堂／小学四年規定「緑の山」今岡徳夫／三宅保郎／小学五年規定「夏至」江口草玄／豊島鐘城／小学六年規定「喜びの歌」政本遂之／江口草玄
- ・中学一・二・三年規定「快活明朗」富田重明
- ・原・鄭道昭「褚遂良
- ・高校一 一般規定「自然讚美」淵上清園(二種類)「民衆」井上一
- ・ペン習字部 小学一・二・三年／小学四・五・六年／中学 高校一 一般 各関谷義道
- ・作品部(七言二句)政本遂之
- ・かな部(中学 高校一 一般)池田鳥川
- ・支部のページ「高橋支部 支部長三宅保郎」張之の猛練習「臨池(りんち)のおこり」(おはなし(2)有田光甫
- ・鑑賞(3人(江口草玄)／2人(金森朴堂・政本遂之)／1人(池田鳥川・井上一)関

- 谷義道・徳村大和)
- 「よろこび」(子)4人
- ⑤七月号(第九卷第七号・改題第五号)／七月一日発行／表紙「放情自娛」(子)
- ・表紙作品「三池支部」(子)3人
- ・古典研究部「白雲」九信「江口草玄」／如白馬來「天沢華空」原・李嶠詩
- ・小学一・二年規定「あせ」2人／浦野正／小学三・四年規定「日記」(子)／茂林孝華／岡田剛愚／小学五年規定「小人の国」今井松喬／金森朴堂／江口草玄／小学六年規定「広い海」浅野五牛／徳村大和
- ・中学一・二・三年規定「鮮魚」小林龍峰／下山秋翠(子)
- ・中学一・二・三年規定「愛の精神」松本金鶏
- ・関谷義道
- ・高校一 一般規定「貫徹」塩田慥洲(二種類)／原・九成宮醜景銘
- ・ペン習字 小学一・二・三年用／小学四・五・六年用／中学 高校一 一般用 各関谷義道
- ・作品部「春風江上のみち」小林龍峰
- ・かな部(中学規定)池田鳥川／高校以上規定 原・伝貫之「寸松庵色紙」
- ・支部のページ「美濃支部 支部長岡田剛愚」頭髮を筆のかわりにしてかく張旭「有田光甫
- ・鑑賞(2人(江口草玄 政本遂之 富田重明 池田鳥川)／1人(井上一 森霞外 金森朴堂)
- ⑥八月号(第九卷第八号・改題第六号)／八月一日発行／表紙「緑の山」(子)
- ・「表紙作品」三宅保郎
- ・「中学三年の作品をみて」関谷義道
- ・「佐藤敏子個展」小松原茂
- ・古典研究部「三監」政本遂之「監」(子)／原・皇甫府君碑
- ・小学一・二年規定「おはなし」関谷義道／敦賀芳泉／小学三・四年規定「花火」豊島鐘城／江口草玄(子)／小学五・六年規定「おし葉」今井松喬／玉有芳流
- ・中学一年規定「白い砂」金森朴堂／宮崎重美(子)／中学二・三年規定「夏の生活」中村木子／富田重明
- ・高校規定「黒い岩底」政本遂之／野崎邦臣(子)／小林龍峰

・一般規定「決断」浅野五牛／井上有一／徳村大和
・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学四・五・六年規定／中学・高校・一般規定各関谷義道
・作品部(五言二句)中村木子
・かな部 中学規定／高校・一般規定 各池田鳥川
・支部のページ「岡部蒼風先生 小林龍峰先生をお迎えして」赤城支部 奈良節夫
・「智永と千字文」おはなし(4)有田光甫
・鑑賞3人(徳村大和／池田鳥川)／2人(政本遂之／浅野五牛)／1人(豊島鐘城／富田重明／淵上清園)

⑦九月号(第九卷第九号・改題第七号)／九月一日発行／表紙「天上大風」良寛
・「りょうかんさまと風」江口草玄
・古典研究部「比部」江口草玄／「光禄大夫」豊島鐘城／原：皇甫君碑／「皇甫君碑」について」豊島鐘城

・小学一・二規定「お月さま」浅野五牛／金森朴堂／小学三・四年規定「アドウの実」敦賀芳泉／今井松喬／関谷義道／小学五・六年規定「谷川の音」江口草玄／小林竜峰
・中学一年規定「友情」政本遂之／三宅保郎／亀川勲／中学二・三年規定「空を飛ぶ」関谷義道／淵上清園／原：哀冊 伊都内親王願文・興福寺断碑・李嶠詩残卷
・高校規定「抵抗」大野良明／藤田鈴川／政本遂之
・一般規定「真理表情」池田水城／玉有芳流／中村木子(二種類)
・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学五・六年規定／中学・高校・一般規定 各関谷義道
・条幅作品部(小・中・高・一般)「友情の輪」かな部 池田鳥川(二種類)／井上有一
・支部のページ「金蘭支部 支部長 今井松喬」蘭亭叙と太宗皇帝「おはなし」(5)有田光甫
・鑑賞(1人(三宅保郎))
・「後記」江口草玄

⑧十月号(第九卷第十号・改題第八号)／十月一日発行／表紙「おはなし」(7)

・「かなを勉強なさる方に」森田竹華
・古典研究部「像」陰陽池田水城／原：集字聖教序／集字聖教序 池田水城
・小学一・二年規定「つなひき」徳村大和／三宅保郎／小学三・四年規定「力」ぱい
・浅野五牛／今井松喬／小学五・六年規定「感げき」関谷義道／奈良節夫
・中学一年規定「砂丘の上」井上有一／渡辺浩／政本遂之／中学二・三年規定「山の起伏」松本金溪／小林龍峰／金森朴堂／原：木簡・高貞碑・皇甫君碑・風信帖
・高校規定「孤独」政本遂之／豊島鐘城(二種類)／井上有一
・一般規定「幻想の灯」関谷義道／政本遂之／浅野五牛
・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学四・五・六年規定／中学・高校・一般規定 各関谷義道
・条幅作品部(小・中・高・一般)「大地を行く」金森朴堂
・かな部(中学・高校・一般)池田鳥川／「両手に」森田竹華／関谷義道
・支部のページ「門司支部 支部長 徳村牽牛」蘇軾と黄庭堅「おはなし」(6)なかのよい
・二人の書家のお話「有田光甫」
・鑑賞(6人(関谷義道)／5人(豊島鐘城)／4人(今岡徳夫)／3人(江口草玄)／辻太／池田鳥川)

⑨十一月号(第九卷第十一号・改題第九号)／十一月一日発行／表紙「谷川の音」(7)

・古典研究部「集字聖教序(2)」門玄契奉「浅野五牛」／「玄契」江口草玄／原：集字聖教序
・小学一・二年規定「石ころ」浅沼湖水／玉有芳流(7)／小学三・四年規定「しかの角」関谷義道(7)／小学五・六年規定「山頂に立つ」玉有芳流(7)
・中学一年規定「熟れた実」金森朴堂／江口草玄／中学二・三年規定「絵巻物」浅野五牛／野崎邦臣／今井松喬
・高校規定「波紋」政本遂之／浅野五牛
・一般規定「清而美」富田重明／池田水城／金森朴堂
・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学四・五・六年規定／中学・高校・一般規定 各関谷義道

⑩十二月号(第九卷第十二号・改題第十号)／十二月一日発行／表紙「像」(7)

・条幅作品部「曳けやひけや力のかぎり舟は流れを勇みてのぼる」アイダグアイダグアイダグのかぎり。江口草玄
・かな部(中学・高校・一般)池田鳥川(二種類)
・支部のページ「北方支部 支部長 豊島鐘城」雨もりと顔真卿「おはなし」(7)有田光甫
・鑑賞 赤城支部の皆さんの批評／(4人(池田鳥川)／3人(豊島鐘城)／2人(政本遂之・金森朴堂)／1人(今岡徳夫・富田重明)辻太・今井松喬・浅野五牛)
・「お便り」上田素笛／徳村大和

⑪十二月号(第十卷第一号・改題第十一号)／一月一日発行／表紙「石ころ」(7)

・古典研究部(伊都内親王願文)「月」井上有一
・「お母さん方へ」江口草玄
・小学一・二規定「クリスマス」奈良節夫／江口草玄／小学三・四年規定「歩く人」豊島鐘城／浦野正／政本遂之／小学五・六年規定「荷馬車」金森朴堂／奈良節夫
・中学一年規定「聖夜」徳村大和／今井松喬
・関谷義道／中学二・三年規定「明るい扉」大野良明／豊島鐘城／玉有芳流
・高校規定「追憶」金森朴堂／関谷義道／原：椿屋書雁塔聖教序
・一般規定「仰望風声」今井松喬／玉有芳流
・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学四・五・六年規定／中学・高校・一般規定 各関谷義道
・条幅作品部「人間の仕事」江口草玄
・かな部(中学・高校・一般)池田鳥川(二種類)
・風信会第三回社中展 徳村大和
・「虞世南」おはなし(8)有田光甫
・鑑賞 関谷義道(5人(江口草玄)／2人(政本遂之・森田竹華))

⑫一月号(第十卷第二号・改題第十二号)／二月一日発行／表紙「大神」(7)

・規定「快速列車」今岡徳夫／関谷義道
・中学一年規定「高鳴る胸」森霞外／今岡徳夫／浅野五牛／中学二・三年規定「乱舞」関谷義道／金森朴堂／今井松喬
・高校規定「大地洞歩」浅野五牛／玉有芳流
・一般規定「高峰幽谷」森霞外／政本遂之
・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学四・五・六年規定／中学・高校・一般規定 各関谷義道
・条幅作品部(小・中・高・一般)「希望の歌声」政本遂之
・かな部(中学・高校・一般)池田鳥川(二種類)
・支部のページ「秋田支部 支部長 茂林孝華」鷗陽詢と九成宮之碑「おはなし」(9)有田光甫
・鑑賞(集字聖教序の臨書)江口草玄(16人(草玄)／3人(池田鳥川)／2人(政本遂之・三宅保郎))

⑬三月号(第十卷第三号・改題第十三号)／三月一日発行／表紙「大神」(7)

・古典研究部「鬘龍顔碑」刊石「江口草玄」／「本州礼命」富田重明／「鬘龍顔碑」富田重明
・小学一・二規定「たき火」淵上清園／関谷義道／小学三・四年規定「遠い雪山」上田素笛／今井松喬／玉有芳流／小学五・六年規定「気高い姿」金森朴堂／豊島鐘城／篠田昭二
・中学一年規定「気力充実」玉有芳流／今井松喬／中学二・三年規定「心の栄養」井上有一／上田素笛
・高校規定「静寂な夜」金森朴堂／豊島鐘城／篠田昭二
・一般規定「筆和筆調」政本遂之／淵上清園
・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学四・五・六年規定／中学・高校・一般規定 各関谷義道
・条幅作品部(小・中・高・一般)「北海道の冬」井上有一
・かな部 池田鳥川(二種類)
・支部のページ「三池支部 支部長 森霞外」巡回展 小松原茂
・鑑賞「石ころ」三人の作品から「玉有芳流」

⑭三月号(第十卷第三号・改題第十三号)／三月一日発行／表紙「おはなし」(7)

三月一日発行／表紙(原・巽龍顔碑)

・声(おたより)徳村大和

・(巽龍顔碑)「益」大沢華空／「存銘」朝野

井上一

・小学一・二年規定「日なた」茂林孝華／金

森朴堂／小学三・四年規定「ひな祭り」政

本遂之／奥村千鶴／小学五・六年規定「広

い野道」玉有芳流(二種類)／芋生院哉

・中学一年規定「握手」今井松喬／金森朴堂

・原・伊都内親王願文(集字)／中学一・三

年規定「終始」貫・関谷義道／富田重明

玉有芳流

・高校規定「詩集」／「仏像の美」政本遂之

・一般規定「心如水」徳村大和／関谷義道

・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学

四・五・六年規定／中学・高校・一般規定

各関谷義道

・かな部(中学・高校・一般)池田鳥川／森田

竹華

・支部のページ 水保・瑠照支部書初合同展

支部長 淵上清園

「弘法は筆をえらばず？」小田秀幸

・鑑賞 辻太／(3人)玉有芳流 2人(金森

朴堂・森霞外 2宅保郎)／1人 浅野五

牛・池田鳥川・豊島鐘城)

・後記「江口草玄

⑭四月号(第十卷第四号・改題第十四号)／

四月一日発行／表紙(原・夫子廟堂碑)

・「お母さん方へ」江口草玄

・「虞世南夫子廟堂碑」至仁／池田水城

・「凶撥乱天」浅野五牛

・小学一・二年規定「はな」岩田佳峰／「花」

豊島鐘城／池田水城／小学三・四年規定

「母馬」藤田鈴川／関谷義道／小学五・六

年規定「新しい芽」島南城／玉有芳流

・中学一年規定「天地の心」今井松喬／政本

遂之／田中栄喜／原・鷗陽詢書皇甫府君

碑／中学二・三年規定「口笛ふく」島南城

／金森朴堂／藤田鈴川

・高校規定「響」浅野五牛／政本遂之(二種

類)

・一般規定「寄心清尚」金森朴堂／玉有芳流

・今井松喬

・ペン習字 小学一・二・三年規定／小学

四・五・六年規定／中学・高校・一般規定

各関谷義道

(子) かな部(中学・高校・一般)池田鳥川(二種

類)

・支部のページ 城西支部支部長 浦野正

・光明皇后さま 小田秀幸

・鑑賞 井上一／(8人)江口草玄／4人

(淵上清園)／3人(政本遂之)／2人(今

井松喬・上田素笛 浅野五牛・玉有芳流・金

森朴堂)／1人(富田重明)

・「努力家の鐘繇」おはなし10)有田光甫

・(政本遂之)

・第二部評筆記文字の部 関谷義道

・小学一・二年規定「小川」関谷義道／玉有

芳流／「いぬ」玉有芳流／小学三・四年規

定「汽てき」松本金鶏／金森朴堂(子)／小

学五・六年規定「なみ木道」(子)今井松喬

／三宅保郎

・中学一年規定「木立の海」豊島鐘城／政本

遂之／中学二・三年規定「胸の炎」玉有芳

流／井上一／野崎邦臣

・高校・一般規定「円舞曲」井上一(二種

類)／金森朴堂「此中佳」三宅保郎／玉

有芳流

・ペン習字規定 小学一・二年／小学三・四

年／小学五・六年／中学・高校・一般 各

関谷義道

・条幅作品部「野はら」野花随路発春鳥向

人鳴「淵上清園

・古典研究部(夫子廟堂碑)「則三」森霞外

・「睿」関谷義道

・かな部(中学・高校・一般)池田鳥川

・後記「江口草玄

⑮六月号(第十卷第六号・改題第十六号)／

六月一日発行／表紙「天地の心」(子)

・「巻頭言」江口草玄

・古典研究部(小・中・高校・一般)「臨風」江

口草玄／「壓鳥剥虫」金森朴堂／原・枯樹

賦「枯樹賦」金森朴堂

・小学一・二年規定「あめ」三宅保郎／政本

遂之／「雨ふり」政本遂之／小学三・四年

規定「青い石」金森朴堂／今井松喬／小学

五・六年規定「校庭」関谷義道／天池芳明

(二種類)／浅野五牛

・中学一年規定「文字創造」玉有芳流／岡村

雄風／中学二・三年規定「ふれあう心」関

谷義道／浅野五牛／原・弘法大師書

・高校規定「溢」鈴木嘉雄(二種類)／大沢晚

成／今井松喬／三宅保郎(子)

・一般規定「望千里」玉有芳流／森霞外

塩田健洲

・かな部 池田鳥川(二種類)

・ペン習字規定 小学一・二年／小学三・四

年／小学五・六年／中学・高校・一般 各

関谷義道

・「ペン習字」江口草玄

・いちじさくひん 今井松喬／鈴木嘉雄／

関谷義道(二種類)／浅野五牛／天池芳明

・塩田健洲／浅野五牛／井上一／森田

子龍／大沢華空

・支部のページ 若草書道会支部長 伊勢屋

光華／墨華支部支部長 大沢晩成

・「小野道風と蛙」小田秀幸

・鑑賞(4人)江口草玄 3人(豊島鐘城・

島)／2人(三宅保郎・堀尾勝彦・池田鳥

川)／1人(岩田佳峰)

・団体賞をいただいた「門司支部 東亜書

道院 徳村大和

・七月一日発行／表紙「汽てき」(子)

・「ひびきあい」松本金鶏

・古典研究部(小・中・高校・一般)「魚籠」井

上一／「古度平仲」下山秋翠／原・枯樹

賦

・小学一・二年規定「うみ」今井松喬／「白い

くも」徳村大和／小学三・四年規定「ささ

舟」政本遂之／渡辺浩／豊島鐘城／小学

五・六年規定「ゆうが燈」金森堂／原・鷗陽

詢書

・中学一年規定「清潔」井上一／渡辺浩

・原・王羲之書蘭亭／中学二・三年規定

「田園風景」徳村大和／松本金鶏／関谷義

道

年／小学五・六年／中学・高校・一般(二種

類)各関谷義道

・いちじさくひん「雲」井上一／下山秋翠

・政本遂之(二種類)／関谷義道／原・雲

峰山刻石(鄭道昭書)／李崎詩殘卷(伝嵯

峨天皇書)／竹山連句(顔真卿書)

・昔の人の経験談「小田秀幸

・支部のページ 甲南支部支部長 富田重明

・作品鑑賞(お友達の鑑賞文)

・第四回全国展団体賞入賞の庄原高校

⑯八月号(第十卷第八号・改題第十八号)／

八月一日発行／表紙(原・高貞碑)

・おめでとー 全国展入賞のスナップ

・古典研究部(小・中・高校・一般)(高貞碑)

「可観」富田重明／「許龍馬流」浅野五牛

・小学一・二年規定「ほたる」浅沼仁一／芋

生院哉／小学三・四年規定「貝がら」井上

有一／岩田佳峰／政本遂之／小学五・六

年規定「星の光り」金森朴堂

・中学一年規定「旅の印象」関谷義道／「朝」

井上一／浅野五牛／中学二・三年・高校

規定「牧場の朝」金森朴堂(二種類)／「潮

風」浅野五牛／政本遂之／原・高貞碑

・一般規定「踊りの輪」玉有芳流／井上一

／森霞外

・かな部(中学・高校・一般)池田鳥川(二種

類)

・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年

／小学五・六年／中学・高校・一般 各関谷

義道

・「二円に思う」堀尾勝彦

・印をつくらう(夏休みの宿題)(名古屋市中

浄心中学校)

・一字作品「轟」富田重明／玉有芳流／井上

有一／浅野五牛

・支部のページ 37歳支部支部長 玉有芳流

・藤原行成「小田秀幸

・作品鑑賞(4人)江口草玄・玉有芳流)／2

人(堀尾勝彦・芳明)／1人(関谷義道 芋

生院哉)

⑰九月号(第十卷第九号・改題第十九号)／

九月一日発行／表紙「魚」(子)

・第二回全日本一字競書大会特集

・小学一・二年規定「れつ」伊勢屋光華

・奥村千鶴／小学三・四年規定「おじさんの

声」島南城／茂林孝華／小学五・六年・中

学一・二・三年規定規定「羊の群」金森朴堂
／今井松喬／今岡徳夫／井上有一／「荒
地を耕す」関谷義道／玉有芳流
・高校・一般規定「底光り」大沢晩成／今井
松喬／「法隆寺」玉有芳流／島南成
・古典研究部「小」中・高校・一般「通理」関
谷義道／「齒黄」井上有一／原・高貞碑
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年
小学五・六年／中学一年／中学二・三年
高校一般 各関谷義道
・かな部（中学・高校一般）池田鳥川／森田
竹華
・作品鑑賞 豊島鐘城

⑳十月号（第十卷第十号）改題第二十号）／
十月一日発行／表紙「星の光り」(子)

・作品鑑賞（六枚の「ささ舟」）森田子龍
・小学一・二年規定「赤かて」松下桂香／「白
かて」三宅保郎／政本遂之／松下桂香／「白
規定」わたり鳥／玉有芳流／上田素笛／岩
田桂峰／小学五・六年規定「重い荷」徳村
大和／豊島鐘城
・中学一年規定「椿の葉」岩田桂峰／政本遂
之／松下桂香／中学二・三年規定「人類の
泉」関谷義道／上田素笛(子)2人
・高校一般規定「砂塵」森霞外(子)／徳村
大和
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年
小学五・六年／中学一・二・三年／高校一
般 各関谷義道
・「かなの生い立ち」小田秀幸
・ひびき巡回展富山県東礪波郡平中学校
・鑑賞(8人)江口草玄／3人(浅沼湖
水・富田重明)／2人(岩田桂峰・玉有芳
流)／1人(上田素笛・関谷義道)
・古典研究部「金剛」天沢華空／「廣吉金剛
拳」江口草玄／原・灌頂記

㉑十一月号（第十卷第十一号）改題第二十一
号）／十一月一日発行／表紙「羊の群」(子)

・「作品の見方」辻太
・小学一・二年規定「たのしい」鈴木嘉雄
／今井松喬／小学三・四年規定「森の神」
関谷義道／淵上清園／金森朴堂／小学
五・六年規定「豊かなな」野崎邦臣／鈴木
嘉雄／今井松喬
・中学一年規定「東洋の美」浅野五牛／金森
朴堂／家城竹嶺／中学二・三年・高校一

般規定「谷間の花」関谷義道／「絶えざる
向上」鈴木嘉雄／「孤独感」野崎邦臣／「人
間の孤独」政本遂之
・かな部（中学・高校一般）「足元に」池田鳥
川
・「創るということ」堀尾勝彦
・「禅僧の書(1)」小田秀幸
・一字作品「野」井上有一／関谷義道／島南
成／大沢晩成／今岡徳夫／伊勢屋光華
・支部のページ 岩手県遠野市綾織小学校
支部長 浅沼仁一
・赤いポスト(みんなのお便りの場所)
・今月の優秀作品(4人)関谷義道／2人
(堀尾勝彦)／1人(伊賀屋)

㉒十二月号（第十卷第十二号）改題第二十二
号）／十二月一日発行／表紙「わたり鳥」(子)

・作品鑑賞 京都府網野中学校校務分校の皆
さんの鑑賞文
・小学一・二年規定「ともしび」鈴木嘉雄
／豊島鐘城／小学三・四年規定「人さし指」
玉有芳流／井上有一／山本恵文／小学
五・六年規定「鈴の音」伊勢屋光華／篠田
昭二／亀川勲
・中学一年規定「清純な心」豊島鐘城／玉有
芳流／山本恵文／中学二・三年規定「讚美
歌」井上有一／徳村大和／亀川勲
・高校一般規定「噴煙」森霞外／篠田昭二
・ペン習字 小学一・二・三年／小学四・五
・六年／中学一・二・三年／高校一般 各
関谷義道
・「日本一の子供」日本一の子供
島南成
・妙寺支部 支部長 上田素笛
・「禅僧の書(2)」小田秀幸
・かな部（中学・高校一般）「蒲団着て」池田
鳥川
・今月のよい作品(6人)玉有芳流 4人(森
霞外)2人(豊島鐘城・家城竹嶺・亀川勲・
小田秀幸・西伊三男・松下桂香)
・古典研究部「其の」江口草玄／「妙道」井上
有一／原・雁塔聖教序／「雁塔聖教序につ
いて」堀尾勝彦

昭和三十三年（一九五八）
㉓一月号（第十一卷第一号）改題第二十三
号）／一月一日発行

・鑑賞文 千歳支部 徳島県小松島小学校の
皆さんが書いた鑑賞文
・小学一・二年規定「お正月」佐々木臂山
／茂林孝華／小学三・四年規定「母の手」小
田秀幸／塩田澹洲／小学五・六年規定「銀
世界」小松原茂／佐々木臂山
・中学一年規定「信念に生きる」金森朴堂
／小田秀幸(二種類)／中学二・三年規定「炎
の人」茂林孝華／塩田澹洲／今井松喬
・高校一般規定「透徹」金森朴堂／江口草
玄
・ペン習字 小学一・二・三年／小学四・五
・六年／中学・高校一般 各関谷義道
・「あけましておめでとう」江口草玄
・水袋支部 支部長 溝口秋生
・「禅僧の書(3)」小田秀幸
・詩をほろう(冬休みの宿題)「ま昼の勉強
を彫って」(子)
・赤いポスト 会員欄
・鑑賞(5人)政本遂之／4人(三宅保
郎)／3人(淵上清園・篠田昭二)／2人
(鈴木野崎邦臣・井上有一)
・古典研究「太宗」天沢華空／「四忍之行」玉
有芳流／原・雁塔聖教序／「雁塔聖教序」
玉有芳流

㉔二月号（第十一卷第二号）改題第二十四
号）／二月一日発行／表紙「賛美歌」(子)

・「作品のかんしょう」江口草玄
・小学一・二年「雪だるま」政本遂之／関谷
義道／小学三・四年「春よこい」下山秋翠
／玉有芳流／小学五・六年「心に太陽」浅
野五牛／大沢晩成／森霞外
・中学一年「地鳴り」下山秋翠／森霞外／中
学二・三年「いつも笑顔で」関谷義道／政
本遂之／鈴木嘉雄
・高校一般「遠山白雪」玉有芳流／浅野五
牛／浦野正
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年
小学五・六年／中学・高校一般 各関谷
義道
・かな部（中学・高校一般）池田鳥川
／「禅僧の書(4)」小田秀幸
・太田支部 支部長 渡辺浩

㉕三月号（第十一卷第三号）改題第二十四
号）／三月一日発行／表紙「母の
手」(子)

・「作品の鑑賞」島南成
・小学一・二年規定「先生」岩田桂峰／金森
朴堂／小学三・四年規定「ひな祭り」政本
遂之／大野良明／小学五・六年規定「月光
の曲」上田素笛(二種類)／徳村大和／今
井松喬
・中学一年規定「白梅薫る」金森朴堂／岩田
桂峰／中学二・三年規定「固い決意」徳村
大和／豊島鐘城／「海潮音」政本遂之
・高校一般規定「海潮音」上田素笛／政本
遂之
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年
小学五・六年／中学一・二年／中学三年
高校一般 各関谷義道
・鑑賞(16人)江口草玄／6人(玉有芳
流)／5人(大沢晩成)／4人(堀尾勝彦・
小田秀幸)／3人(芋生皖哉・佐々木臂山)
／2人(小松原茂)
・墨華支部「書初め展を終えて」支部長 大
沢晩成
・「禅僧の書(5)」小田秀幸
・鑑賞(1人)江口草玄
・古典研究部「消散」小林龍峰／「衆生」大沢
華空／原・橋逸勢 三十帖冊子

㉖四月号（第十一卷第四号）改題第二十五
号）／四月一日発行／表紙「心」(子)

・第五回全日本青少年書作品展覧会特集
・小学一・二年規定「さくら」西伊三男／松
下桂華／小学三・四年規定「わか葉」飯田
八重子／鈴木海南／森霞外／小学五・六
年規定「私の詩」松下桂香／玉有芳流／天
池芳明
・中学一年規定「第一歩」飯田八重子／井上
有一／野崎邦臣／中学二・三年規定「朝の
合唱」玉有芳流／鈴木海南
・高校一般規定「強靱」天池芳明／森霞外
／野崎邦臣
・かな部（中学・高校一般）池田鳥川
／浄心支部 支部長 篠田昭二
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年
小学五・六年／中学一・二年／中学三年・高

校一般 各関谷義道
「ひびきをだした時の詩」(子)「がんばろう、がんばろう」(子)
古典研究部「水勢」篠田昭二「七国」井上一原・原・皇甫府君碑「皇甫府君碑について」篠田昭二

27)五月号(第十一卷第五号・改題第二十七号)／五月一日発行／表紙「月光の曲」(子)
作品鑑賞(和歌山県妙寺中学校 椿椋支部)の皆さんが書いた感想文「江口草玄・小学一・二年規定「えんそく」中島栄喜／政本遂之／小学三・四年規定「山びこ」浅野五牛／関谷義道／小学五・六年：中学一年規定「広い花畑」淵上清園／伊勢屋光華／金森朴堂／政本遂之」／「雀の子」篠田昭二／中島栄喜

・中学二・三年規定「葱坊主」浅野五牛／関谷義道／伊勢屋光華
・高校一一般規定「水流雲在」金森朴堂／豊島鐘城／淵上清園
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年：中学一・二年／中学三・四年・高校一一般 各関谷義道
・鑑賞・硬筆 伊勢屋光華
・団体賞を頂いて「三池支部長 森霞外」
・禪と書 小田秀幸
・愛知支部支部長 鈴木嘉雅
・鑑賞(8人)(江口草玄)／4人(城市武久)／2人(上田素笛・中島栄喜・森霞外)／1人(富田重明)

古典研究部「刺犀象百」浅野五牛「其」今岡徳夫／原・皇甫府君碑

28)六月号(第十一卷第六号・改題第二十七号)／六月一日発行／表紙「さくら」(子)
「作品の鑑賞」篠田昭二
・小学一・二年規定「水たまり」徳村大和／淵上清園／小学三・四年規定「雨だれ」金森朴堂／富田重明／小学五・六年規定「両側の家」玉有芳流／平田耕村／城市武久
・中学一年規定「北海漁場」城市武久／瀬川奎人／中学二・三年規定「柔の緑葉」金森朴堂／淵上清園／平田耕村
・高校一一般規定「清我心」富田重明／玉有芳流
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年／

小学五・六年：中学一・二年／中学三・四年・高校一一般 各関谷義道
・鑑賞(ペン字10人)江口草玄
・かな部(中学一・二年・三年：高校一一般)「から梅雨の」池田鳥川
・禪と書 小田秀幸
・平書支部支部長 山本文雄
・鑑賞(9人)(井上一)／5人(江口草玄)／3人(松下桂香・飯田八重子・玉有芳流)／1人(篠田昭二)
古典研究部「篤信落道」金森朴堂「侍中」大沢華空／原・鄭文公下碑

29)七月号(第十一卷第七号・改題第二十八号)／七月一日発行／表紙(硬筆)(子)
「作品鑑賞」浅野五牛
・小学一・二年規定「二三四」(子)浦野勁堂／小学三・四年規定「手おし車」井上一(子)森霞外／小学五・六年規定「海底」浅野五牛「まづ実行」鈴木嘉雅(子)
・中学一年規定「十和田湖」政本遂之「大沢華空」／中学二・三年規定「松風の声」井上一
・浦野勁堂(子)
・高校一一般規定「天地之間」森霞外(二種類)／浅野五牛
・ペン習字 小学一・二年(伊勢屋光華)／小学三・四年／小学五・六年：中学一・二年(以上関谷義道)／中学三・四年・高校一一般(伊勢屋光華)

・かな部(中学・高校一一般)池田鳥川
・禪と書 小田秀幸
・桂支部支部長 松下桂香
・鑑賞(11人)(瀬川奎人)／4人(豊島鐘城)／2人(河野純子・小田秀幸・森霞外・浦野勁堂)／1人(浅野五牛)
・鑑賞かな部 伊勢屋光華
・子供の手紙2通
古典研究部「道昭」鳥集恵策「自居」政本遂之／原・鄭文公下碑

30)八月号(第十一卷第八号・改題第二十九号)／八月一日発行／表紙(照)(子)
第二(三)回全日本一字競争大会特集
・小学一・二・三・四年規定「子ねこ」溝口秋生「水たまり」玉有芳流／門田其外／小学五・六年規定「蟻の行列」宮崎重美／金森朴堂／大野良明

・中学一・二・三年規定「新たな友情」鈴木嘉雅／伊勢屋光華
・高校一一般規定「躍りの輪」玉有芳流「自己造型」金森朴堂／井上一
・ペン習字部 小学一・二年(関谷義道)／小学三・四年／小学五・六年：中学一年(以上伊勢屋光華)／中学二・三年：高校一一般(関谷義道)
・かな部(中学・高校一一般)池田鳥川
古典研究部「鄭文公下碑」今井満里／井上一

31)九月号(第十一卷第九号・改題第三十号)／九月一日発行／表紙「まず実行」(子)
「作品鑑賞」井上一
・小学一・二年規定「めだま」江口草玄／鈴木嘉雅／小学三・四年規定「大空」大沢晩成／塩田健洲／江口草玄／小学五・六年規定「教室の窓」森霞外／野崎邦臣(子)
・中学一年規定「野菊の道」大沢晩成／政本遂之「大沢華空」／中学二・三年規定「走る仔馬」森霞外「走る小馬」平生皓哉
・高校一一般規定「煉瓦の壁」(子)政本遂之
・塩田健洲
・ペン習字 小学一・二・三年／小学四・五・六年：中学・高校一一般 各伊勢屋光華
・城端支部支部長 宮崎重美
・鑑賞(未完)
・子供の手紙6通
古典研究部「藤原行成筆白楽天詩巻」

32)十月号(第十一卷第十号・改題第三十一号)／十月一日発行／表紙「蟻の行列」(子)
・鑑賞 関谷義道
・小学一・二年規定「赤とんぼ」金森朴堂／亀川勲／小学三・四年規定「山歩き」飯原弘喜／江口草玄／小学五・六年規定「心の花園」藤本紫芳／金森朴堂(子)
・中学一年規定「美しい山と川」鈴木嘉雅／「長十郎梨」金森朴堂
・「白萩の花」藤本紫芳(子)藤本白揺
・高校一一般規定「秋水明落日」亀川勲／飯原弘喜
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年：中学一年／中学二・三年：高校一一般 各伊勢屋光華

33)十一月号(第十一卷第十一号・改題第三十二号)／十一月一日発行／表紙「鈴」(子)
・鑑賞 今岡徳夫／伊勢屋光華
・小学一・二年規定「右手」小林龍峰／天池芳明／小学三・四年規定「さく人形」茂林孝華(子)／小学五・六年規定「五十鈴川」西伊三男(子)
・中学一年規定「軒の串柿」徳村大和／天池芳明／城市武久／中学二・三年規定「障子の影」西伊三男／富田重明
・高校一一般規定「松高白鶴眠」徳村大和／茂林孝華
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年：中学一年／中学二・三年：高校一一般 各伊勢屋光華
「ふだんのままの書の教室展」今井松喬
・鑑賞 今岡徳夫(5人)(江口草玄)／2人(伊勢屋光華・鈴木嘉雅・上田素笛)／1人(松下桂香)
「白隠さん(2)」小田秀幸
古典研究部「晋祠銘」小林龍峰／森霞外「中学二・三年の人に」高、一般の方に」小田秀幸
古典研究部「炎雪農林」小林龍峰「親無」森霞外「晋祠銘鑑賞」小林龍峰／原・晋祠銘

34)十二月号(第十一卷第十二号・改題第三十三号)／十二月一日発行／表紙「硬筆」(子)3人
・「白隠さん(3)」小田秀幸
・鑑賞(ペン字)三宅保郎
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年：中学一年／中学二・三年：高校一一般 各伊勢屋光華
・お客さま「ないしよばなし」という本より

・中学一・二・三年規定「新たな友情」鈴木嘉雅／伊勢屋光華
・高校一一般規定「躍りの輪」玉有芳流「自己造型」金森朴堂／井上一
・ペン習字部 小学一・二年(関谷義道)／小学三・四年／小学五・六年：中学一年(以上伊勢屋光華)／中学二・三年：高校一一般(関谷義道)
・かな部(中学・高校一一般)池田鳥川
古典研究部「鄭文公下碑」今井満里／井上一

・小学一・二年 かね(子) / 政本遂之 / 小学三・四年 マラソン / 浦野勁堂 / 今井松喬 / 小田秀幸 / 小学五・六年 赤い手袋 / 玉有芳流 / 上田素笛(二種類)
・中学一年 除夜の鐘 / 平井信 / 大野良明 / 政本遂之 / 中学二・三年 高校一・大野良明 / 鍋三宅保郎 / 今井松喬 / 毛糸編む / 玉有芳流 / 小田秀幸 / 浦野勁堂 / 関谷義道 / 門司の有段者のお友達のカツヤク
・鑑賞(8人) 藤本紫芳 / 6人 飯原弘喜 / 3人 瀬川奎人 / 2人 宮崎郁吉 藤本白播・茅田友兄)
・古典研究部「潤之」政本遂之 / 「影」井上有一 / 原普嗣銘

昭和三十四年(一九五九)

③五一月号(第十二卷第一号)改題第三十四(三十五)号 / 一月一日発行

・あけましておめでとう / 江口草玄
・ペン習字 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 / 中学一年 / 中学二・三年 / 高校一一般 各伊勢屋光華
・小学一・二年規定 かるた(子)3人 / 小学三・四年規定 大きな目 / 金森朴堂(子) / 小学五・六年規定 喜びの声 / 平田耕村 / 豊田玲風 / 森霞外
・中学一年規定 底冷え / 淵上清園 / 徳村大和 / 鷺見勲 / 中学二・三年規定 初硯試筆 / 金森朴堂 / 豊島鐘城 / 鳥集恵策 / 関谷義道
・高校一一般規定 蓬莱飾り / 豊田玲風 / 森霞外 / 淵上清園
・旭東支部 支部長 奥田百年
・鑑賞 浅野五牛
・「お友達のおひんを見ましよう」野崎邦臣
・古典研究部「久隔清音」金森朴堂 / 「阿闍梨」塩田隼洲 / 原久隔帖

③六二月号(第十二卷第二号)改題第三十五(三十六)号 / 二月一日発行 / 表紙「福」(子)

・第二(三)回全日本一字競争大会特集
・「習字」(詩)(子) / 「急」という字(詩)(子)
・小学一・二年規定 月よう日(子) / 北江鳴舟 / 小学三・四年規定 銀の玉 / 松本金鶏 / 小学五・六年規定 一心こめて / 大沢晩成 / 「一心こめる」玉有芳流
・中学一・二年規定 熱心な顔(子) / 井上有一 / 中学三年規定 五重の塔 / 金森朴堂 / 北江鳴舟(二種類)
・高校一一般規定 一鳥花間鳴 / 大野良明 / 松本金鶏 / 原・虞世南 / 夫子廟堂碑
・朝日支部 支部長 田中君枝
・ペン習字 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 / 中学一年 / 中学二・三年 / 高校一一般 各伊勢屋光華
・日本の書シリーズ「母の願いを見つめる 裁断端擬宝珠銘」小田秀幸
・古典研究部「衆備員数」下山秋翠 / 「五鳳元年」野崎邦臣 / 原・木簡

③七三月号(第十二卷第三号)改題第三十六(三十七)号 / 三月一日発行 / 表紙「喜びの声」(子)

・日本の書シリーズ(2)「宇治川にかける橋 宇治橋断碑」小田秀幸
・ペン習字 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 / 中学一年 / 中学二・三年 / 高校一一般 各伊勢屋光華
・「ないしよばなし」
・小学一・二年規定 うめの木 / 渡辺浩 / 河野純子 / 小学三・四年規定 字びき / 河野純子 / 渡辺浩 / 「つよい心」鈴木嘉雄 / 小学五・六年規定 夕焼け雲 / 玉有芳流 / 金森朴堂
・中学一年規定 千里の道 / 鈴木嘉雄 / 下山秋翠 / 亀川勲 / 中学二・三年規定 一本の葦 / 北江鳴舟(三種類)
・高校一一般規定 自主独立 / 岩田俊 / 玉有芳流 / 野崎邦臣
・熊水支部 支部長 溝口秋生
・鑑賞(2人) 伊勢屋光華・奥田百年 豊島鐘城・淵上清園 / 1人(玲風)
・「作品のかんしよう」金森朴堂 / 藤本白播
・臨書作品「淵上清園」
・古典研究部「今遣詔署」下中「井上有一」原・木簡

③八四月号(第十二卷第四号)改題第三十七(三十八)号 / 四月一日発行 / 表紙「一心こめて」(子)

・鑑賞(硬筆)
・ペン習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 / 中学一年 / 中学二・三年 / 高校一一般 各伊勢屋光華
・三男君と由夫くん / 今岡徳夫

・小学一・二年規定 まじ / 宮崎郁吉 / 鈴木嘉雄 / 小学三・四年規定 なの花 / 岩田俊 / 野崎邦臣(子) / 小学五・六年規定 苦心(子) / 森霞外 / 奥村千鶴
・中学一年規定 公園の朝 / 金森朴堂 / 上田素笛(子) / 中学二・三年規定 制作慾(子) / 2人 / 森霞外 / 豊島鐘城
・高校一一般規定 難関 / 関谷義道 / 上田素笛(二種類)
・魯平支部 支部長 鳥集恵策
・「お友達のおひんをみよう」篠田昭二
・「作品鑑賞」辻太(5人) 小田秀幸 / 4人 大野良明 / 2人 北江鳴舟 / 井上有一 / 富田重明)
・古典研究部「百氏の宗」豊島鐘城 / 勅如右牒 / 浅野五牛 / 原・建中帖

③九五月号(第十二卷第五号)改題第三十八(三十九)号 / 五月一日発行 / 表紙「友情」(子)

・第六回全日本青少年書作品展覧会特集
・小学一・二年規定 ちまき(子)2人 / 家城竹嶺 / 小学三・四年規定 朝の道(子) / 飯原弘喜 / 小学五・六年規定 天動説 / 金津雄三 / 玉有芳流 / 関谷義道(子)
・中学一年規定 岩肌 / 家城竹嶺 / 中学二・三年規定 真理の道 / 徳村大和 / 金津雄三 / (子)
・高校一一般規定 夕の祈り / 金森朴堂(二種類) / 玉有芳流
・ペン習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 / 中学一年 / 中学二・三年 / 高校一一般 各伊勢屋光華

④〇六月号(第十二卷第六号)改題第三十九(四十)号 / 六月一日発行 / 表紙「苦心」(子)

・日本の書シリーズ 多胡の碑 / 小田秀幸
・高松支部 支部長 飯原ひろよし
・小学一・二年規定 くも / 下山秋翠 / 亀川勲 / 小学三・四年規定 ガラス戸 / 豊島鐘城 / 政本遂之(子) / 小学五・六年規定 鉄の柱 / 篠田昭二 / 浦野正
・中学一・二年規定 おがみ合う心 / 三宅保郎 / 鈴木嘉雄
・高校規定 古典音楽 / 三宅保郎 / 政本遂之 / 浦野正
・専門部(今号より)規定 承松雲(子)2人 / 豊島鐘城

・ペン習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 / 中学一年 / 中学二・三年 / 高校一一般 各伊勢屋光華
・鑑賞(3人) 渡辺浩 / 堀尾勝彦 / 2人 亀川勲 / 鈴木嘉雄 / 1人 飯原弘喜 / 岩田俊 / 森霞外 / 三宅保郎)
・「わたくし達が毛筆で」江口草玄
・古典研究部「謂之」(子)2人 / 「上柱」大沢華空 / 原・建中告身帖

④一七七月号(第十二卷第七号)改題第四十(四十一)号 / 七月一日発行 / 表紙「天動説」(子)

・和歌山県妙小学校のおともだち
・小学一・二年規定 空たかく / 奥田百年 / 松下桂香(子) / 小学三・四年規定 くわ畑 / 奥村千鶴 / 今井松喬 / 平井信(子) / 小学五・六年規定 蟻じごく / 玉有芳流 / 溝口秋生(子)
・中学一・二規定 瀬戸内海 / 松下桂香 / 奥村千鶴 / 野崎邦臣 / 中学三年規定 水脈 / 今井松喬 / 奥田百年
・高校一一般規定 暑中見舞商品見本 / 玉有芳流 / 平井信(子)
・硬筆習字 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 / 中学一年 / 中学二・三年 / 高校一一般 各伊勢屋光華
・聖徳太子の書 / 小田秀幸
・「みんなと一緒に お友だちの作品を見ながら考えましよう」藤本白播
・鑑賞(5人) 家城竹嶺 / 豊島鐘城 / 2人 玉有芳流 / 城市武久)
・古典研究部「弱之」井上有一 / 「如春」上田素笛 / 原・光明皇后臨樂殺論

④二八八月号(第十二卷第八号)改題第四十一(四十二)号 / 八月一日発行 / 表紙「おがみ合う心」(子)

・日本の書シリーズ(5)秋葉の歌卷 / 小田秀幸
・ペン習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 / 中学一年 / 中学二・三年 / 高校一一般 各伊勢屋光華
・小学一年規定 耳 / 玉有芳流 / 渡辺浩(子) / 2人 / 小学二年規定 南 / 鈴木嘉雄(子) / 2人 / 小学三・四年規定 競争書は休み / 一字大会にむけて / 話 / 森霞外 / 政本遂之 / 野崎邦臣 / 「指森霞外」(子)2人 / 小学五年規定 葉 / 松本金鶏 / 城市武久 / 小学六

年規定「健」伊勢屋光華／松本金鶏／(子) 中学一・二年規定「庭」渡辺浩／(子)「提」

関谷義道／金森朴堂／井上有一／(子)「創」大野良明／(子)3人／(子)2人／森霞外／金森朴堂／関谷義道

・古典を臨書しよう／古典研究／原・金文／札器碑／麻姑仙壇記／出師頌(草草)／皇甫君碑／祭姪稿／光明皇后臨樂毅論

・「字」(無記名)江口草玄か／「海」江口草玄

・「作品の鑑賞」玉有芳流 (鑑賞)4人(門田其外)／3人(飯原弘喜・大野良明)／2人(藤本白揺・平井信)／1人(伊勢屋光華)

・小樽支部支部長 入沢勝義

④九月号(第十二卷第九号)改題第四十二(四十三号)／九月一日発行／表紙「蟻」こく(子)

・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年／中学一・二年／中学三・四年

・筆(無記名)江口草玄か

・書写部(今号より半紙規定)を書写部と創作部に分ける)小学一・二年規定「うさぎ」真鍋裕司／書写部小学三・四年規定「山の朝」関谷義道／書写部小学五・六年規定「月光の曲」江口草玄

・書写部中学一年規定「稲穂」金森朴堂／書写部中学二年規定「印刷工場」大野良明／書写部中学三年規定「白樺の道」鈴木嘉雄

・書写部高校規定「和漢朗詠」政本遂之

・「作品のひひょう」井上有一／伊勢屋光華

・北童支部支部長 樋口梯石 (鑑賞)6人(藤本紫芳)／2人(江口草玄・森霞外)・松下桂香)

・創作部小学一・二・三年「うさぎ」天池芳明(二種類)／井上有一／創作部小学四・五・六年「月」天沢晩成／伊勢屋光華／井上有一

・興福寺断碑／晋祠銘／哀冊

・創作部高校、一般「浮雲遊子」井上有一／大野良明(二種類)

・古典研究部「之義而喪」浅野五牛／「道光」

・書写部専門部規定「連山煙霧」金森朴堂

・「流」(無記名)江口草玄か

・創作部小学一・二・三年「東のそら」伊勢屋光華／塩田澹洲／「秋まつり」渡辺浩／創作部小学四・五・六年「炭焼き」野崎邦臣

・創作部中学一・二・三年「魚河岸」渡辺浩／樋口梯石(二種類)／松本金鶏／塩田澹洲

・創作部高校「前」浅野五牛／家城竹嶺／関谷義道／野崎邦臣／政本遂之(子)

・創作専門部「連山煙霧」森霞外／金森朴堂

・関谷義道

・古典研究部「黄河二郡太守」比田井天来／原・張猛龍碑

④十一月号(第十二卷第十一号)改題第四十四(四十五号)／十一月一日発行／表紙「月」(子)

・「至日本一字競書大会により成績になった人」

・小学一・二年「くつ下」藤本紫芳／小学三・四年「日本のくに」江口草玄／小学五年「わ投げ」浦野勤堂／豊島鐘城／金森朴堂

・小学六年「写生大会」宮崎重美(二種類)／金森朴堂

・小学一・二年「原」建中帖／竹山聯句／中学二年「空」遠き果て／玉有芳流／関谷義道

・小学三年「標準語」玉有芳流

・高校「専門部」氷壁／江口草玄

・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年／中学一・二年／中学三・四年

・「良寛」心月輪／江口草玄

・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年／中学一・二年 伊勢屋光華／中学三年 関谷義道／高校・一般 伊勢屋光華

・小学一・二年「うし」江口草玄／小学三・四年「左と右」玉有芳流／小学五年「雨雲」／小学六年「日向ぼっこ」鈴木嘉雄

・小学一年「燈台のある丘」金森朴堂／中学二年「原」温泉銘／趙子昂行書千字文／中学三年「高校規定」智恵子抄／井上有一(二種類)／「岩壁を貫く」希望の歌声／政本遂之／「静かな夜」関谷義道

・専門部「垣」一束新／豊島鐘城／森霞外

・東郷支部支部長 破崎光善 (鑑賞)伊勢屋光華／(8人)飯原弘喜・玉有芳流／4人(江口草玄)／2人(豊島鐘城)

・「子供の手紙3通」

昭和三十五年(一九六〇)

④十一月号(第十三卷第一号)改題第四十六(四十七号)／十一月一日発行／表紙「いろは」良寛

・「一二三」いろは)江口草玄

・小学一・二年「ふじの山」関谷義道／小学三・四年「お年玉」金森朴堂／小学五年「手まり歌」鈴木嘉雄／小学六年「南天の実」玉有芳流

・小学一年「最善を尽くす」玉有芳流(二種類)／篠田昭二／野崎邦臣／元旦や神代

・「いかなる時でも自分は思っもう一步」関谷義道／「壽」金森朴堂／「努力は天才を生む」森霞外／「自分の問題は自分で片付けよ」今日なし得ることを明日に延ばすことなかれ」上田素笛／「くぎばこのくぎ

がみんなまがつてている」井上有一

・小学三年「高橋」原・興福寺断碑

・専門部「瀟湘八景」上田素笛(二種類)

・ペン習字 小学一・二・三年／小学四・五・六年／中学一・二・三年／高校・一般 各伊勢屋光華

・「リレー」随想「頌春」伊勢屋光華

・(鑑賞)(8人)江口草玄／4人(富田重明)／3人(藤本紫芳)／2人(井上有一)／1人(堀尾勝彦)

・「子供の手紙2通」

④十二月号(第十三卷第二号)改題第四十七(四十八号)／十二月一日発行／表紙「左と右」(子)

・(鑑賞)井上有一／関谷義道／藤本白揺

・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年／中学一年／中学二・三年

・高校・一般 各伊勢屋光華

・小学一・二年「せつぶん」平田耕村／小学三・四年「雪みち」江口草玄／小学五年「門燈」金森朴堂(二種類)／関谷義道／小学六年「少年大志」徳村大和

・小学一年「冬銀河」飯田八重子／中学二年「牡丹の花」森霞外／中学三年「石垣の雪」井上有一

・高校「北京原人」玉有芳流

・専門部 原・晋祠銘／王羲之集字聖教序

・リレー「随想」弓の心と書」豊島鐘城

・「習字教育について」徳村大和

・(鑑賞)(13人)江口草玄)／3人(松下桂香)／2人(野崎邦臣・鈴木嘉雄)

・「子供の手紙」

④三月号(第十三卷第三号)改題第四十八(四十九号)／三月一日発行／表紙「最善を尽くす」(子)

・「リレー」随想「もたぢ今井満里

・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年／中学一年 伊勢屋光華

・小学二・三年 小林竜峰／高校・一般 伊勢屋光華

・小学一・二年「先生」森霞外／小学三・四年「ひな人形」西伊三男／小学五年「うれしい進級」鈴木嘉雄／小学六年「記念樹」玉有芳流

・小学一年(字をほってみよう)(子)2人

68 (36)

「わたしはほんたいに字をほった」(子)／中
学二年 原・虞世南夫子廟堂碑／鴨陽詢
皇甫君碑／中学三年「大地闊歩 関谷義道
・高校・専門部」人間の存在の尊さ「金森朴
堂(二種類)
・かな部 原・寸松庵色紙
・子供(の詩2人)
・両国支部 支部長 河野純子
・鑑賞(21人)江口草玄／4人(森霞外)
／3人(亀川勲)／2人(河野純子・玉有芳
流)

⑤④ 四月号(第十三卷第四号・改題第四十九
(五十号)／四月一日発行／表紙「冬銀河」
(子)
・リレー随想「朝鮮だこ」藤本紫芳
・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年
／小学五・六年／中学一・二年／中学三
年・高校二一般 各伊勢屋光華
・小学一・二年「ろば」関谷義道／小学三・四
年「友だち」江口草玄／小学五・六年「失敗
成功」政本遂之／小林竜峰
・中学一年 原・九成宮醜泉銘／中学二年
「水平線」伊勢屋光華／金森朴堂(二種類)
／中学三年「短文」墨に生命をみる「玉有
芳流」／人間が報われるのは只自分の努
力によってのみである「上田素笛
・高校・専門部 原・伊都内親王願文
「小さな発見」今岡徳夫
・美濃支部 支部長 大野良明
・鑑賞(4人)江口草玄／3人(和田清
篠田昭二)／2人(平田耕村)／1人(渡辺
浩・井上有)

⑤③ 五月号(第十三卷第五号・改題第五十(五
十一号)／五月一日発行／表紙「花びら」(子)
・第七回全日本青少年書作品展覧会特集
・小学一・二年「山びこ」松下桂香／小学三・
四年「小鳥」江口草玄／小学五年「真剣」金
森朴堂／小学六年「汽車の窓」玉有芳流
・中学一・二三年「仏像の姿」上田素笛
・高校・専門部「筆跡」関谷義道
・ペン習字 小学一・二年／小学三・四年
／小学五・六年／中学一・二三年・高校二一般
(記名なし)
・「展覧会を省りみて」江口草玄

⑤② 六月号(第十三卷第六号・改題第五十一
(五十二号)／六月一日発行／表紙「彫りの
作品と硬筆」(子)2人
・リレー随想「樋口勝君と詩」篠田昭二
・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年
／小学五・六年／中学一・二年
・中学三年・高校二一般 伊勢屋光華
・小学一・二年「みつばち」徳村大和／小学
三・四年「草とり」政本遂之／小学五年「外
来語」金森朴堂／小学六年「雨の松林」玉
有芳流
・中学一年「街路樹」森霞外(二種類)／中
学二年 原・雁塔聖教序／竹山聯句／中学
三年「岩間に咲く花」金森朴堂
・高校・専門部 原・木簡／「木簡」
「特せんをいただいて」(子)
・鑑賞(10人)江口草玄／4人(松下桂
香)／3人(伊勢屋光華・藤本白揺)／2人
(森霞外)
・子供の手紙3通

⑤① 七月号(第十三卷第七号・改題第五十二
(五十三号)／七月一日発行／表紙「山び
こ」(子)
・リレー随想「みかん山」溝口秋生
・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年
／小学五・六年／中学一・二年
・政本遂之／小学五・六年／中学一・二・三
年／高校二一般 伊勢屋光華
・小学一・二年「水まき」森霞外／小学三・四
年「ガラス戸」松下桂香／小学五年「競書
休み」石ころ坂「関谷義道」／小学六年「勇
気」徳村大和
・中学一年「赤い風船」金森朴堂／中学二年
「心とは如何なるものか」上田素笛
「心とは如何なるものか」上田素笛
「心とは如何なるものか」上田素笛
三年「競書休み」原・王羲之集字聖教序
／藤原行成白楽天詩巻
・高校・専門部「競書休み」新鮮な眼「亀川
勲
・小樽市緑小学校支部長 入沢勝義
・鑑賞(5人)飯原弘喜)／2人(松下桂
香)
・子供の手紙3通

⑤④ 八月号(第十三卷第八号・改題第五十三
(五十四号)／八月一日発行／表紙「草と
り」(子)
・リレー随想「ニシン場と梧竹先生」金津雄

三
・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年
／小学五・六年／中学一・二・三
年／高校二一般 伊勢屋光華
・小学一・二年「大ぞら」平田耕村／小学三・
四年「おり紙」今井洲翠／小学五年「帰
道」玉有芳流／小学六年「友禅染め」金森
朴堂
・中学一年 原・道澄寺鐘銘／伊関仏龕碑
／中学二年「白い荒野」小林竜峰／中学三
年「自尊心」平井隆堂
・高校・専門部 原・智永千字文／原・皇甫
驎墓誌銘
・安城支部 支部長 和田清
・書写学習講座(一)「書写」の勉強とはどん
なことか「関谷義道
・鑑賞(14人)江口草玄)／4人(野崎邦
臣)／3人(河野純子)／2人(大沢晩成・
森霞外)
・ポスト(子)2人
「ひびき」江口草玄
・第四回若草書芸展 伊勢屋光華

⑤⑤ 九月号(第十三卷第九号・改題第五十四
(五十五号)／九月一日発行／表紙「鮮」(子)
・第五回全日本一字競書大会特集
・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年
／小学五・六年／中学一・二・三
年／高校二一般 伊勢屋光華
・書写学習講座(二)「正しく書くこと、整えて
書くこと」美しく書くこと「関谷義道
・小学一・二年「つなひき」政本遂之／小学
三・四年「勝った」江口草玄／小学五年「美
しい心」今井洲翠／小学六年「岩手の山」
玉有芳流
・中学一年「武蔵野を歩く」金森朴堂／中学
二年「独創は知らない生命がいる」森霞外
／「新聞配達をほった」(子)／中学三年
原・藤原行成書「嵯峨天皇宸翰李嶠詩残
巻
・高校・専門部「風神雷神」野崎邦臣／平田
耕村
・桜町支部 支部長 平田耕村
「ひびきを習いながら」(子)6人

⑤⑥ 十月号(第十三卷第十号・改題第五十五
(五十六号)／十月一日発行／表紙「赤い風
船」(子)

「これでいいのか!! おちぶれてゆく習
字」藤本白揺
・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年
／小学五・六年／中学一・二年
・政本遂之／小学五・六年／中学一・二・三
年／高校二一般 伊勢屋光華
・小学一・二年「もみじ」藤本紫芳／小学三・
四年「日本の子ども」関谷義道／小学五年
「大切な本」小松原茂／小学六年「牧場の
泉」小林竜峰
・中学一年「名作晩鐘」金森朴堂／中学二年
原・一弗造像記／皇甫君碑／中学三
年「真赤な鉄塊」政本遂之
・高校・専門部 原・橋逸勢書三十帖冊子
(浅野五牛／井上一解説)
・書写学習講座(三)「なせ手本のとおり」に書
かなくてもよいのか「関谷義道
・品川支部 支部長 今井洲翠
・子供の手紙3通
・鑑賞(10人)江口草玄)／3人(富田重
明)／2人(松下桂香・豊島鐘城)
・子供の手紙4通

⑤⑦ 十一月号(第十三卷第十一号・改題第五十
六(五十七号)／十一月一日発行／表紙「お
り紙」(子)
・リレー随想「怒りも喜びも努力のなかに」
飯原弘喜
・ペン習字部 小学一・二年／小学三・四年
／小学五・六年／中学一・二・三
年／高校二一般 伊勢屋光華
・政本遂之／小学五・六年／中学一・二・三
年／高校二一般 伊勢屋光華
・小学一・二年「手ぶくろ」江口草玄／小学
三・四年「ふとい指」入沢勝義／小学五年
「人の能力」佐藤蒼龍／小学六年「問屋の
店先」金森朴堂
・中学一年「世界と国連」玉有芳流／中学二
年「牛の足跡」関谷義道／中学三年「人な
みよりさき」小林竜峰(二種類)
・高校・専門部 原・弘法大師書大日経開題
「大日経開題」(解説)江口草玄／「浩井
上有一
・鑑賞(浅野五牛／6人)江口草玄)／2人
(平田耕村・和田清・平井隆堂)
・「お清書を見て」今井洲翠

⑤⑧ 十二月号(第十三卷第十二号・改題第五十
七(五十八号)／十二月一日発行／表紙「美
しい心」(子)
・いろいろとおもしろい年賀状をつくって

⑤⑨ 十二月号(第十三卷第十二号・改題第五十
七(五十八号)／十二月一日発行／表紙「美
しい心」(子)
・いろいろとおもしろい年賀状をつくって

⑤⑩ 十二月号(第十三卷第十二号・改題第五十
七(五十八号)／十二月一日発行／表紙「美
しい心」(子)
・いろいろとおもしろい年賀状をつくって

⑤⑪ 十二月号(第十三卷第十二号・改題第五十
七(五十八号)／十二月一日発行／表紙「美
しい心」(子)
・いろいろとおもしろい年賀状をつくって

⑤⑫ 十二月号(第十三卷第十二号・改題第五十
七(五十八号)／十二月一日発行／表紙「美
しい心」(子)
・いろいろとおもしろい年賀状をつくって

⑤⑬ 十二月号(第十三卷第十二号・改題第五十
七(五十八号)／十二月一日発行／表紙「美
しい心」(子)
・いろいろとおもしろい年賀状をつくって

⑤⑭ 十二月号(第十三卷第十二号・改題第五十
七(五十八号)／十二月一日発行／表紙「美
しい心」(子)
・いろいろとおもしろい年賀状をつくって

⑤⑮ 十二月号(第十三卷第十二号・改題第五十
七(五十八号)／十二月一日発行／表紙「美
しい心」(子)
・いろいろとおもしろい年賀状をつくって

先生やお友だちに出しましょう

・北海道の佐藤元行君と、みさ子さんのお

・あかさんからのお便り(子)

・小学一・二年「石うす」政本遂之／小学三・

・四年「ぼくの手帳」森霞外／小学五・六年

・「礼拝堂」上田素笛

・小学一年「協同研究」金森朴堂／小学二年

・原・普洞銘／貫名松翁書「浣花帖」／中

・三年「阿寒湖」豊島鐘城

・高校・専門部「山雨欲来」今井洲翠

・ペン習字部「小学一・二年／小学三・四年

・政本遂之／小学五・六年 小林竜峰／中

・小学一・二年／高校・一般 伊勢屋光華

・書写学習講座(四)楷書体のいろいろな書

・さぶり「関谷義道

・「うれしさ一ぱい」(子)8人

・(鑑賞)(4人)藤本紫芳／2人(上田素

・笛・森霞外・中島栄喜)

・(子供の手紙6通)

・(後記)(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

香・藤本白揺・亀川勲・平野倉(一)

・小学一・二年「はちのす」奥村千鶴／小学

・三・四年「かけ声」玉有芳流／小学五年「山

・の一日」今井松喬／小学六年「野ら仕事」

・政本遂之

・小学一年 原・中岳靈廟碑／九成宮醴泉

・銘／小学二・三年「みちのくの旅」野崎邦

・臣(二種類)／「種まく人」金森世耕

・高校・一般「大楊」池田水城／原・広武將軍

・碑

・「中学一年毛筆書写」字形のまとめ方の

・学習の中から「大野良明

・松江支部支部長野崎邦臣

・(後記)江口草玄

・「後記」江口草玄

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

竜峰／小学二・三年／高校・一般 伊勢屋

・光華

・小学一・二年「はちのす」奥村千鶴／小学

・三・四年「かけ声」玉有芳流／小学五年「山

・の一日」今井松喬／小学六年「野ら仕事」

・政本遂之

・小学一年 原・中岳靈廟碑／九成宮醴泉

・銘／小学二・三年「みちのくの旅」野崎邦

・臣(二種類)／「種まく人」金森世耕

・高校・一般「大楊」池田水城／原・広武將軍

・碑

・「中学一年毛筆書写」字形のまとめ方の

・学習の中から「大野良明

・松江支部支部長野崎邦臣

・(後記)江口草玄

・「後記」江口草玄

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

・「後記」(無記名・江口草玄か)

・(子供の手紙)

学二年「怒は人間を浄める」(高村光太郎

・より)小林竜峰(二種類)／篠田昭二

・中学三年「高校・専門部」壮「困」松下桂香

・(二種類)／原・薦季直表

・書写学習講座(6)点画の筆づかいほどの

・ようにしたらよいか「関谷義道

・(子供の手紙6通)

・「おてがみありがとう」江口草玄

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・(鑑賞)(18人)江口草玄)

・「小学三年生」かけ声の特選作品を見よう
佐藤蒼龍

⑥九月号(第十四卷第九号)改題第六十六(六十七)号
九月一日発行/表紙「鳴」(子)
第六回全日本一字競書大会特集
「おめでとう」江口草玄

・クラブ活動時に於ける校内一斉書写学習の「コマ」中島栄喜
・小学一・二年「大かぜ」江口草玄/小学三・四年「一本まつ」今井洲翠/小学五年「森の女王」金森世耕/小学六年「夜明け」関谷義道

・中学一年「収獲」今井松喬/中学二年「世界の旅」森霞外/中学三年「原木簡」漢瓦文/建中帖

・高校・専門部「浮」肉井上有一/原・勸善文(敦煌発見)「拙」勸善文考井上有一
・ペン習字部「小学一・二年/小学三・四年」政本遂之/小学五・六年/中学一年/小学二・三年「関谷義道」高校・一般「小林竜峰」/中学二・三年/高校・一般「関谷義道」

⑥十月号(第十四卷第十号)改題第六十七(六十八)号
十月一日発行/表紙「海の伝説」(子)

・リレー随想「書写学習への感想」松井政雄
・ペン習字部「小学一・二年/小学三・四年」政本遂之/小学五・六年/中学一年/小学二・三年「関谷義道」高校・一般「小林竜峰」
・小学一・二年「りんご」豊島鐘城/小学三・四年「白い花」江口草玄/小学五年「はこ庭」森霞外/小学六年「町の面積」金森世耕

・中学一年「原」建中帖/原・白隱書/皇甫府君碑/中学二・三年「鎌倉彫り」佐藤蒼龍/中学三年「古典音楽」関谷義道

・高校専門部「永和九年歳在」比田井天来/原・神龍半印本蘭亭叙/定武蘭亭(落水本)/解説「江口草玄」

・書写学習講座(8)「法」関谷義道
・「文字をたたくさんかく楽しさ」篠田昭二
・鑑賞(11人)(江口草玄)

⑥十一月号(第十四卷第十一号)改題第六十八(六十九)号
十一月一日発行/表紙「山びこ」(子)

・「びびき合い」淵上清園
・ペン習字部「小学一・二年」井関徳松/小学三・四年「政本遂之」/小学五・六年「中学一年」関谷義道/中学二・三年「高校一般」小林竜峰

・小学一・二年「ほと」松下桂香/小学三・四年「坂みち」富田重明/小学五年「しもの朝」金森世耕/小学六年「鈴の音」政本遂之

・中学一年「深い谷」今井洲翠/中学二年「原」夫子廟堂碑/鄭文公下碑/中学三年「風物詩」浦野勁堂

・高校専門部「以鷺」池田水城/原・木簡書写学習講座(9)「法」関谷義道
・「子供の手紙8通」
・「心にかよう五点の「白いくも」飯原弘喜

⑦十二月号(第十四卷第十二号)改題第六十九(七十)号
十二月一日発行/表紙「作」(子)

・「筆を使わないでやった書の勉強」今岡徳夫
・小学一・二年「すめ」江口草玄/小学三・四年「北風」奥村千鶴/小学五年「井戸の水」関谷義道/小学六年「親子づれ」藤本紫芳

・中学一年「夕の折り」西伊三男/野崎邦臣/中学二年「短い文を味のあるまとも方で」孤独は人間を強くする「金森世耕」/中学三年「原」礼器碑/晋祠銘

・高校専門部「原」光明皇后御臨樂殺論/風信帖/(解説)江口草玄
・蒼狼研究会の記「奈良良夫」

・ペン習字部「小学一・二年/小学三・四年」井関徳松/小学五・六年/中学一・二・三年「小林竜峰」/高校一般「関谷義道」

昭和三十七年(一九六二)

⑦一月号(第十五卷第一号)改題第七十(七十一)号
一月一日発行/表紙「多宝塔碑」

・リレー随想「劉さんと多宝塔碑」佐藤蒼龍
・硬筆習字部「小学一・二年/小学三・四年」井関徳松/小学五・六年/中学一・二・三年「小林竜峰」/高校一般「関谷義道」
・小学一・二年「なかよし」森霞外/小学三・四年「日の出」江口草玄/小学五年「正しい言葉」金森世耕/小学六年「赤い屋根」関谷義道

・中学一年「原」屏風土代/晋祠銘/中学二年「日進月歩」入沢勝義/中学三年「茶室の美」佐藤蒼龍

・高校専門部「小筆で書く練習」野崎邦臣・旭東支部「北海道旭川第二小学校」書写学習講座(10)「書きすめ」関谷義道
・「書き初めの話」池田鳥川
・「母」わが作品「文字を拝むということ」井上有一

・「優れた人間の仕事」(無記名「江口草玄」)

⑧二月号(第十五卷第二号)改題第七十一(七十二)号
二月一日発行/表紙「硬筆」(子)2人

・第二回全日本ペン習字大会特集号
・「硬筆で書く時の私のねがい」井関徳松
・「形の整え方」小林竜峰
・小学一・二年「人ごみ」江口草玄/小学三・四年「自分の心」佐藤蒼龍/小学五・六年「細い雪道」今井洲翠

・中学一年「将来を心に」金森世耕/中学二・三年「珠玉の名作」富田重明
・高校専門部「右往左往」関谷義道
・硬筆習字部「小学一・二年/小学三・四年」井関徳松/小学五・六年/中学一・二・三年「小林竜峰」/高校一般「関谷義道」

⑧三月号(第十五卷第三号)改題七十二(七十三)号
三月一日発行/表紙「硬筆」(子)

・リレー随想「大沢雅林さん」鳥集忠策
・硬筆習字部「小学一・二年/小学三・四年」井関徳松/小学五・六年/中学一年「小林竜峰」/中学二・三年/高校一般「関谷義道」

・小学一・二年「すみれ」今井松喬/小学三・四年「花びら」江口草玄/小学五年「麦畑」金森世耕/小学六年「光の反射」森霞外
・中学一年「珍しい化石」関谷義道/中学二・三年「触覚性と筆毛の働き方」/原・夫子廟堂碑/竹山聯句/張猛龍碑

・高校専門部「菜子侯刻石」豊島鐘城
・北海道比布小学校支部「木ノ花政治」
・「心事添え白髪生涯」一片青山「わが作品自作に添えて」松井如流
・「我々は芸術の上乗なるものによって

：」江口草玄

⑨四月号(第十五卷第四号)改題第七十三(七十四)号
四月一日発行/表紙(子)

・リレー随想「ふでとえんぴつ」塩田健洲
・小学一・二年「いけ」江口草玄/小学三・四年「竹の子」三宅保郎/小学五・六年「五月人形」今井洲翠

・中学一年「千里の道」森霞外/原・雁塔聖教序/中学二・三年「父の農園」金森世耕
・専門部「白砂青松」藤仁香
・会員通信(子)5人
・「小」中学生の臨書から創作発展までの一例「今井洲翠」
・「はくが見た君の作品」感想文より「京都南大内小学校五年四組」

・「子供の書いた批評感想文から」今岡徳夫
・硬筆習字部「小学一・二年/小学三・四年」井関徳松/小学五・六年/中学一・二・三年「小林竜峰」/高校一般「関谷義道」

⑩五月号(第十五卷第五号)改題第七十四(七十五)号
五月一日発行/表紙「とら」(子)

・第九回全日本青少年書作品展覧会特集
・「評」(3人)阪本静紫「今岡徳夫」/1人(上島敏子「江口草玄」)

・小学一・二・三・四年「土ころ」藤本紫芳/小学五・六年「草むら」佐藤蒼龍
・中学一年「一番打者」金森世耕/中学二年「野の石仏」今井洲翠

・中学三年「高等」専門部「澄心」野崎邦臣/関谷義道/原・顔真卿書「聖武天皇宸翰」/鷗陽詢書
・硬筆習字部「小学一・二・三・四年」井関徳松/小学五・六年/中学一年「三宅保郎」/中学二・三年「高校一般」小林竜峰

⑪六月号(第十五卷第六号)改題第七十五(七十六)号
六月一日発行/表紙「花びら」(子)

・鑑賞(2人)井上有一・高橋蒼玄/1人(小松原茂)

・「中国蘇州市の貝羅庭氏」20年ぶり交信
・門司の徳村大和氏
・小学一・二年「競書休み」ほし「江口草玄」/小学三・四年「競書休み」日記「江口草玄」/小学五・六年「競書休み」にじの橋

富田重明
・中学一年「東大寺」今井松喬／中学二・三年（競書休み）／原：皇甫麟墓誌銘／高貞碑／鷗陽詢書／顔真卿書／張猛龍碑
・高校 専門部 競書休み（若葉山道）関谷義道
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年 井関徳松／小学五・六年／中学一年 飯原弘喜／中学二・三年／高校一般 小林龍峰
・協和支部 支部長 平間直吉
・晏如「わが作品」桑原翠邦
・「ドイツ巡回」日本の書の展覧会が：江口草玄

⑦七月号(第十五卷第七号)改題第七十六(七十七)号／七月一日発行／表紙「父の農園」(子)
・リレー随想「坂道はまだ続く」小松原茂
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年 井関徳松／小学五・六年 三宅保郎／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・鑑賞(13人(江口草玄))
・小学一・二年「日よう」江口草玄／小学三・四年「汽車」豊島鐘城／小学五年「夏の夜」森霞外／小学六年「記念品」金森世耕
・中学一・二・三年「彫った字」(子)5人
・高校 専門部 原：灌頂記
・重支部 支部長 菅原晴一
・二月号 井上有一の「母」の作品を見て」神支部

⑧八月号(第十五卷第八号)改題第七十七(七十八)号／八月一日発行／表紙「草むら」(子)
・批評にかえて「大塚えつし」
・「作品を見て」今岡徳夫
・岐阜県土岐津青年学級 みんなげいらくばかりかい(落彫念)
・「ドイツから帰って」森田子龍
・小学一・二年「王さま」今井洲翠／小学三・四年「白鳥」松井政雄／小学五年「雨の歌」大友登／小学六年「遠近」／原：顔真卿書
・中学一年「野性」中島栄喜／中学二年「千曲川」奥村千鶴／中学三年「秋来ぬと目にはさやかに」小林龍峰
・高校 専門部「陳列品」金森世耕
・鑑賞(16人(江口草玄))

・硬筆習字部 小学一・二・三・四年／小学五・六年／中学一年 小林龍峰／中学二・三年 高校一般 井関徳松
⑨九月号(第十五卷第九号)改題第七十八(七十九)号／九月一日発行／表紙「石」(子)
・第七回全日本一字競書大会特集号
・第三回硬筆習字大会特集号
・「鉛筆」貝松泉「徳村大和」
・「人から」江口草玄
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年 井関徳松／小学五・六年／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・小学一・二年「月み」江口草玄／小学三・四年「写生」江口草玄／小学五年「おや指」金森世耕／小学六年「台風」森霞外
・中学一・二・三年「女の像」今井松喬／野崎邦臣
・高校 専門部 流儒仲「江口草玄」原 枯樹賦

⑩十月号(第十五卷第十号)改題第七十九(八十)号／十月一日発行／表紙「きたない手」(子)
・リレー随想「山村」奈良節夫
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年 井関徳松／小学五・六年／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「大塚先生と今岡先生の批評を読んで」高橋守一
・表現のたしかさについて「八月号批評への批判」藤本啓
・小学一・二年／小学三・四年(いろいろな筆で)「くり」江口草玄／「山の色」(子)「やま」(子)／小学五年「たんぼ道」金森世耕
・小学六年「地方文化」今井洲翠
・中学一・二・三年「郷土」破崎光善／井上有一
・原：石鼓文／高貞碑／顔真卿書／光明皇后書／王羲之書
・高校 専門部 原：和漢朗詠集
・「抱」わが作品」今井満里

⑪十一月号(第十五卷第十一号)改題第八十(八十一)号／十一月一日発行／表紙「白鳥」(子)
・リレー随想「生活と書」渡辺浩
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年 井関徳松／小学五・六年／中学一・二・三

年／高校一般 小林龍峰
・創造という冒険「版書作品を見て」吉田功
・「おたよりありがとう」(子)11人
・小学一・二年「もみじ」富田重明／小学三・四年「山道」武田秀峰／小学五年「芸術平井隆堂」／小学六年「市役所」金森世耕
・中学一・二年「正倉院」金森世耕／「序曲」(二種類)江口草玄／中学三年「幽玄」今井松喬
・高校 専門部「怒る海野崎邦臣」
・鑑賞(20人(江口草玄))

⑫十二月号(第十五卷第十二号)改題第八十一(八十二)号／十二月一日発行／表紙「写生」(子)
・「師と人生」森霞外
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年 井関徳松／小学五・六年／中学一年／中学二・三年 高校一般 小林龍峰
・小学一・二・三・四年「空」(子)2人／小学五年「よい友」江口草玄／小学六年「日本海」森霞外
・中学一年「京都の冬」今井洲翠／中学二・三年「除夜の鐘」金森世耕
・高校 専門部「永字八法是か否か」地獄の門」井上有一
・「いろいろとおもしろい年賀状をつくって先生やお友だちに出しましょう」今井洲翠／井上有一／金森世耕(三種)／森霞外(三種)／関谷義道／篠田昭二／浅野五牛
・堀尾勝彦個展に寄せる「江口草玄」基礎づくりの為の「古典による」江口草玄通信指導開設
・「日光山輪王寺」わが作品。書は心画なり「豊道春海」(現代の書の：「無記名」江口草玄か)

昭和三十八年(一九六三)
⑬一月号(第十六卷第一号)改題第八十二(八十三)号／一月一日発行
・「人づくりに」と「ひびき」先生方と父兄の皆さんへ「森田子龍」
・「中学生の作品を見ましよう」関谷義道／吉田功／今岡徳夫
・「小学六年生の作品を見ましよう」大島節子／安中俊道／野崎邦臣／井上有一

⑭二月号(第十六卷第二号)改題第八十三(八十四)号／二月一日発行／表紙「毒」(子)
・第四回全日本硬筆習字大会発表
・第八回全日本一字競書大会発表
・鑑賞(21人(江口草玄))
・「書写教育の立場」井関徳松
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年 井関徳松／小学五・六年／中学一年 関谷義道／中学二・三年 高校一般 小林龍峰
・小学一・二・三・四年「左あし」岡田富美子／小学五年「山の朝」(子)／小学六年「冬よ雪で埋める」金森世耕
・中学一年「月の影」豊島鐘城／中学二・三年 高校 専門部(競書休み)／原 道澄寺鐘銘／天発神識碑／木簡「山有漆」金森世耕

⑮三月号(第十六卷第三号)改題第八十四(八十五)号／三月一日発行／表紙「雪の町」(子)
・リレー随想「ささやかに根強く」破崎光善
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年 井関徳松／小学五・六年／中学一年 関谷義道／中学二・三年 高校一般 小林龍峰
・「書と中学生の生活」飯原弘喜
・「中学生の習字について」藤本啓
・「中学生の習字をはばむもの」野崎邦臣
・小学一・二年「ほん」松井政雄／小学三・四年「足もと」平井隆堂／小学五・六年「清けつ」「清潔」
・中学一・二年「文字あそび」(子)6人／中学三年 高校 専門部「白い小さな貝がら思ひ出がいつぱい」野崎邦臣／小林龍峰

・小学一・二・三・四年「まつ白」江口草玄／小学五・六年「永遠」森霞外
・「関谷義道」たこの糸天には見えず指に見ゆ「小林龍峰」うたたねの顔へ一冊屋根にふき「関谷義道」小林龍峰
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年 井関徳松／小学五・六年／中学一年／中学二・三年 高校一般 小林龍峰
・「基礎づくりの為の」古典による「江口草玄通信指導開設」
・「わが作品」鼠の造形」金子鳴亭

・「わが作品 燕手島右卿
・(多くの人間は、...)無記名」江口草玄か)

⑧四月号(第十六卷第四号)改題第八十五(八十六)号) / 四月一日発行 / 表紙(硬筆)

・道はつづく」下山秋翠
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 井関徳松 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰
・鑑賞(10人(江口草玄))
・「リレー」作文(子)

・小学一・二年「うま」江口草玄 / 小学三・四年「石がき」今井松喬 / 小学五年「本気の時」森霞外 / 小学六年「無名の人」今井洲翠
・中学一・二年「一朝一夕」関谷義道 / 原：九成宮醜泉銘
・小学三年：高校・専門部「明眸」池田水城 / 金森世耕 / 原：礼器碑

⑨五月号(第十六卷第五号)改題第八十六(八十七)号) / 五月一日発行 / 表紙「秋の水」(詩)(子)

・第十回全日本青少年書作品展覧会特集
・「作品を見て」江口草玄
・小学一・二・三・四・五・六年「王子」 / 原：造像記
・中学一年「茶つみ」玉有芳流 / 中学二・三年「早苗取り」政本遂之
・高校・専門部「歎息」 / 原：椿遂良書倪寛贊
・硬筆習字部 小学一・二・三・四年 井関徳松 / 小学五・六年 政本遂之 / 中学一・二・三年 関谷義道 / 高校一般 小林龍峰

⑩六月号(第十六卷第六号)改題第八十七(八十八)号) / 六月一日発行 / 表紙「からたち」の花が咲いたよ(子)

・「中学生のみなさん(お父さん・お母さん・先生と共に)いつしよに考えましよう」高橋蒼玄
・小学一・二年(競書休み)「かお」江口草玄 / 小学三・四年(競書休み)「あぜ道」大島節子 / 小学五・六年(競書休み)「動物」森霞外 / 原：顔真卿書
・中学一・二年(競書休み)「道」 / 原：龍門造像 / 光明皇后書 / 貫名松翁書 / 嵯峨天皇

書 / 佐理書

・中学三年：高校(競書休み)「本降りになつて出て行く雨やどり」関谷義道 / 小林龍峰
・専門部(競書休み)「古典の心」平井隆堂
・「広島比支支部 篁英堂先生より」

⑪七月号(第十六卷第七号)改題第八十八(八十九)号) / 七月一日発行 / 表紙「乾」(子)

・「リレー」随想「道」玉有芳流
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 井関徳松 / 小学五・六年 政本遂之 / 中学一・二・三年 関谷義道 / 高校一般 小林龍峰
・「十四回でマスターできる」硬筆書写講座(1)小林龍峰

⑫八月号(第十六卷第八号)改題第八十九(九十)号) / 八月一日発行 / 表紙「王子」(子)

・「まえがき」岩手県江刺市習字研究会
・「児童作品を見る」吉丸竹軒
・「江刺市習字研究会委員の相互批評」
・「児童三作品に対する感想・批評」小林龍峰
・「小学生の書の作品三点を見せてもらって」江口草玄
・小学一・二・三・四年「つり」松下桂香 / 小学五・六年「しま馬」鈴木帆舟
・中学一・二・三年「野菜畑」関谷義道 / 「江戸時代」森霞外 / 原：高貞碑
・高校・専門部(草書を習う) / 原：懷素自叙

帖 / 王羲之十七帖 / 木簡

・硬筆習字部 小学一・二・三・四年 井関徳松 / 小学五・六年 政本遂之 / 中学一・二・三年：高校一般 小林龍峰
・「十四回でマスターできる」硬筆書写講座(2)小林龍峰

⑬九月号(第十六卷第九号)改題第九十(九十一)号) / 九月一日発行 / 表紙「移」(子)

・第九回全日本一字競書大会特集号
・第五回硬筆習字大会特集号
・鑑賞(21人(江口草玄))
・「ひびきの本をとって」(子)
・硬筆習字部 小学一・二・三年 / 小学四・五・六年 井関徳松 / 中学一・二・三年 関谷義道 / 高校一般 小林龍峰
・「リレー」作文「はじめての日に」(子)
・小学一・二・三・四年「ぶどう」江口草玄 / 小学五年「秋の空」関谷義道 / 小学六年「月光」 / 原：虞世南書
・中学一年「詩人の心」森霞外 / 中学二・三年「小さな善意」玉有芳流 / 原：皇甫府君碑
・高校・専門部「月明不借蘆花白」岡田富美子
・「十四回でマスターできる」硬筆書写講座(3)小林龍峰

⑭十月号(第十六卷第十号)改題第九十一(九十二)号) / 十月一日発行 / 表紙「記」(子)

・「リレー」随想「らくがき」小田秀幸
・「十四回でマスターできる」硬筆書写講座(4)小林龍峰
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰
・小学一・二年「もみじ」 / 小学三・四年「夕日」森霞外 / 小学五年「野山」 / 原：顔真卿書 / 小学六年「米俵」鳴海正雄
・中学一・二・三年「羊の群れ」富田重明 / 「象形文字」野崎邦臣 / 原：鍾繇書宣示帖 / 蘇孝慈墓誌銘
・高校・専門部「得柏酒等六種足下出此已久」込山清卿
・鑑賞(16人(江口草玄))
・「リレー」作文(子)2人
・志支部 松江市西浜佐陀町古江公民館内

・「わが作品(9)歌書一体」谷辺橋南

⑮十一月号(第十六卷第十一号)改題第九十二(九十三)号) / 十一月一日発行 / 表紙「朝」(子)

・「表紙の作品の批評」安達ひろみさんの作品「篠田昭」
・「彫った人のことば」安達ひろみ
・「指導の先生」指導の概略「鈴木満」
・「作品批評」彫り字の作品を見て「関谷義道」
・「鳥」の作者(子)
・「夕やけをほった人(子)」
・「指導の先生」今井松喬
・「指導の先生」彫る字の作品について「森霞外」
・「作品批評」版書作品について「小・中学生のみなさんへ」 / 込山清卿
・小学一・二・三年「もみじ」平井隆堂 / 小学四・五年「かれ草」三上盤翠 / 小学六年「苦心」徳村大和
・中学一年「字典」今井松喬 / 中学二・三年「晩秋の香り」玉有芳流 / 原：李嶠詩殘卷
・高校・専門部「月桂拂簷香」森霞外 / 原：趙子昂書千字文
・「子供の手紙」
・「十四回でマスターできる」硬筆書写講座(5)小林龍峰

⑯十二月号(第十六卷第十二号)改題第九十三(九十四)号) / 十二月一日発行 / 表紙「つり」(子)

・「あれこれ」入沢勝義
・「表紙の作品を見て」富田重明
・「十四回でマスターできる」硬筆書写講座(6)小林龍峰
・硬筆習字部 小学一・二年 小林龍峰 / 小学三・四年 / 小学五・六年 井関徳松 / 中学一・二・三年 小林龍峰 / 高校一般 関谷義道
・幼・小学一・二年「カメラ」 / 小学三・四年「大男」関谷義道 / 小学五年「かぞえ歌」小田秀幸 / 小学六年「世界の顔」岡田富美子
・中学一年「神宮境内」 / 原：顔真卿書 / 王羲之集字 / 「中学二年」真理追究「森霞外」
・中学三年「慈善鍋」玉有芳流
・高校・専門部「清冽」池田水城 / 「暮らしは低く想いは高く」野崎邦臣

・鑑賞(5人(江口草玄))
・広島此支部筆英道手紙と江口草玄の返答)
「わが作品(10)生命のささえ」池田水城

昭和三十一年(一九六四)

⑨五月号(第十七卷第一号)改題第九十四(九十五)号/一月一日発行/表紙「夢」(子)

・特集 藤井和彦・高橋義則
「書で生かされた藤井君」森田子龍
・藤井和彦・高橋義則君のおしゃべり録音

・四十六人の中の藤井、高橋、今岡徳夫
・二橋小学校五年二組の教室「江口草玄」
・硬筆習字部 小学一・二・三年/小学四・五・六年 関谷義道/中学一・二・三年

・高一般 小林龍峰
・幼小一・二年「そり」江口草玄/小学三・四年「日づけ」下山秋翠/小学五年「雪の朝」森霞外/小学六年「冬の野」関谷義道
・中学一年「首尾一貫」鈴木帆船/中学二・三年「一粒の麦」玉有芳流/「たのしみハ」井上有一

・高校・専門部「煎茶竹送風」玉有芳流

⑨二月号(第十七卷第二号)改題第九十五(九十六)号/二月一日発行/表紙「池」(子)

・推薦奨励賞(17人)江口草玄
・蘭支部だより 支部長 神野繁男
・長年習字をならつて(子)

・幼小一・二・三・四年「競書休み」(うめ)
・江口草玄/小学五・六年「競書休み」(勇気)今井松喬

・中学一年「競書休み」もの静か「森霞外」
・中学二年「競書休み」偉人の伝記「中島栄喜」/中学三年「競書休み」原寸松庵色紙/木簡

・高校・専門部「競書休み」/「聞」高橋蒼玄
・原・木簡
・硬筆習字部 小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・専門部 小林龍峰
・十四回でマスターできる:硬筆書写講座(7)小林龍峰

⑨三月号(第十七卷第三号)改題第九十六

(九十七)号/三月一日発行/表紙(硬筆) (子)2人

・第六回全日本硬筆習字大会特集号
・リレー随想「弓」と書と通ずるもの「豊島鐘城」

・「文字を書く」硬筆「小林龍峰」
・十四回でマスターできる:硬筆書写講座(8)小林龍峰

・硬筆習字部 幼小一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二年/高校・専門部 小林龍峰
・幼小一・二年「くさ」入沢勝義/小学三・四年「花」江口草玄/小学五年「地面」破崎光善/小学六年「心手」原高貞碑
・中学一・二・三年「可能の世界」玉有芳流/「緑の山」森霞外/原・夫子廟堂碑/一仏造像記

・高校・専門部「觚興」今岡徳夫/原・木簡
・今月の優秀作品
・リレー作文「悲しみ」怒り(子)
・(子供の手紙)2通

⑨四月号(第十七卷第四号)改題第九十七(九十八)号/四月一日発行/表紙「大男」(子)

・「中学の作品」臨書作品を見て「高橋蒼玄」
・「中学におけるクラブ活動はどんなに大切か」野崎邦臣

・「中学を」外から 或る時の話し合い「今岡徳夫」松宮橋邨/込山清卿
・幼小一・二・三年「いろ」江口草玄/小学四・五年「一日」原・鷗陽詢書/始平公造像/顔真卿書/小学六年「庭木」

・中学一・二・三年「田園の情趣」玉有芳流/「春の海」関谷義道/「淡水魚」小林龍峰
・高校・専門部「関水竹雲山主静得風花雪月権」森霞外
・リレー作文「うんとばんぼう」(子)

・(子供の手紙)
・硬筆習字部 幼小一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・(子供の手紙)

・十四回でマスターできる:硬筆書写講座(9)小林龍峰

⑨五月号(第十七卷第五号)改題第九十八(九十九)号/五月一日発行/表紙「虎」(子)

・第十一回ひびき展特集
・「書の見かた」森田子龍
・(会場カタログより)江口草玄

・幼小一・二・三・四年「みず」平井隆堂/小学五・六年「草原」富田重明
・中学一年「怒濤」今井松喬/中学二・三年「楽しい夢」佐藤蒼龍

・高校・専門部「運固然若」浅野五牛/原・光明皇后書楽毅論/「楽毅論を習おう」浅野五牛

・硬筆習字部 幼小一・二・三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・十四回でマスターできる:硬筆書写講座(10)小林龍峰

⑩六月号(第十七卷第六号)改題第九十九(百)号/六月一日発行/表紙「日づけ」(子)

・批評文に「和井田要」
・鑑賞(20人(江口草玄))
・「或る時の話し合い」(2)今岡徳夫/松宮橋邨/込山清卿

・幼小一・二年「なつ」(子)/小学三・四年「父のくせ」小田秀幸/小学五・六年「青葉」関谷義道/今井松喬

・中学一年「素朴」野崎邦臣/原・李崎詩殘卷/中学二・三年 原・本能寺切
・高校・専門部「忙出閑情裏画在詩意中」玉有芳流

・硬筆習字部 幼小一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・十四回でマスターできる:硬筆書写講座(11)小林龍峰

⑩七月号(第十七卷第七号)改題第百(百一)号/七月一日発行

・(ジェイムス・バイアーズ)
・「すばらしいひびき」反抗の書「ひびき」大和田光明

・「草玄様」岡部蒼風
・硬筆習字部 幼小一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・幼小一・二年「あせ」(子)/小学三・四年「のはら」江口草玄/小学五年「服地」岡田富美子/小学六年「宿題」後藤千郁
・中学一・二・三年「高校」彫りの字作品

⑩八月号(第十七卷第八号)改題第百一(百二)号/八月一日発行/表紙「草原」(子)

・リレー随想「人生とは」平井隆堂
・幼小一・二年「白いくも」江口草玄/小学三・四年「白いくも」江口草玄/小学五・六年「夜店」森霞外

・中学一年「暗示」玉有芳流/中学二・三年「風流」井上有一/「砂漠」中島栄喜
・高校・専門部「貧」容「松下桂香」原・光明皇后御臨樂毅論

・「完全なる自己」の表出へー鑑賞・制作における一つの場ー玉有芳流

・硬筆習字部 幼小一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・十四回でマスターできる:硬筆書写講座(12)小林龍峰
・「わが作品」断「江川蒼竹」

⑩九月号(第十七卷第九号)改題第百二(百三)号/九月一日発行/表紙「夢」(子)

・第十一回全日本一字競書大会特集号
・第七回硬筆習字大会成績発表

・「作品を見ながら」江口草玄
・井島博士書道講演会の記「徳村大和」
・硬筆習字部 小学一・二・三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰

・小学一・二・三年「かぜ」石政美代子/小学四・五年「百ばい」破崎光善
・小学六年「中国」江口草玄/「感動」原・むかしの中国の字から/中学二・三年「無心」原・顔真卿書/祭典「野崎邦臣」

・高校・専門部「舞」下山秋翠/「一字の大字」作品を書く(1)

⑩十月号(第十七卷第十号)改題第百三(百四)号/十月一日発行/表紙「彫った字」(子)

・「ささやかな経験を生かしながら」大島礼子
・三堀幸子の作品(表紙)について「篠田昭

二
「蛙」の作品 篠田昭二
「短評」今岡徳夫
幼・小学一・二年 おちば 鳴海正雄 / 小学三年「スポーツ」今井松喬 / 小学四年「太陽」徳村大和 / 小学五年「村の人」森霞外 / 小学六年「中学一年」中学二・三年(筆を使わないで字を書く)「道」(子) / 「寒暖」(子) / 「感」(子) / 「組」(子)
・高校・専門部「墨」塩田慥洲 / 一字の大字作品を書く(2)
・(子供の手紙)

・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰
・十四回でマスターできる: 硬筆書写講座(3) 小林龍峰
・(手紙) 乘末夢漠

⑨十一月号(第十七卷第十二号)改題第四百(百五号) / 十一月一日発行 / 表紙「風流」
(子)
・或る時の話し合い 今岡徳夫 / 松宮橘郎 / 込山清郷
・幼・小学一・二年(競書休み)「きく」関谷義道 / 小学三・四年(競書休み)「子牛」(子) / 小学五・六年(競書休み)「雄大」森霞外 / 「宗教」平井隆堂
・中学一年「人々の生活」玉有芳流 / 中学二年(競書休み)「群集」野崎邦臣
・中学三年「高校・専門部」原・王羲之蘭亭序(神龍半印本) / 「臨書に添えて」池田水城

・リレー作文「お習字」(子)
・(子供の手紙2通)
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰
・十四回でマスターできる: 硬筆書写講座(4) 小林龍峰
・[後記] 江口草玄

⑩十二月号(第十七卷第十三号)改題第四百五(百六号) / 十二月一日発行 / 表紙「無心」
(子)
・今月のすぐれた作品(57人) 江口草玄
・幼・小学一・二年「こたつ」玉有芳流 / 小学三・四年「冬」高橋蒼玄 / 小学五年「太い

手」小柳新吉 / 小学六年「行動」原・顔真卿書
・中学一年「雪の朝」佐藤蒼龍 / 中学二年「氷河」関谷義道 / 中学三年「冬が来た」高村光太郎 小林龍峰
・高校・専門部 原・蘭亭序 / 浅野五牛
・リレー作文「習字クラブ」(子)
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰
・「書とは」中島栄喜
・(子供の手紙)

昭和四十年(一九六五)
⑪一月号(第十八卷第一号)改題第四百六(百七号) / 一月一日発行 / 表紙「道」(子)
・(はり字の作品(今月の優秀作品12人) 江口草玄
・「おたよりありがとう」(子) 2人
・幼・小学一・二年 おもち 奥村千鶴 / 小学三・四年「電話」関谷義道 / 小学五・六年「早起き」森霞外
・中学一・二年「四百五十」建国 上田桑鳩 / 原・木簡 / 木簡 上田桑鳩 / 中学三年「魔力」岡田富美子
・高校・専門部「生於天上」桑原翠那 / 原・牛概造像 / 「力と若さ」桑原翠那
・リレー作文「ひびき」(子)
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰
・「わが作品(2) 龍」森田子龍

⑫二月号(第十八卷第二号)改題第四百七(百八号) / 二月一日発行 / 表紙「馬」(子)
・第十二回全日本一字競書大会特集号
・特別賞「特選(15人) 江口草玄
・硬筆習字部 小学一・二・三年 / 小学四・五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校・専門部 小林龍峰
・第八回全日本硬筆習字大会成績表
・幼・小学一・二年(競書休み)「おに」茅田巴里 / 小学三・四年(競書休み)「野山」原・顔真卿書 / 小学五・六年(競書休み)「お水取り」富田重明
・中学一・二・三年(競書休み)「熱中」佐藤蒼龍
・高校・専門部(競書休み)「作取周殷」桑原

翠那 / 原・臨張黒女墓誌 / 「筆のはたき」桑原翠那
⑬三月号(第十八卷第三号)改題第四百八(百九号) / 三月一日発行 / 表紙「太い手」(子)
・「人間の誕生」神野辰彦
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰
・幼・小学一・二年「一びき」奥村千鶴 / 小学三・四年「日光」江口草玄 / 小学五・六年「私の心」小田秀幸
・中学一年「学校の門」関谷義道 / 中学二・三年「可能の世界」玉有芳流
・高校・専門部「太守護軍」桑原翠那 / 原・鄭長猷造像記 / 「似ない臨書」桑原翠那
・「よろこび」(子) 2人
・或る時の話し合い(5) 今岡徳夫 / 松宮橘郎 / 込山清郷

⑭四月号(第十八卷第四号)改題第四百九(百十号) / 四月一日発行 / 表紙「建国」(子)
・今月のよい作品(5人) 江口草玄
・幼・小学一・二年「つち」児玉義信 / 小学三・四年「お花」江口草玄 / 小学五年「山脈」中島栄喜 / 小学六年「農耕」平井隆堂
・中学一年「大地」原・顔真卿書 / 中学二年「往來の人」森霞外 / 中学三年「流」(子)
・高校・専門部「発自天然」桑原翠那 / 原・さん宝子碑 / 「氣持の面白さ」桑原翠那
・リレー作文「タイトル」町笠原町(子)
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰
・「ペン字二週間」佐藤大朴先生の札幌便り
・「北海道の冬と作品づくり」塩田慥洲
・「ひびき」ペンフレンド(子)

⑮五月号(第十八卷第五号)改題第五百(百十一号) / 五月一日発行 / 表紙「花み」(子)
・第十二回ひびき展特集号
・「ひびきのポスト」(子) 2人
・幼・小学一・二年「しろ」江口草玄 / 小学三・四年「白い雲」池田水城 / 小学五年「予言者」田島白龍 / 小学六年「旅びと」関谷義道
・中学一・二年 原・始平公造像 / 「懷素書」

虞世南書 / 中学三年「花の香り」篁英道
・高校・専門部「天保八年」桑原翠那 / 原定国寺碑 / 「筆の深さ」桑原翠那
・硬筆習字部 小学一・二・三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰

⑯六月号(第十八卷第六号)改題第五百一(百十二号) / 六月一日発行 / 表紙「私の心」(子)
・或る時の話し合い(6) はらだ・はじむ / 平野倉二 / 篠田昭二 / 小笠原孝子 / 鈴木嘉雄
・幼・小学一・二年(競書休み)「かげ」今井松喬 / 小学三・四年「大麦」下山秋翠 / 小学五・六年(競書休み)「清」(いろいろな書きぶり)
・中学一・二年(競書休み)「徹底」破崎光善 / 中学三年(競書休み)「自然な呼吸」玉有芳流
・高校・専門部「二字の大字作品を書く」(子)「波」の造形 豊島鐘城
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰

⑰七月号(第十八卷第七号)改題第五百二(百十三号) / 七月一日発行 / 表紙「お花」(子)
・幼・小学一・二年「山みち」中川幸子 / 小学三・四年「草むら」小田秀幸 / 小学五年「波のり」多飯昭道 / 小学六年「湖水」入沢勝義
・中学一年「沙漠」玉有芳流 / 中学二年「弦琴」森霞外
・中学三年「高校・専門部(暑中見舞葉書) 関谷義道
・現代の書 森田子龍
・硬筆習字部 小学一・二年 / 小学三・四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・二・三年 / 高校一般 小林龍峰

⑱八月号(第十八卷第八号)改題第五百三(百十四号) / 八月一日発行
・大阪府立桜塚高等学校書道部特集
・「書」をこの一枚に(子)
・「この一年をふり返って」(子)
・硬筆習字部 小学一・二・三年 / 小学四・

五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高・一般 小林龍峰
幼・小学一・二・三年「子じか」三上盤翠／小学四・五・六年「泳ぐ人」中島栄喜
・中学一年「栗の実」関谷義道／中学二・三年「古典」今井松喬
・高校・専門部(俳句を書く)小林龍峰(二種類)／関谷義道

⑪九月号(第十八卷第九号・改題第百十四号(百十五号))／九月一日発行／表紙「搾」(子)・第十三回全日本一字競書大会特集号
・「室支部の牛山浩一君へ」
・硬筆習字部 小学一・二・三年／小学四・五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰
・第九回全日本硬筆習字大会成績発表
・幼・小学一・二年「かき」大島礼子／小学三・四年「野さく」岡田富美子／小学五・六年「心の底」平井隆堂
・中学一・二年「稲刈り」関谷義道
・中学三年・高校・専門部「取材班」浅野五牛／原・木簡

⑩十月号(第十八卷第十号・改題第百十五号(百十六号))／十月一日発行
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰
・幼・小学一・二年「夕ぐれ」池田水城／小学三・四年「夜空」多飯昭道／小学五年「帰る」中川幸子／小学六年「古い服」関谷義道
・中学一年「絹」(子)2人／中学二年「月」廿一日／原・伊都内親王願文／中学三年「議論」浅野五牛
・高校・専門部「平州」江口草玄／原・鄭文公碑
・岐阜大学学芸学部付属中学校生徒感想集より
・「わが作品」(13)森田竹華

⑨十一月号(第十八卷第十一号・改題第百十六号(百十七号))／十一月一日発行／表紙(俳句)(子)2人
・中学一年書写学習の記録(岐阜県中津川市立第一中学校)「主体性確立への書教育」高橋守二

・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・幼・小学一・二・三年「競書休み」くつ／江口草玄／小学四・五・六年「競書休み」(詩をかこう)関谷義道
・中学一・二年「競書休み」
・中学三年・高校「競書休み」色彩美「破崎光善」
・専門部(競書休み)「烈風」森霞外

⑫十二月号(第十八卷第十二号・改題第百十七号(百十八号))／十二月一日発行／表紙「心の底」(子)
・わたしは思う「岡田富美子」
・「中村君の作品」江口草玄
・幼・小学一・二年「はと」(子)／小学三・四年「ストーブ」／小学五・六年「親」(子)／「妹」(子)
・中学一年／中学二・三年／高校・専門部「北海漁場」佐藤蒼龍／「人類」平井隆堂／原・雁塔聖教序
・「主体性確立への書教育」中学一年書写学習の歩み(承前・充高橋守二)
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰

昭和四十一年(一九六六)
⑬一月号(第十九卷第一号・改題第百十八号(百十九号))／一月一日発行
・九死一生「感動」平和「淵上清園」
・幼・小学一・二・三年「あさ」江口草玄／小学四・五・六年「手紙」今井松喬
・中学一・二・三年「書」の文字を音符にあらわしてみよう「篠田昭二」原・蘭亭叙
・光明皇后書楽殺論
・高校・専門部「哲」江口草玄／原・雁塔聖教序
・「創造者の話し合い」大阪府立桜塚高等学校書道部
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰

⑭二月号(第十九卷第二号・改題第百十九号(百二十号))／二月一日発行／表紙「姉」(子)・第十四回全日本一字競書大会特集号
・第十回全日本硬筆習字大会特集号
・第十四回全日本一字競書大会特別賞・特選(15人)江口草玄
・硬筆習字部 小学一・二・三年／小学四・五・六年 関谷義道／中学・高校・一般 小林龍峰
・幼・小学一・二年「競書休み」うめ「江口草玄」／小学三・四年「競書休み」雨つぶ「森霞外」／小学五・六年「競書休み」地図「関谷義道」
・中学一・二・三年・高校・専門部(競書休み)「詩を書いてみよう」(子)3人

⑮三月号(第十九卷第三号・改題第百二十号(百二十一号))／三月一日発行／表紙「はと」(子)
・「或る時の話し合い」(7)「はらだ」はじむ／平野倉一／篠田昭二／小笠原孝子／鈴木嘉雄
・リレー作文「家族の中で一番上手」(子)
・幼・小学一・二年「くさ」児玉義信／小学三・四年「大声」関谷義道／小学五・六年「食パン」茅田巴里／原・顔真卿書
・小学一・二・三年「枯れ草」玉有崇峰／「化合物」塩野松雲
・高校・専門部 原・九成宮醴泉銘／建中告身帖
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰

⑯四月号(第十九卷第四号・改題第百二十一号(百二十二号))／四月一日発行／表紙(硬筆)(子)
・「字を書くということ」(子)
・「硬筆部評四人」江口草玄
・「王羲之の書を臨書し、音符にあらわす勉強をしました。」篠田昭二
・「文字えらび」制作・反省「大阪・桜塚高等学校」
・幼・小学一・二年「ほし」江口草玄／小学三・四年「日記」江口草玄／小学五年「偉大」森霞外／小学六年「五月雨」鈴木富山
・中学一・二・三年「神話」玉有崇峰／下山秋翠／原・夫子廟堂碑／鷹季直表／晋祠銘
・趙子昂書行書千字文
・高校・専門部(雁塔聖教序を習う)(3)／「外迷」江口草玄(解説あり・無記名)江口草玄

⑰五月号(第十九卷第五号・改題第百二十二号(百二十三号))／五月一日発行／表紙(不明)(子)
・第13回ひびき展特集
・幼・小学一・二・三・四年「小さい筆で詩かく」(子)2人／小学五年「くわ畑」中川幸子／小学六年「方法」原・鷗陽詢書
・中学一・二年「子守りうた」関谷義道／「渡り鳥」野崎邦臣
・中学三年・高校・専門部「日本の墨」森霞外
・「勸善文を習う」／「細工をしない」塩野松雲
・硬筆習字部 小学一・二・三年／小学四・五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰

⑱六月号(第十九卷第六号・改題第百二十三号(百二十四号))／六月一日発行／表紙「大声」(子)
・「或る時の話し合い」(8)今岡徳夫／原田正憲／岡田富美子／松宮橋邨／松下桂香
・「草玄宛」子供の手紙
・幼・小学一・二年「競書休み」「こころ」中島栄喜／小学三・四年「競書休み」「戸だな」今井松喬／小学五年「競書休み」「太平洋」(子)／小学六年「競書休み」「大陸」(子)
・中学一・二・三年・高校・専門部(競書休み)「勸善文を習う」(2)
・「整わない美しさ」塩野松雲
・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰

⑲七月号(第十九卷第七号・改題第百二十四号(百二十五号))／七月一日発行／表紙「日記」(子)
・今月のよい作品(27人)江口草玄
・「桂洲道倫の書」佐藤大朴
・幼・小学一・二年「白」(子)／小学三・四年「方」(子)／小学五年「勇氣」破崎光善／小学六年「神様」小田秀幸
・中学一・二年「風景写生」玉有崇峰／原・光

明皇后御書／貫名松翁書／嵯峨天皇御書
 佐理書／顔真卿書／龍門造像
 ・中学三年・高校・専門部(風信帖を習う)
 ・「留意相待」上田桑鳩／原・風信帖第三輪
 ・「風信帖第三」上田桑鳩
 ・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年
 ・小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑫八月号(第十九卷第八号)改題第百二十五(百二十六号)／八月一日発行／表紙「春がきた」(子)
 ・「ひびきと私」(子)
 ・「平面から空間へ」塩野松雲
 ・幼・小学一・二年「ぶどう」(子)／小学三・四年「大男」(子)／小学五・六年「遠近」(子)
 ・中学一・二・三年(筆以外方法で)(子)6人
 ・高校・専門部(空海の書を習う)(子)6人
 ・上田桑鳩／原・灌頂記／「真率」上田桑鳩
 ・リレー作文「中仙道」(子)
 ・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年
 ・小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑬十一月号(第十九卷第十号)改題第百二十八(百二十九号)／十一月一日発行／表紙「浜」(子)
 ・「硬筆の字を学ぶ皆さん」神野繁男
 ・鑑賞60人 江口草玄
 ・幼・小学一・二年「競書休み」まん中岡田
 ・富美子／小学三・四年「競書休み」重い荷
 ・関谷義道／小学五・六年「競書休み」(陸)(子)
 ・中学一・二・三年「競書休み」原・皇甫君碑
 ・雁塔聖教序／サン宝子碑
 ・高校・専門部(空海の書を習う)(子)5
 ・上田桑鳩／原・催子玉座右銘「宇宙を貫く線」上田桑鳩
 ・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年
 ・小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑭十二月号(第十九卷第十二号)改題第百二十九(百三十号)／十二月一日発行／表紙「月」(子)
 ・「一本の線」浅野五牛
 ・幼・小学一・二・三・四年「草むら」(子)／小学五・六年「話」(子)／「家」(子)
 ・中学一・二・三年「書初めの練習」樹皮「塩野松雲」／「迷信」吉田功(子)3人
 ・高校・専門部(空海の書を習う)(子)6
 ・多「上田桑鳩」原・三十帖冊子「一心不乱」上田桑鳩
 ・「書写教育を正しい姿にするために」高橋守二
 ・リレー作文「私の母校」(子)
 ・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年
 ・小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

昭和三十二年(一九六七)
 ⑮一月号(第二十卷第一号)改題第百三十(百三十一号)／一月一日発行
 ・先生訪問「森田子龍氏」(無記名)江口草玄(鑑賞)(6人(江口草玄))
 ・幼・小学一・二年「あさ」入沢勝義／小学三・四年「右手」豊島鐘城／小学五年「光線」今井松喬／小学六年「正義」関谷義道
 ・中学一・二・三年「建設」小田秀幸／原・橋逸勢書「始平公造像」楮遂良書／顔真卿書／聖武天皇宸翰／鷗陽詢書
 ・高校・専門部(王羲之を習う)(子)17帖「青李来禽」桑原翠邦／「十七帖」楷書「桑原翠邦」
 ・硬筆習字部 幼・小学一・二・三年／小学四・五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑯二月号(第二十卷第二号)改題第百三十一(百三十二号)／二月一日発行／表紙「硬筆」(子)
 ・第十五(十六)回全日本一字競書大会特集
 ・第十二回全日本硬筆習字大会特集号
 ・第十五回(十六)全日本一字競書大会特集賞(14人(江口草玄))
 ・硬筆習字部 幼・小学一・二・三年／小学四・五・六年 関谷義道／中学・高校一般 小林龍峰
 ・幼・小学一・二・三年「のびる」大島礼子／小学四・五・六年「北国」関谷義道
 ・中学一・二年「科学」原田正憲
 ・中学三年「高校・専門部」王羲之を習う(2)「楽毅論」「喻昭王曰」桑原翠邦／「楽毅論」桑原翠邦

⑰三月号(第二十卷第三号)改題第百三十二(百三十三号)／三月一日発行／表紙「家」(子)
 ・「或る時の話し(9)」今岡徳夫／原田正憲
 ・岡田富美子／松宮橋邨／松下桂香
 ・幼・小学一・二・三・四年「詩をかきましょ」(子)2人／小学五・六年「やなぎの芽」森霞外「お城」池田水城
 ・中学一年「太平洋」今井松喬／中学二・三「細字を書く」原・蘇孝慈墓誌銘／宣示表

⑱四月号(第二十卷第四号)改題第百三十三(百三十四号)／四月一日発行／表紙「心」(子)
 ・今月のよい作品(28人(江口草玄))
 ・幼・小学一・二年「とり」江口草玄／小学三・四年「公園」江口草玄／小学五年「数える」中島栄喜／小学六年「若草山」森霞外
 ・中学一・二・三年「隷書を書く」(子)「好意」玉有崇峰／原・中岳靈廟碑／孔宙碑／石門頌／礼器碑
 ・高校・専門部(王羲之を習う)(子)4「蘭亭序」天朗氣清「桑原翠邦」／「蘭亭序」桑原翠邦
 ・「或る時の話し(10)」今岡徳夫／原田正憲
 ・岡田富美子／松宮橋邨／松下桂香
 ・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑲五月号(第二十卷第五号)改題第百三十四(百三十五号)／五月一日発行／表紙「巨人」(子)
 ・第14回ひびき展特集号
 ・幼・小学一・二・三年「水」原・顔真卿書／小学四・五・六年「春秋」原・サン宝子碑「千年」原・夫子廟堂碑
 ・中学一・二・三年「田植え」鈴木富山「古瓦の溝」玉有崇峰
 ・高校・専門部(王羲之を習う)(子)11「初月帖」初月十二日「桑原翠邦」／「初月帖」桑原翠邦
 ・硬筆習字部 幼・小学一・二・三年／小学四・五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑳六月号(第二十卷第六号)改題第百三十五(百三十六号)／六月一日発行／表紙「詩」(子)
 ・先生訪問「井上有一氏」(無記名)江口草玄(か)
 ・幼・小学一・二・三年「すもう」原田正憲／小学四・五・六年「草とり」児玉義信

三・四年「白い花」江口草玄／小学五年「準備」関谷義道／小学六年「秋の月」鈴木富山
 ・中学一年「安直」原・西狭頌／中学二年「風土記」森霞外
 ・中学三年「高校・専門部」(空海の書を習う)(子)4
 ・「風信雲書」上田桑鳩／原・風信帖／「大岩石」上田桑鳩
 ・硬筆習字部 小学一・二年／小学三・四年
 ・小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑳十一月号(第十九卷第十号)改題第百二十七(百二十八号)／十月一日発行／表紙「勇氣」(子)
 ・先生訪問「関谷義道氏」(無記名)江口草玄(か)
 ・幼・小学一・二年「りんご」江口草玄／小学

・中学一・二・三年「青空」鳥栄喜／「自然観察」玉有崇峰／原：鷗陽詢書／貫名松翁書／緒遂良書／顔真卿書／サン宝子碑／鐘繇書
・高校：専門部(王羲之を習う(6)唐唐澄清堂帖)故是名処「桑原翠邦」書品「桑原翠邦」
・第十四回ひびき展を見て「塩野松雲」(投書)

・「ひびき」展見学記「大阪桜塚高校書道部」硬筆習字部 幼：小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑬七月号第二十卷第七号・改題第三百三十六(百三十七)号／七月一日発行／表紙「天明氣清」(子)
・「真の書に前衛も古典もない」原田正憲
・「今月のすぐれた硬筆作品」
・「書のみかた(1)」有田光甫
・幼：小学一・二年「ひよこ」今井満里／小学三・四年「大海」奥村千鶴／小学五年「晴天」徳村大和／小学六年「山開き」関谷義道

・中学一・二・三年／原(金文)／木簡／龍門造像／サン宝子碑／鐘繇書／緒遂良書／鷗陽詢書
・高校：専門部(かなを習う(1)高野切第三種)ならへまかりける「森田竹華」／「澄んだ線」森田竹華
・リレー作文「庄原市」(子)
・硬筆習字部 幼：小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑭八月号第二十卷第八号・改題第三百三十七(百三十八)号／八月一日発行／表紙篆刻(子)
・中学一・二・三年「印」をほりましよう(子)12人

・高校：専門部(かなを習う(2)高野切第一種)「しんとゆふ」森田竹華／「品格」森田竹華
・幼：小学一・二年「やま」(子)／小学三・四年「写生」(子)／小学五・六年「草原」(子)／「大陸」下山秋翠
・「書のみかた(2)」有田光甫
・リレー作文「私の気持ち」(子)

・硬筆習字部 幼：小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑮九月号第二十卷第九号・改題第三百三十八(百三十九)号／九月一日発行／表紙「液」(子)
・第十六(十七)回全日本一字競書大会特集

・第十三回全日本硬筆習字大会特集号
・硬筆習字部 幼：小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰
・リレー作文「ぼくたちの島」礼文島(子)
・「書のみかた(3)」有田光甫

・幼：小学一・二・三年「たけ」大島礼子／小学四・五・六年「お花」江口草玄
・中学一・二・三年「祖國」玉有崇峰／原：枯樹賦
・高校：専門部(かなを習う(3)寸松庵色紙)森田竹華／「構成」森田竹華

⑯十月号第二十卷第十号・改題第三百三十九(百四十)号／十月一日発行

・大阪府立桜塚高等学校書道クラブ特集
・「部員のおしゃべり録音」
・「原田正憲先生を囲んで」今岡徳夫／宮川利一
・硬筆習字部 幼：小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰
・幼：小学一・二・三年「ねこ」豊島鐘城／小学五・六年「風俗」小田秀幸
・中学一・二・三年「道案内」森霞外／原：顔真卿書
・高校：専門部(かなを習う(4)関戸本古今集)森田竹華／「動き」森田竹華

⑰十一月号第二十卷第十一号・改題第四百一十(百四十一)号／十一月一日発行／表紙(仮名)子

・「俺は三池の大蛇山車」森霞外
・「書のみかた(4)」有田光甫
・幼：小学一・二・三年「競書休み」(詩をつくりましよう)(子)2人／小学五年「競書休み」工場「江口草玄」／小学六年「競書休み」鉄橋「塩野松雲」
・中学一年「競書休み」世界と国連(子)／中

学二・三年 原：顔真卿書竹山連句
・高校：専門部(かなを習う(5)十五番歌合)森田竹華／「豪快」森田竹華
・リレー作文「わたしたちのクラス」(子)
・硬筆習字部 幼：小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑱十二月号第二十卷第十二号・改題第四百一十一(百四十二)号／十二月一日発行／表紙「組閣」(子)

・「書のみかた(5)」有田光甫
・「見えた!」感動「神野正彦」
・「目」江口草玄
・「技術ということ」原田正憲
・硬筆習字部 幼：小学一・二・三年／小学四・五・六年 関谷義道／中学一・二・三年
・高校：一般 小林龍峰
・幼：小学一・二年「ひがし」(子)／小学三・四年「学」(子)／小学五・六年「野山」原：顔真卿書／「方法」原：鷗陽詢書
・中学一・二・三年「年賀状」江口草玄(五種類)須田勉太／東志青郎
・高校：専門部(かなを習う(6)継色紙)森田竹華／「静けさ」森田竹華

昭和四十三年(一九六八)
⑲一月号第二十一卷第一号・改題第四百一十二(百四十三)号／一月一日発行／表紙「ねこ」(子)

・「山本六郎氏との対話」(無記名)江口草玄(か)
・硬筆習字部 幼：小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰
・幼：小学一・二・三年「ふじ」樋口朝堂／小学四・五・六年「日本」三浦関山
・中学一・二・三年「独立」日置路花「名作鑑賞」玉有崇峰
・高校：専門部(顔真卿を習う)顔氏家廟碑「所」井上有一／「黄河の大濁流」井上有一

⑳二月号第二十一卷第二号・改題第四百一十三(百四十四)号／二月一日発行／表紙「面」(子)

・第十七(十八)回全日本一字競書大会特集

・第十四回全日本硬筆習字大会特集号
・「書のみかた(6)」有田光甫
・硬筆習字部 幼：小学一・二・三年／小学四・五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰
・幼：小学一・二・三年「競書休み」(「やま」)小学四・五・六年「競書休み」朝もや「渡辺彩」／「決心」児玉義信

㉑三月号第二十一卷第三号・改題第四百一十四(百四十五)号／三月一日発行／表紙「硬筆」(子)

・「自己紹介」為支部長 渡辺芳秋
・硬筆習字部 幼：小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰
・幼：小学一・二年「やま」(子)／小学三・四年「夜」(子)／小学五年「協同」豊島鐘城／小学六年「意志」神野正彦
・中学一・二・三年「下手に書こう」原：木簡／「始平公造像」サン宝子碑(子)3人
・高校：専門部(顔真卿を習う(3)顔氏家廟碑)「科」井上有一／「見る・見ぬく」井上有一

㉒四月号第二十一卷第四号・改題第四百一十五(百四十六)号／四月一日発行／表紙「監」(子)

・先生訪問「野崎邦臣氏」(無記名)江口草玄(か)
・「書のみかた(8)」有田光甫
・幼：小学一・二年「つち」岡田富美子／小学三・四年「こん虫」茅田巴里／小学五・六年「歩く」樋口佛石
・中学一・二・三年「春の光」玉有崇峰／「好意」塩野松雲
・高校：専門部(顔真卿を習う(4)麻姑仙壇記)「去」井上有一／「底を抜く」井上有一
・硬筆習字部 幼：小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

㉓五月号第二十一卷第五号・改題第四百一十六(百四十七)号／五月一日発行／表紙「さ

くら(子)

・第十五回ひびき展特集号

・リレー作文「おたより」(子)

・幼・小学一・二年「白いくも」(子)／小学三・四年「雨ふり」奥村千鶴／小学五年「岩山」天池芳明／小学六年「村の道」森霞外

・中学一・二・三年「発車」下山秋翠／「腹式呼吸」玉有崇峰

・高校・専門部(顔真卿を習う(5)祭姪稿)「凶井上有一」／「草稿」井上有一

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑩六月号(第二十一卷第六号)改題第四百四十七(百四十八号)／六月一日発行／表紙「可道」(子)

・NHK婦人百科 子供の書「森田子龍」関谷義道／高橋守二／今岡徳夫

・「良寛の手紙」今井満里

・幼・小学一・二年(競書休み)「せみ」日置路花／小学三・四年(競書休み)「夏山」関谷義道／小学五・六年(競書休み)「白雲」中島栄喜

・中学一・二・三年(競書休み)「小馬」淵上清園／原・宣季直表「邪馬台国」野崎邦臣

・原・鄭長猷造像記

・高校・専門部(顔真卿を習う(6)争座位稿)(競書休み)「人則」井上有一／「文字の輝き」井上有一

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑪七月号(第二十一卷第七号)改題第四百四十八(百四十九号)／七月一日発行／表紙「こん虫」(子)

・「書の勉強のしかた」関谷義道

・「わたくしと深まる学習を」高橋蒼玄

・「わたくしの感想」今岡徳夫

・「書のみかた(9)」有田光甫

・幼・小学一・二・三年「すいか」入沢勝義／小学四・五・六年「星」高橋蒼玄

・中学一・二・三年「水泳」今井満里／「しゃぼん玉」玉有崇峰

・高校・専門部(慈雲尊者)「無事」江口草玄

／「平易」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑫八月号(第二十一卷第八号)改題第四百四十九(百五十号)／八月一日発行／表紙(硬筆)(子)

・「書のみかた(10)」有田光甫

・リレー作文「交通安全のおじさん」(子)

・幼・小学一・二・三・四年「ちがったさくひんづくり」白いくも(子)／「世界」(子)／小学五・六年「手紙」小田秀幸／「長い列」森霞外

・中学一・二・三年(彫り字作品を作る)「細い道」(子)

・高校・専門部(良寛)「衝得」江口草玄／「生まれ落ちる」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑬九月号(第二十一卷第九号)改題第五百五十(百五十一号)／九月一日発行／表紙「地」(子)

・第十八(十九)回全日本一字競書大会・第十四(十五)回全日本硬筆習字大会特集号

・「書のみかた(11)」有田光甫

・幼・小学一・二・三・四年「リレー」入沢勝義

／「右足」三宅保郎／小学五・六年 原・造像

・中学一・二・三年(走る線を書こう)「飛ぶ」原田正憲／原・懷素自叙帖

・高校・専門部(白隠)「不動」江口草玄／「茫漠」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑭十月号(第二十一卷第十号)改題第五百五十一(百五十二号)／十月一日発行／表紙「星」(子)

・先生訪問「金森朴堂氏」(無記名)江口草玄

／「書のみかた(12)」有田光甫

・幼・小学一・二年「ゆり」児玉義信／小学三・四年「雲」松下桂香／小学五・六年「山の寺」森霞外

・中学一・二・三年「お祭山車」豊島鐘城／「秋の夜話」玉有崇峰

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑮十一月号(第二十一卷第十一号)改題第五百五十二(百五十三号)／十一月一日発行／表紙「白いくも」(子)

・「書のみかた(13)」有田光甫

・リレー作文「翠」支部(子)

・幼・小学一・二年(競書休み)「しか」今井満里／小学三・四年(競書休み)「心の中」日置路花／小学五・六年(競書休み)「山鳥」奥村千鶴／小学六年(競書休み)「夜明け」森霞外

・中学一・二・三年(競書休み)原・三国木簡

／「鷗陽詢書の書より」サン宝子碑／顔真卿の書より

・高校・専門部(副島蒼海「飛龍在天」)／「豪傑の書」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑯十二月号(第二十一卷第十二号)改題第五百五十三(百五十四号)／十二月一日発行／表紙(硬筆)(子)

・「大阪府教育課程研究会芸術(書道)研究発表」原田正憲

・幼・小学一年「あだな」森霞外／小学二年「勇氣」奈良節夫／小学三・四年掲載なし

／小学五・六年「原動」井上有一／「細い道」野崎邦臣

・中学一・二・三年「心の響き」玉有崇峰

／「果樹」塩野松雲

・高校・専門部(大灯国師)「足」江口草玄

／「硬筆習字部」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑰昭和四十四年(一九六九)

①一月号(第二十二卷第一号)改題第五百五十四(百五十五号)／一月一日発行

・「四十六年度改定への疑問」大脇文子

・「書道教育について考える」横田礼子

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

②二月号(第二十二卷第二号)改題第五百五十五(百五十六号)／二月一日発行／表紙「石」(子)

・第十九(二十)回全日本一字競書大会・第十五(十六)回全日本硬筆習字大会・特集号

・幼・小学一・二年「おに」大脇文子／小学三・四年(競書休み)「麦ふみ」原田正憲

／小学五年「出発」児玉義信／小学六年(競書休み)「労働」(子)

・中学一・二・三年(競書休み)「帰化人」森霞外

／「思想」池田水城

・高校・専門部(緒遂良を習う(1)伊闕仏龕碑)「由是見真」手島右卿／「心の高さ」手島右卿

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑱三月号(第二十二卷第三号)改題第五百五十六(百五十七号)／三月一日発行／表紙(硬筆)(子)

・「べん字はこんなふうを書いてみよう」小林龍峰

・「書のみかた(14)」有田光甫

・リレー作文「登山」(子)

・幼・小学一・二年「くも」江口草玄／小学三・四年「星」(子)／小学五・六年「火山」日置路花

／「東洋」関谷義道

・中学一・二・三年「友禅染」森霞外

／「夢は開く」玉有崇峰

・高校一・二年「早春大地」(子)2人

・高校三年・専門部「漢隸の習い方」(2)石門頌

・「祖父受命」松井如流

／「呼吸の長さ」松井如流

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑲四月号(第二十二卷第四号)改題第五百五十七(百五十八号)／四月一日発行／表紙「春」(子)

・高校・専門部(一休宗純)「定上」江口草玄

／「烈々」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑳五月号(第二十二卷第五号)改題第五百五十八(百五十九号)／五月一日発行／表紙「白いくも」(子)

・「書のみかた(15)」有田光甫

・リレー作文「翠」支部(子)

・幼・小学一・二年(競書休み)「しか」今井満里

／小学三・四年(競書休み)「心の中」日置路花

／小学五・六年(競書休み)「山鳥」奥村千鶴

／小学六年(競書休み)「夜明け」森霞外

・中学一・二・三年(競書休み)原・三国木簡

／「鷗陽詢書の書より」サン宝子碑

／顔真卿の書より

・高校・専門部(副島蒼海「飛龍在天」)／「豪傑の書」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉑六月号(第二十二卷第六号)改題第五百五十九(百六十号)／六月一日発行／表紙「夏」(子)

・「大阪府教育課程研究会芸術(書道)研究発表」原田正憲

・幼・小学一年「あだな」森霞外

／小学二年「勇氣」奈良節夫

／小学三・四年掲載なし

／小学五・六年「原動」井上有一

／「細い道」野崎邦臣

・中学一・二・三年「心の響き」玉有崇峰

／「果樹」塩野松雲

・高校・専門部(大灯国師)「足」江口草玄

／「硬筆習字部」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉒七月号(第二十二卷第七号)改題第五百六十(百六十一号)／七月一日発行／表紙「秋」(子)

・「書のみかた(16)」有田光甫

・リレー作文「登山」(子)

・幼・小学一・二年「くも」江口草玄

／小学三・四年「星」(子)／小学五・六年「火山」日置路花

／「東洋」関谷義道

・中学一・二・三年「友禅染」森霞外

／「夢は開く」玉有崇峰

・高校一・二年「早春大地」(子)2人

・高校三年・専門部「漢隸の習い方」(2)石門頌

・「祖父受命」松井如流

／「呼吸の長さ」松井如流

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉓八月号(第二十二卷第八号)改題第五百六十一(百六十二号)／八月一日発行／表紙「冬」(子)

・「書のみかた(17)」有田光甫

・リレー作文「翠」支部(子)

・幼・小学一・二年(競書休み)「しか」今井満里

／小学三・四年(競書休み)「心の中」日置路花

／小学五・六年(競書休み)「山鳥」奥村千鶴

／小学六年(競書休み)「夜明け」森霞外

・中学一・二・三年(競書休み)原・三国木簡

／「鷗陽詢書の書より」サン宝子碑

／顔真卿の書より

・高校・専門部(副島蒼海「飛龍在天」)／「豪傑の書」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉔九月号(第二十二卷第九号)改題第五百六十二(百六十三号)／九月一日発行／表紙「春」(子)

・「大阪府教育課程研究会芸術(書道)研究発表」原田正憲

・幼・小学一年「あだな」森霞外

／小学二年「勇氣」奈良節夫

／小学三・四年掲載なし

／小学五・六年「原動」井上有一

／「細い道」野崎邦臣

・中学一・二・三年「心の響き」玉有崇峰

／「果樹」塩野松雲

・高校・専門部(大灯国師)「足」江口草玄

／「硬筆習字部」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉕十月号(第二十二卷第十号)改題第五百六十三(百六十四号)／十月一日発行／表紙「秋」(子)

・「書のみかた(18)」有田光甫

・リレー作文「登山」(子)

・幼・小学一・二年「くも」江口草玄

／小学三・四年「星」(子)／小学五・六年「火山」日置路花

／「東洋」関谷義道

・中学一・二・三年「友禅染」森霞外

／「夢は開く」玉有崇峰

・高校一・二年「早春大地」(子)2人

・高校三年・専門部「漢隸の習い方」(2)石門頌

・「祖父受命」松井如流

／「呼吸の長さ」松井如流

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉖十一月号(第二十二卷第十一号)改題第五百六十四(百六十五号)／十一月一日発行／表紙「冬」(子)

・「書のみかた(19)」有田光甫

・リレー作文「翠」支部(子)

・幼・小学一・二年(競書休み)「しか」今井満里

／小学三・四年(競書休み)「心の中」日置路花

／小学五・六年(競書休み)「山鳥」奥村千鶴

／小学六年(競書休み)「夜明け」森霞外

・中学一・二・三年(競書休み)原・三国木簡

／「鷗陽詢書の書より」サン宝子碑

／顔真卿の書より

・高校・専門部(副島蒼海「飛龍在天」)／「豪傑の書」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉗十二月号(第二十二卷第十二号)改題第五百六十五(百六十六号)／十二月一日発行／表紙「春」(子)

二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑮四月号(第二十二卷第四号)改題第百五十七(百五十八)号) / 四月一日発行 / 表紙「雪」(子)

・「クラブ活動における指導のあり方」をさぐる「家城毅

・書のみかた(15)有田光甫

・幼・小学一・二年「ぼたん」松本邦代 / 小学

三・四年「花祭り」酒井静子 / 小学五年「春

の雨早苗恭子 / 小学六年「清らか」豊島

鐘城

・中学一・二・三年「春の海ひねもすのたり

のたりにかな」関谷義道 / 井上有一 / 今井

満里

・高校・専門部「楮遂良を習う(2)孟法師碑

「慕道超然」手島右卿 / 「意と気の充実」手

島右卿

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・四

年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑯五月号(第二十二卷第五号)改題第百五十八(百五十九)号) / 五月一日発行 / 表紙「心」(子)

・第16回ひびき展特集号

・リレー作文「ほくの恩人」(子)

・幼・小学一・二年「ツバメ」野地紅霞 / 小学

三・四年「走る」奥村千鶴 / 小学五・六年

「風化」日置路花 / 「若葉」関谷義道

・中学一・二・三年「発掘」下山秋彦 / 「生ま

れる命」野崎邦臣

・高校・専門部「漢隸の習い方(3)史晨後碑」

「蕩耶反正」松井如流 / 「余裕」松井如流

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑰六月号(第二十二卷第六号)改題第百五十九(百六十)号) / 六月一日発行 / 表紙「火山」(子)

・私が考える書教育とその実践「横田礼子

・書のみかた(16)有田光甫

・幼・小学一・二年「競書休み」つゆ「児玉義

信」小学三・四年「競書休み」石のいろ

江口草玄 / 小学五年「競書休み」母の味

森霞外 / 小学六年「競書休み」日本海「関

谷義道

・中学一・二・三年「競書休み」原・石鼓文 /

高貞碑 / 顔真卿書 / 光明皇后書 / 王羲之

書

・高校・専門部「楮遂良を習う(3)雁塔聖教

序」於是微言」手島右卿 / 「高く涼しく」

手島右卿

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑱七月号(第二十二卷第七号)改題第百六十二(百六十一)号) / 七月一日発行 / 表紙「硬筆」(子)

・先生訪問「岡部蒼風氏」(無記名・江口草玄

か)

・幼・小学一・二・三・四年「ろ」(子)「花」(子)

小学五・六年「い」も「字をほろう」(子)3人

・中学一・二・三年「仮名を習う」原・後鳥羽

上皇御書熊野懷紙 / 高野切第三種

・高校・専門部「漢隸の習い方(4)西狭頌」穆

如清風」松井如流 / 「ぶつさらぼう」松井

如流

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑲八月号(第二十二卷第八号)改題第百六十一(百六十二)号) / 八月一日発行 / 表紙「風化」(子)

・「書の大さ」今岡徳夫

・リレー作文「私に勇気があったら」(子)

・幼・小学一・二年「まつり」児玉義信 / 小学

三・四年「右ゆび」奥村千鶴 / 小学五・六年

「鎌倉」関谷義道 / 「自信」玉有崇峰

・中学一・二・三年「千人」井上有一 / 「石の

苔」森霞外 / 「人間の可能」金森朴堂

・高校・専門部「漢隸の習い(5)都閣頌」躬儉

直約「松井如流」自然児」松井如流

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

⑳九月号(第二十二卷第九号)改題第百六十二(百六十三)号) / 九月一日発行 / 表紙「建」(子)

・第二十(二十一)回全日本一字競書大会特

集

・第十六(十七)回全日本硬筆習字大会特集

・幼・小学一・二年「はと」樋口佛右 / 小学

三・四年「す」虫奥村千鶴 / 小学五年「生

活」日置路花 / 小学六年「躍動」玉有崇峰

・中学一・二・三年「もみ紙に書こう」(子)2人

・高校・専門部「漢隸の習い方(6)張遷碑」既

且於君」松井如流 / 「素朴」松井如流

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉑十月号(第二十二卷第十号)改題第百六十三(百六十四)号) / 十月一日発行 / 表紙「硬筆」(子)

・先生訪問「今井満里氏」(江口草玄)

・「書のみかた(17)有田光甫

・リレー作文「必要なもの」(子)

・幼・小学一・二・三・四年「おに」(子) / 「つみ

木」入沢勝義 / 小学五・六年「おち葉」豊島

鐘城 / 「社会人」鳴海正雄

・中学一・二・三年「紅葉」玉有崇峰 / 「路傍

の石」野崎邦臣

・高校・専門部「楮遂良を習う(4)哀冊」「凄

兮」江口草玄 / 「静かなりスム」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉒十一月号(第二十二卷第十一号)改題第百六十四(百六十五)号) / 十一月一日発行

・「辛版」篠田昭一

・「書のみかた(18)有田光甫

・幼・小学一・二年「競書休み」「子いぬ」原田

正憲 / 「孝」(子)

・小学三・四・五・六年「競書休み」原・鷗陽詢

の書より / 「主人公」玉有崇峰

・中学一・二・三年 原・嵯峨天皇宸翰「李嶠

詩残卷」(子)3人

・高校・専門部「楮遂良を習う(5)枯樹賦」二筆

意ある書江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

㉓十二月号(第二十二卷第十二号)改題第百六十五(百六十六)号) / 十二月一日発行

・「書のみかた(19)有田光甫

・小学一・二・三・四・五・六年「かきぞめのれ

んしゅう」「ひかり」玉有崇峰 / 「山川草

木」浅野五牛 / 「天地の心」平和の願い

「夢よみのれ」耀く新年」自分の道を「関

谷義道

・中学一・二・三年「書初めの練習」月の石

「大雪山」樋口佛右 / 「少年よ大志を抱け」

「光風動春」金森朴堂 / 「春樹万家烟」浅野

五牛

・高校・専門部「楮遂良を習う(6)房玄齡碑

「凶」江口草玄 / 「掌の中で生まれる意志

力」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

昭和四十五年(一九七〇)

①一月号(第二十三卷第一号)改題第百六十

六(百六十七)号) / 一月一日発行

・「話し合い」大阪・桜塚高等学校 / 京都・平

安女学院高等学校

・幼・小学一・二年「あさ」三浦関山 / 小学

三・四年「よい年」酒井静子 / 小学五・六年

「半分」関谷義道 / 「冬眠」今井満里

・中学一・二・三年「白銀の道」玉有崇峰 /

「細い道」野崎邦臣

・高校・専門部「仮名を習う(1)重之集」むし

のねのころよわくも」江口草玄 / 「線の

鮮度」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年・高校・一般 小林龍峰

②二月号(第二十三卷第二号)改題第百六十

七(百六十八)号) / 二月一日発行 / 表紙「硬

筆」(子)

・第二十一(二十二)回全日本一字競書大会

特集号

・第十七(十八)回全日本硬筆習字大会特集

号

・幼・小学一・二年「まめ」(子) / 小学三・四年

(「競書休み」小川) / 小学五・六年「競書休

み」葉」(子)3人

・中学一・二・三年「競書休み」日新

・高校・専門部「仮名を習う(2)大色紙」ハシ

めん」江口草玄 / 「鋒の開きを楽しむ」江

口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年 / 小学三・

四年 / 小学五・六年 関谷義道 / 中学一・

二・三年 / 高校・一般 小林龍峰

⑬三月号第二十三卷第三号・改題第百六十八(百六十九号)／三月一日発行／表紙(硬筆)(子)

・先生訪問「佐藤大朴氏」馬場伶／江口草玄
・小学一年「バス」渡辺彩／小学二年「大空」(子)／小学四年「雨ふり」(子)／小学五年「永遠」関谷義道／小学六年「霧」(子)
・小学一年「空腹」塩野松雲／小学二年「追跡する」森霞外／小学三年「暗夜行路」野崎邦臣

・高校専門部(仮名を習う)(3)針切相模集
「まねくす、きの」江口草玄／「細やかな
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑭四月号第二十三卷第四号・改題第百六十九(百七十号)／四月一日発行／表紙「時」(子)

・「四ツの花」今岡徳夫
・「作品に思う」森田子龍
・「書のみかた」(20)有田光甫
・「鑑賞」(7人(江口草玄))
・幼・小学一・二年「ばら」松本邦代／小学三年「さか立ち」(子)／小学四・五年「好きな詩を書こう」(子)2人
・小学六年・中学一年(コクのある線で) (子)3人

・中学二年「風流」(子)／小学三年「宇宙の嶺」玉有崇峰
・高校専門部(仮名を習う)(4)春日懐紙「人ありかほに」江口草玄／「人くささの中で耀く力」江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑮五月号第二十三卷第五号・改題第百七十(百七十一号)／五月一日発行／表紙「心」(子)

・第17回ひびき展特集号
・幼・小学一・二・三年「ふじ」(子)／小学四・五・六年「お花」(子)／「芽」(子)／「空」(子)
・小学一・二・三年「白雲遊子」玉有崇峰／原・伊都内親王願文
・高校専門部(仮名を習う)(5)曼殊院本古今

集「をとめのすかたしはしと、めむ」江口草玄／「新芽」江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑯六月号第二十三卷第六号・改題第百七十(百七十二号)／六月一日発行／表紙「大空」(子)

・漢字学習への愚見(上)入沢勝義
・幼・小学一年「みち」酒井静子／小学二年「水」樺大介／小学三年「麦」(子)／小学四年「水たまり」(子)／小学五年「山の木」日置路花／小学六年「白い波」中本清峯
・小学一・二・三年「詩人の心」野崎邦臣／「白鳥の湖」玉有崇峰／原・蘭亭叙／枯樹賦
・高校専門部(仮名を習う)(6)詞花集切「みかさやまみねに朝日さ、むかぎりハ」江口草玄／「人間の生」江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑰七月号第二十三卷第七号・改題第百七十二(百七十三号)／七月一日発行／表紙「詩」(子)

・漢字学習への愚見(下)入沢勝義
・幼・小学一・二年「くすり」神野弘道／小学三年「よい味」(子)／小学四年「とんぼ返り」森霞外／小学五年「一番星」富田重明／小学六年「折りツル」今井満里
・小学一・二・三年「計」(子)／原・夫子廟堂碑
・高校専門部(龍門二十品を習う)(1)始平公造像記「石」江口草玄／「盤石の底力」江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑱八月号第二十三卷第八号・改題第百七十三(百七十四号)／八月一日発行／表紙(硬筆)(子)

・書のみかた(2)有田光甫
・幼・小学一年「白」(子)／小学二年「糸」(子)／小学三年「海」(子)／小学四年「紙」(子)／小学五年「〇を書いてから」朝／小学六年「〇を書いてから」蚊

・小学一・二・三年「開国」原・皇甫府君碑／「松風原・雁塔聖教序」／「將軍」原・サン宝子碑
・高校専門部(龍門二十品を習う)(2)始平公造像記(2)「有」井上静枝／「生きた臨書」江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑲九月号第二十三卷第九号・改題第百七十四(百七十五号)／九月一日発行／表紙「竹」(子)

・第二十二(二十三)回全日本一字競書大会第十八(十九)回全日本硬筆習字大会特集号
・幼・小学一・二年「むし」佐賀三恵子／小学三・四年「よい友」樋口梯右／小学五年「平気」川嶋靖雄／小学六年「赤い実」中村玉谿
・小学一・二・三年「光の反射」森霞外／「名作保存」玉有崇峰
・高校専門部(広川王賀蘭汗造像記)「月」今岡徳夫／「盤石不動」今岡徳夫
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

⑳十月号第二十三卷第十号・改題第百七十五(百七十六号)／十月一日発行／表紙「番星」(子)

・書のみかた(2)有田光甫
・「鑑賞」(8人(江口草玄))
・「日本的なもの」堀尾勝彦
・幼・小学一・二年「はつしも」厄玉義信／小学三年「日三浦関山」／小学四年「道原・顔真卿書」／小学五年「文字」原・虞世南書
・小学六年「春秋」原・サン宝子碑
・小学一・二・三年「紅葉」玉有崇峰／原・竹山連句
・高校専門部(龍門二十品を習う)(4)鄭長猷造像記「王」井上静枝／「真つ向からの体あたり」森田子龍
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

㉑十一月号第二十三卷第十一号・改題第百七十六(百七十七号)／十一月一日発行／表紙「宝」(子)

・「いまを生きる書」を思いつつ」中村玉谿
・幼・小学一・二年「つち」野地紅霞／小学三・四年「月光」厄玉義信／小学五年「北極」樋口梯右／小学六年「飛ぶ」下山秋翠
・小学一・二・三年「俳句を書こう」(さま)／「浅野五牛」／「きみたちも」野崎邦臣／「たむし」井上有一／「犬ゆくや」関谷義道／「松ふかさ」今井満里
・高校専門部(龍門二十品を習う)(5)牛橛造像記「舌」江口草玄／「切れない、筆のはこび」江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

㉒十二月号第二十三卷第十二号・改題第百七十七(百七十八号)／十二月一日発行

・「私と書」水上祥邦
・「書のみかた」(23)有田光甫
・幼・小学一・二年「はしる」(子)／小学三・四年「人ごみ」酒井静子／小学五年「動く」早苗恭子／小学六年「宿題」玉有崇峰
・小学一・二・三年「木簡を習う」
・高校専門部(龍門二十品を習う)(6)牛橛造像記「九」後藤祐自／「厳然たる存在の姿」江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・二・三年／高校一般 小林龍峰

昭和四十六年(一九七二)

①一月号第二十四卷第一号・改題第百七十八(百七十九号)／一月一日発行

・第九回北海道墨象会帯広大会研究発表
・「古典臨書階梯」(1)佐藤大朴
・幼・小学一・二年「ゆき」森霞外／小学三・四年「雪」(子)／小学五年「月」原・顔真卿書
・小学六年「光る雪」茅田巴里
・小学一年「多い字詩」を書こう」(子)2人
・中学一・二年「中国山地」野崎邦臣
・高校専門部(唐太宗皇帝の書を習う)(1)晋祠銘／「而」江口草玄／「開かれた気宇」江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／小学一・

二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑩二月号第二十四卷第二号・改題第百七十九(百八十)号／二月一日発行／表紙「前(子)」

第二十三(二十四)回一字競書大会：第九(二十)回硬筆習字大会特集号

・第九回北海道墨象会帯広大会研究発表「古典臨書階梯(2)佐藤大朴」
・幼・小学一・二年(競書休み)「山(子)／小学三・四年(競書休み)道(子)／小学五年(競書休み)朝日」小田秀幸／小学六年(競書休み)「青い鳥」森霞外

・中学一・二・三年(競書休み)「神を呼ぶ」玉有崇峰／「竹ざお」石島よしみ

・高校：専門部(競書休み)「唐太宗皇帝の書を習う(2)温泉銘」渭／今岡徳夫／「密度のある透明感」今岡徳夫

・硬筆習字部(競書休み)幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑪三月号第二十四卷第三号・改題第百八十一(百八十二)号／三月一日発行／表紙(硬筆)(子)2人

・「書のみかた(24)」有田光甫

・第九回北海道墨象会帯広大会研究発表「古典臨書階梯(3)佐藤大朴」
・幼・小学一・二年「ゆめ」百瀬和子／小学三・四年「うた声」原田正憲／小学五年「石油」玉有崇峰／小学六年「夕食」豊島鐘城

・中学一・二・三年「心の底」原・鄭長猷造像記

・高校：専門部(唐太宗皇帝の書を習う(3)晋嗣銘)／「功」江口草玄／「重さ」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑫四月号第二十四卷第四号・改題第百八十一(百八十二)号／四月一日発行／表紙(詩)(子)

・「ひびき合い」中村玉谿

・「ますますがんばりましょうね」大島礼子
・「鑑賞」(2人)江口草玄
・幼・小学一・二年「とぶ」尾玉義信／小学三年「牛の子」中本清峯／小学四年「本屋」岡田富美子／小学五年「化石」日置路花／小

学六年「職人」森霞外

・中学一年「日本の紙」今井満里／中学二・三年「砂の塔」樋口朝堂／「旅先の人情」野崎邦臣

・高校：専門部(唐太宗皇帝の書を習う(4)温泉銘)「波」今岡徳夫／「習う」ということの内容」今岡徳夫

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑬五月号第二十四卷第五号・改題第百八十二(百八十三)号／五月一日発行／表紙(詩)(子)

・第十八回ひびき展特集号

・幼・小学一年「おさる」奥村千鶴／小学二・三年「山井上有一」／小学四年「庭」佐賀三恵子／小学五・六年「岩肌」入沢勝義

・中学一・二・三年「行雲」原・顔真卿書

・高校：専門部(唐太宗皇帝の書を習う(5)尺牘)「事」江口草玄／「太宗の尺牘」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑭六月号第二十四卷第六号・改題第百八十三(百八十四)号／六月一日発行／表紙(詩)(子)

・小さな目：子供の詩書展特集号

・「ばちりルポ」子供の詩書展「座談会(子)3人他」

・「純粹に表現の場を与えよう」村上翔雲氏に聞く「神戸新聞版神総局有井基」

・幼・小学一年(競書休み)「むかし」(子)／小学二・三年(競書休み)「光」(子)／小学四年(競書休み)「表」(子)／小学五年(競書休み)「育」(子)／小学六年(競書休み)「侍」原・龍門造像記

・中学一年(競書休み)「侍」原・龍門造像記
／「鷗陽詢書」／中学二・三年(競書休み)「彫り字をしましよ」(子)3人
・高校：専門部(唐太宗皇帝の書を習う(6)温泉銘)「先」今岡徳夫／「洗心」叱咤」今岡徳夫

⑮七月号第二十四卷第七号・改題第百八十四(百八十五)号／七月一日発行／表紙(硬筆)(子)2人

・第九回北海道墨象会帯広大会研究発表「古典臨書階梯(4)佐藤大朴」

・「書のみかた(25)」有田光甫

・幼・小学一・二年「やま」(子)／小学三年「おに」(子)／小学四年「進む」奈良節夫／小学五年「空海」玉有崇峰

・小学六年「中学一年」船(子)／中学二・三年「原・顔氏家廟碑」

・高校：専門部(光明皇后の御書を習う(1)染殺論)「染殺不時」佐藤大朴／「岩盤のしなやかなのみ盤」佐藤大朴

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑯八月号第二十四卷第八号・改題第百八十五(百八十六)号／八月一日発行／表紙「山(子)」

・「美意識の統制は生き方の統制につながる(1)」高橋守一

・「鑑賞」(7人)江口草玄

・幼・小学一・二年「わに」野地紅霞／小学三・四年(絵日記を書きましよう) (子)3人

・小学五年「大豆」酒井静子／小学六年「生産」豊島鐘城

・中学一年「跳躍」森霞外／中学二・三年「隸書をかこう」原・孔宙碑／西狭頌／礼器碑

・高校：専門部(光明皇后の御書を習う(2)染殺論)「天平」井上有一／「のりこえた臨書」井上有一

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑰九月号第二十四卷第九号・改題第百八十六(百八十七)号／九月一日発行／表紙「鳴(子)」

・第24(25)回全日本一字競書大会及び第20(21)回全日本硬筆習字大会成績発表号
・幼・小学一・二年「かお」清水信男／小学三・四年「まつ黒」奥村千鶴／小学五年「遠く」佐賀三恵子／小学六年「働く人」中村玉谿
・中学一・二・三年 原・龍門造像記

・高校：専門部(光明皇后の御書を習う(3)染殺論)「風」関谷義道／「古典の真をつかも」関谷義道

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑱十月号第二十四卷第十号・改題第百八十七(百八十八)号／十月一日発行／表紙「進(子)」

・「美意識の統制は生き方の統制につながる(2)」高橋守一

・「書のみかた(26)」有田光甫

・幼・小学一・二年「ねこ」(子)／小学三年「長ぐつ」岡田富美子／小学四年「くもの糸」尾玉義信／小学五・六年「うすい墨で詩を書こう」(子)

・中学一年 原・鷗陽詢書／顔真卿書／中学二・三年「地面」(子)／「草とり」(子)

・高校：専門部(光明皇后の書を習う(4)染殺論)「貧」今岡徳夫／「光明皇后の染殺論を習う」今岡徳夫

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑲十一月号第二十四卷第十一号・改題第百八十八(百八十九)号／十一月一日発行／表紙(絵日記)(子)

・「第3回金蘭会書展」今井満里

・「時間について」堀尾勝彦

・幼・小学一・二年(競書休み)「あめ」(子)／小学三・四年(競書休み)「急」(子)／小学五・六年(競書休み)「達」(子)／「造」(子)／「船」(子)

・中学一・二・三年(競書休み)「月光」原・虞世南書

・高校：専門部(競書休み)「光明皇后の御書を習う(5)染殺論」其趣「岡部蒼風」／「用筆法」の一面を「岡部蒼風」

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校：一般 小林龍峰

⑳十二月号第二十四卷第十二号・改題第百八十九(百九十)号／十二月一日発行／表紙「かお」(子)

・楽教論の臨書を見て「関谷義道

「書のみかた」有田光甫

・幼・小学一・二年「原」始平公造像記

・小学三・四年「日づけ」(子)／小学五・六年

「年賀状を書き、書きぞめをしよう」(新し

い門口)「一家の春」関谷義道／(年賀状)

矢橋幸一／(子)

・中学一・二・三年(書きぞめ)と(年賀状)

野崎邦臣／山形頼子(二種類)／池田水城

／水上祥邦／金森朴堂／樋口梯右

・高校・専門部(光明皇后の御書を習う(6)楽

教論「天下」江口草玄「書の線」江口草

玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

昭和四十七年(一九七二)

①一月号(第二十五卷第一号)改題第百九十九

(百九十九号)／一月一日発行

・平安女学院高等学校書道部々展(クラブ

ノートより)

・書のみかた(28)有田光甫

・幼・小学一・二年「ゆき」藤川要／小学三・

四年「足あと」野地紅霞／小学五・六年「大

道」原「論経書詩」麻姑仙壇碑

・中学一年「朝の光」玉有崇峰／中学二・三

年「便相」塩野松雲／原「勸善文

・高校・専門部(唐の書を習う(1)孟法師碑)

「素江夏安」浅野五牛／法則性「浅野五牛

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

②二月号(第二十五卷第二号)改題第百九

十一(百九十二号)／二月一日発行／表紙

(詩)(子)

・第25(26)回全日本一字競書大会及び第21

(22)回全日本硬筆習字大会成績発表号

・「それぞれの花を咲かせよう」井上有一

・幼・小学一・二年(競書休み)「たこ」中本清

峯／小学三・四年(競書休み)「石炭」樋口

朝堂／(子)／小学五・六年(競書休み)「電波」小

学六年(競書休み)「町かど」酒井静

・中学一年(競書休み)「現代」入沢勝義／中

学二・三年(競書休み)「大唐」原「大唐中興

頌

・高校・専門部(競書休み(唐の書を習う(2)

祭姪文稿「每慰人心」金森朴堂)「解放

感」金森朴堂

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

③三月号(第二十五卷第三号)改題第百九

十二(百九十三号)／三月一日発行／表紙

(子)(子)

・「ひびき」の子の作品をみて、考えたこ

と「馬場恰

・「書のみかた(29)有田光甫

・「日記」から年頭に思う「有田光甫

・幼・小学一・二年「くさ」岡本恵美子／小学

三・四年「石けり」森霞外／小学四年「山の夕

日」佐賀三恵子／小学五年「足のうら」中

村玉谿／小学六年「手をつなぐ」三宅保郎

・中学一・二・三年「為」鄭「原」鄭長猷造像

記

・高校・専門部(唐の書を習う(3)顔氏家廟

碑)「唐故」池田水城「己の足で尋ね、己

の耳で聞く」池田水城

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

④四月号(第二十五卷第四号)改題第百九十

三(百九十四号)／四月一日発行／表紙「足

あと」(子)

・愚人展「愚人展に寄せて」江口草玄

・「入場者アンケート」

・幼・小学一・二年「みち」井田律子／小学三・

四年「自分」原「今から」三・四・五年前「中国

人の書いた書より)／小学四年「放送」鳴

海正雄／小学五年「直」(子)／小学六年「厚

(子)

・中学一・二・三年(下手)に書こう(子)2人

・高校・専門部(唐の書を習う(4)孔子廟堂

碑)「恒」高橋蒼玄「ぬけぬけとした大き

さ」高橋蒼玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

⑤五月号(第二十五卷第五号)改題第百九

十四(百九十五号)／五月一日発行／表紙

(風)(子)

・第十九回ひびき展特集号

・幼・小学一・二年(競書休み)「みず」百瀬和

子／小学三年(競書休み)「二列」下山秋翠

／小学四年(競書休み)「鳴子」奥村千鶴

／小学五年(競書休み)「民話」岡田富美子

／小学六年(競書休み)「なわ飛び」今井満里

・中学一年(競書休み)「日本の言葉」小田秀

幸／中学二・三年「伝統の美」豊島鐘城

・高校・専門部(唐の書を習う(5)争座位稿)

「豈不塩田隄洲」己眼「塩田隄洲

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

⑥六月号(第二十五卷第六号)改題第百九十

五(百九十六号)／六月一日発行／表紙(硬

筆)(子)

・「冬季オリンピック会場の作品」飛「佐藤

大朴

・「たのしい心でたのしい詩を書くことに

しましよう学習」篠田昭一

・幼・小学一・二年「やま」(子)／小学三年「山」

(子)／小学四年「山」(子)／小学五年「運河」早

苗恭子／小学六年「野の草」日置路花

・中学一・二・三年「麦の穂」奥村千鶴／原

・大聖武

・高校・専門部(唐の書を習う(6)孔子廟堂

碑)「皆」江口草玄「勁軟、両語ならず」江

口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

⑦七月号(第二十五卷第七号)改題第百九十

六(百九十七号)／七月一日発行

・大阪府立高校書道展に展示して「桜塚高

等学校書道部

・「佐藤大朴氏より」

・幼・小学一・二年「むぎ」関谷義道／小学三・

四年「貝がら」酒井静子／小学四年「海へ」野

地紅霞／小学五・六年「道」原「顔真卿書

・中学一・二年「小さな草」中村玉谿／「刻

む」園田熊美／中学三年「恩有」原「始平公

造像記

・高校・専門部(唐の書を習う(7)孔子廟堂

碑)「明哲」玉有崇峰「至高の心境」玉有

崇峰

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

⑧八月号(第二十五卷第八号)改題第百九

十七(百九十八号)／八月一日発行／表紙

(火)(子)

・第26(27)回全日本一字競書大会及び第22

(23)回全日本硬筆習字大会成績発表号

・「書のみかた(30)有田光甫

・幼・小学一・二年「とぶ」清水信男／小学

三・四年「星空」近藤豊子／小学五年「当

番」鳴海正雄／小学六年「運動」森霞外

・中学一年「見聞録」関谷義道／中学二・三

年「白い線」で字を書こう(子)2人

・高校・専門部(唐の書を習う(8)忠義堂帖)

「政可守不」桑原翠邦「忠義堂帖を習う」

桑原翠邦

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

⑨九月号(第二十五卷第九号)改題第百九十

八(百九十九号)／九月一日発行／表紙「や

ま」(子)

・「手本」を捨てよう「原田正憲

・「木簡の臨書」野崎邦臣

・幼・小学一・二年「すすき」関谷義道／小学

三・四年「大地」三浦関山／小学五年「台

風」奈良節夫／小学六年「笑顔」児玉義信

・中学一年「大燈」国師の書を習おう)／中学

二年「光明世界」玉有崇峰／中学三年「舞

う」今井満里

・高校・専門部(唐の書を習う(9)「相」江口

草玄「筆が、生きざまを生きる」江口草

玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校一般 小林龍峰

・編集後記「江口草玄

⑨十月号(第二十五卷第十号・改題第百九十九(二百)号)／十月一日発行／表紙刻む(子)

・一人間経より「池田直

・書と子どもと先生「日置路花

・幼・小学一・二年(競書休み)「いも」今岡徳夫／小学三年(競書休み)「よい友」中村玉谿／小学四年(競書休み)「秋の山」酒井静子／小学五年(競書休み)「壁画」河野久美子／小学六年(競書休み)「岬に立つ」入沢勝義

・中学一・二・三年(競書休み)「金冬心の書を習いましょう」

・高校・専門部(競書休み)「唐の書を習おう(10)伊関弘龕碑」陽陵岡部蒼風／「誠実さを大切に」岡部蒼風

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

⑩十一月号(第二十五卷第十一号・改題第二百(二百一)号)／十一月一日発行／表紙

「第二」

・「通」の作品を見て「塩野松雲

・人間の「生」の相「村木享子

・「も」と自分の本心を「高橋蒼玄

・幼・小学一・二年「いろり」石島よしみ／小学三・四年「夜長」豊島鐘城／小学五・六年「質素」原・サン宝子碑

・中学一年「問屋」野崎邦臣／中学二・三年「開拓」奈良節夫／「溶岩」森霞外

・高校・専門部「唐の書を習う(11)竹山連句」

・「堂馬場怜」顔真卿の竹山連句「馬場怜

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

⑪十二月号(第二十五卷第十二号・改題第

二百一(二百二)号)／十二月一日発行／表紙

(硬筆)(子)

・幼・小学一・二年(たのしいねんがじょう

をだそう)そして、がんばってかきぞめ

めをかこう。(子)3人／大人2人／小学

三・四年(年賀状と書きぞめ)(子)6人／小

学五・六年「正直」井上有一／(子)4人／中

学一年(年賀状を出しましたか。書きぞ

めも練習しましょう)「つくし」井上有一

／(子)4人／中学二・三年／高校・専門部

(年賀状と書きぞめ)大人10人

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

昭和四十八年(一九七三)

⑫一月号(第二十六卷第一号・改題第

二百二(二百三)号)／一月一日発行／表紙

「雲」(子)

・第27(28)回全日本一字競書大会及び第23

(24)回全日本硬筆習字大会成績発表号

・幼・小学一・二年「くり」今岡徳夫／小学三・

四年「一本松」三浦関山／小学四年「本松」

佐賀三恵子／小学五年「果物」野地紅霞

・小学六年「社会」玉有崇峰

・中学一・二・三年「太保」井上有一／原・顔

氏家廟碑

・高校・専門部(仮名を習う(1)高野切第一

種)「しんとゆふ」まりく「江口草玄」／「ね

ばり」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

⑬二月号(第二十六卷第三(二)号・改題第

二百三(二百四)号)／二月一日発行／表紙

「い

ろり」(子)

・「お話の絵」中村二柄

・「鑑賞」(8人)江口草玄

・「ポールペン」サインペン・毛筆「小林龍峰

・幼・小学一・二年(競書休み)「くも」奥村千鶴／小学三・四年(競書休み)「石がき」小田秀幸／小学五年(競書休み)「永遠」近藤豊子／小学六年(競書休み)「体の動き」森霞外

・中学一・二・三年(競書休み)「宇宙調和」玉

有崇峰／「彫る」園田熊実

・高校・専門部(競書休み)「仮名を習う(2)

良寛詩「牽羅き裳能」呂者難「江口草玄」

・「躍」その大きな世界「江口草玄」

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

⑭三月号(第二十六卷第三号・改題第

二百四(二百五)号)／三月一日発行

(鑑賞)(9人)

・「大阪府下高校書道展」を話題の中心に

して(1)幸田峰月／中川寒泉／原納大梅

山／原田正憲／秀島踏破

・幼・小学一・二年「みち」田村みや子／小学

三年「大空」豊島鐘城／小学四年「小雨」佐

賀三恵子／小学五年「山の畑」入沢勝義

・小学六年「宇治川」酒井静子

・中学一年「妾陳王」原・鄭長猷造像記／中

学二・三年「東海道」児玉義信

・高校・専門部(仮名を習う(3)藤原定家書

基俊集付登蓮集「いゑつと耳」江口草玄

・「相剋」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

⑮四月号(第二十六卷第四号・改題第

二百五(二百六)号)／四月一日発行／表紙(硬筆)

(子)

・「鑑賞」(17人)江口草玄

・「大國隆正という人」三宅保郎

・幼・小学一・二年「つくし」藤川要／小学三

年「牛の目」鳴海正雄／小学四年「地図」中

本清峯／小学五年「砂山」野地紅霞／小学

六年「花びら」関谷義道

・中学一・二・三年(雁塔聖教序を習おう)

・高校・専門部(後宇多天皇宸翰弘法大師画

像賛を習う(1)「由」塩野松雲／「弘法大師

画像賛を学ぶ」塩野松雲

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

⑯五月号(第二十六卷第五号・改題第

二百六(二百七)号)／五月一日発行／表紙(詩)(子)

・第二十回ひびき展特集号

・幼・小学一・二年(競書休み)「ひばり」早苗

恭子／小学三・四年(競書休み)「草」(子)

・小学五・六年(競書休み)「歌」

・中学一年(競書休み)「朝の運動」森霞外

・中学二・三年(競書休み)「近代科学」野地

紅霞

・高校・専門部(競書休み)「後宇多天皇宸翰

弘法大師画像賛を習う(2)「門徒」池田水城／「弘法大師画像賛」池田水城

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

⑰六月号(第二十六卷第六号・改題第

二百七(二百八)号)／六月一日発行／表紙「山の

畑」(子)

・「臨書と創作」大阪府立桜塚高等学校書

道教室における「書道クラブ員の討論」

・「鑑賞」(4人)江口草玄

・幼・小学一・二年「むぎ」茅田巴里／小学

三・四年「人こみ」(子)／小学五年「星座」今

井満里／小学六年「縄文」岡田富美子

・中学一・二・三年(龍門造像記を習いまし

よう)

・高校・専門部(後宇多天皇宸翰弘法大師画

像賛を習う(3)「弘」江口草玄／「三回の体

験」江口草玄

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

⑱七月号(第二十六卷第七号・改題第

二百八(二百九)号)／七月一日発行／表紙「牛の

目」(子)

・「大阪府下高校書道展」を話題の中心に

して(2)幸田峰月／中川寒泉／原納大梅

山／原田正憲／秀島踏破

・幼・小学一・二年「はし」今井満里／小学

三・四年「海」(子)／「朝」(子)／小学五・六年

「自分」原・鵬陽詢書

・中学一年「旅人」樋口梯右／中学二・三年

「歴史小説」森霞外

・高校・専門部(良寛の書を習う(1)「今晚」

塩野松雲)「良寛のリズム」塩野松雲

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校・一般 小林龍峰

・「編集室」江口草玄

⑲八月号(第二十六卷第八号・改題第

二百九(二百十)号)／八月一日発行／表紙(安)(子)

・第28(29)回全日本一字競書大会及び第24

(25)回全日本硬筆習字大会成績発表号

・「鑑賞」(9人)江口草玄

⑳九月号(第二十六卷第九号・改題第

三百(三百一)号)／九月一日発行／表紙

(子)

・「お話を聞いて」塩野松雲

・人間の「生」の相「村木享子

・「も」と自分の本心を「高橋蒼玄

・幼・小学一・二年「いろり」石島よしみ／小

学三・四年「夜長」豊島鐘城／小学五・六年

「質素」原・サン宝子碑

・中学一年「問屋」野崎邦臣／中学二・三年

「開拓」奈良節夫／「溶岩」森霞外

・高校・専門部「唐の書を習う(12)竹山連句」

「堂馬場怜」顔真卿の竹山連句「馬場怜

・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・

二・三年／高校・一般 小林龍峰

・幼・小学一・二年「いね」今岡徳夫／小学三・四年「学」(子)／小学五・六年(詩をつくり、詩を書く)(子)
・中学一年「虫の声」奈良節夫／中学二・三年「旅行記」関谷義道／「詩人」佐賀三恵子
・「良寛書を臨書する」(2)「寒暑」関谷義道／「良寛書を臨書する」関谷義道
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

①九月号(第二十六卷第九号)改題第二百十二号(二百一十号)／九月一日発行／表紙星座(子)
・「お友だちの作品のいいところ、わるいところ かんじたことを、みんなで文章に書きました」(子)／大島礼子
・幼・小学一・二年「ゆめ」金森朴堂／小学三・四年(おイモのハンコをつくりましよう)(子)2人／小学五・六年(消シゴムの「印」をつくりましよう)(子)7人
・中学一・二・三年「印を彫ろう」(子)8人
・高校(言葉を彫りつけましよう)(子)8人
・専門部「良寛の書を習う」(3)「過大沢華空」／「刻々を生きたる良寛」大沢華空
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

②十月号(第二十六卷第十号)改題第二百一十一号(二百一十二号)／十月一日発行／表紙(海)(子)
・先生訪問「池田水城氏」(無記名)江口草玄(か)
・幼・小学一・二年「あさ」石島よしみ／小学三・四年「母」原広川王賀蘭汗造像記／小学五・六年「夜道」児玉義信
・中学一・二・三年「南北」湖上清園／原・皇甫誕碑
・高校・専門部(良寛の書を習う)(4)「安之悲」能・佐藤大朴／「人間風在の書」良寛と放哉 佐藤大朴
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

③十一月号(第二十六卷第十一号)改題第二百一十二号(二百一十三号)／十一月一日発行／表紙(詩)(子)
・「良寛書の臨書作品を見て」関谷義道
・今月のよい作品
・幼・小学一・二年「かお」樋口梯右／小学三・四年「足ぶみ」酒井静子／小学五年「奉仕」森霞外／小学六年「収穫」三宅保郎
・中学一・二・三年「幻想」野崎邦臣／原・法華義純
・高校・専門部(漢隷を習う)(1)張遷碑)「幕」今井満里／「真正直をまつしぐらにおしきった書」今井満里
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

④十二月号(第二十六卷第十二号)改題第二百一十三号(二百一十四号)／十二月一日発行／表紙(硬筆)(子)
・「生活と書」塩野松雲
・幼・小学一・二年「心」／小学三年「写」(子)／小学四年「大男」(子)／小学五・六年「寺の屋根」茅田巴里
・中学一・二・三年「書きぞめをしましよう」
・「賞花釣魚光風動春」森霞外／原・顔真卿書
・高校・専門部(漢隷を習う)(2)楊淮表紀)「伯母」岡部蒼風／「屈託のなさ」岡部蒼風
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

昭和四十九年(一九七四)
⑤一月号(第二十七卷第一号)改題第二百一十四号(二百一十五号)／一月一日発行／表紙(変)(子)
・第29(30)回全日本一字競書大会及び第25(26)回全日本硬筆習字大会成績発表号
・幼・小学一・二年「はしる」清水信男／小学三・四年「こなゆき」金森朴堂／小学五年「働く」田村みや子／小学六年「労働」豊島鐘城
・中学一・二・三年 原・李崎詩残巻
・高校・専門部(漢隷を習う)(3)西狭頌)「都」

井上有一「ガバリ」と書く)井上有一
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

⑥二月号(第二十七卷第二号)改題第二百一十五号(二百一十六号)／二月一日発行／表紙(か)(子)
・先生訪問「清水草舟氏」(無記名)江口草玄
・幼・小学一・二・三年(競書休み)「いろり」(子)2人／小学四・五年(競書休み)「手紙」(子)／小学六年(競書休み)雲の色(子)
・中学一・二・三年(競書休み)「飛白」の書を書きましよう)「山部亦人」野崎邦臣
・高校・専門部(競書休み)漢隷を習う(4)西狭頌)百姓(三種類)関谷義道)「みる」関谷義道
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「風をかく」佐藤大朴
・「編集室」江口草玄

⑦三月号(第二十七卷第三号)改題第二百一十六号(二百一十七号)／三月一日発行／表紙(硬筆)(子)
・「むかしの作文」有田光甫
・鑑賞(19人)江口草玄
・幼・小学一・二年「ひかり」奥村千鶴／小学三・四年「詩をつくらう」詩をかこう(子)／小学五年「お茶」井田律子／小学六年「道ばた」森霞外
・中学一・二・三年「顔」(子)原・顔氏家廟碑
・高校・専門部(鐘繇の書を習う)「薦季直表」
・「直」馬場怜／「鐘繇について」馬場怜
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「地べたのぬくとさ」わたしの「反古」江口草玄
・「編集室」江口草玄

⑧四月号(第二十七卷第四号)改題第二百一十七号(二百一十八号)／四月一日発行／表紙(印)(子)
・「ダイコン」ニンジン・サツマイモ」篠田昭

⑨五月号(第二十七卷第五号)改題第二百一十八号(二百一十九号)／五月一日発行／表紙(没)(子)
・第21回全国展特集号
・幼・小学一・二年(競書休み)「くつ」近藤豊子／小学三・四・五・六(競書休み)「石」(子)／和(子)
・中学一・二・三年(競書休み)「竹の子」
・高校・専門部(鐘繇の書を習う)(3)「薦季直表」困」原田正憲／「困」原田正憲
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

⑩六月号(第二十七卷第六号)改題第二百一十九号(二百二十号)／六月一日発行／表紙(詩)(子)
・先生訪問「中村玉谿氏」(無記名)江口草玄(か)
・幼・小学一・二年「あせ」(子)／小学三・四年「直」(子)／小学五・六年「小川」日置路花／「水たまり」茅田巴里
・中学一・二・三年「華」(子)原・光明皇后御臨樂歎論
・高校・専門部(鐘繇の書を習う)(4)墓田丙舎帖)「於城西」浅野五牛／「努力の人」浅野五牛
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

⑪「おたより」
・幼・小学一・二年「やね」佐賀三恵子／小学三・四年「月」原・顔真卿書／小学五年「予定」富田九鳴／小学六年「先輩」野地紅霞
・中学一・二・三年「良寛の書を習いましよう」二功績「塩野松雲」
・高校・専門部(鐘繇の書を習う)(2)「薦季直表」先帝」池田水城)「臨書に添えて」池田水城
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「宝所在近今井満里」
・「編集室」江口草玄

⑫「おたより」
・幼・小学一・二年「やね」佐賀三恵子／小学三・四年「月」原・顔真卿書／小学五年「予定」富田九鳴／小学六年「先輩」野地紅霞
・中学一・二・三年「良寛の書を習いましよう」二功績「塩野松雲」
・高校・専門部(鐘繇の書を習う)(2)「薦季直表」先帝」池田水城)「臨書に添えて」池田水城
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「宝所在近今井満里」
・「編集室」江口草玄

⑬「おたより」
・幼・小学一・二年「やね」佐賀三恵子／小学三・四年「月」原・顔真卿書／小学五年「予定」富田九鳴／小学六年「先輩」野地紅霞
・中学一・二・三年「良寛の書を習いましよう」二功績「塩野松雲」
・高校・専門部(鐘繇の書を習う)(2)「薦季直表」先帝」池田水城)「臨書に添えて」池田水城
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校一般 小林龍峰
・「宝所在近今井満里」
・「編集室」江口草玄

②七月号(第二十七卷第七号)改題第二百二十(二百二十一)号)七月一日発行/表紙(硬筆)(子)

・皆さん!!岡徳
・幼・小学一・二年「バス」(子)/小学三・四年「外」(子)/前「子」/小学五・六年「はり字」をしましよ(子)

・中学一・二・三年「彫り字」と「拓本とり」(子)
・高校・専門部(木簡を習う)(1)「為之当如」野崎邦臣/「真剣・自由」野崎邦臣
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「よきひとよ」篠田昭二
・「編集室」江口草玄

②八月号(第二十七卷第八号)改題第二百二十一(二百二十二)号)八月一日発行/表紙(側)(子)

・第30(31)回全日本一字競書大会及び第26(27)回全日本硬筆習字大会成績発表号
・幼・小学一・二年「たま」井田律子/小学三・四年「山びこ」早苗恭子/小学五・六年「紙」(子)

・中学一・二・三年「さん宝子碑を習いませよ」(「雲仙」酒井静子)
・高校・専門部(木簡を習う)(2)「居延」塩野松雲/「面白さと速さ」塩野松雲
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

②九月号(第二十七卷第九号)改題第二百二十二(二百二十三)号)九月一日発行/表紙「火山」(子)

・生命の書「はしっている書」清水信男
・幼・小学一・二年「くま」三浦関山/小学三年「うすい墨の美しさ」庭「子」/小学四年「うすい墨の美しさ」漁/小学五・六年「雨の音」(二種類)茅田巴里

・中学一・二・三年「白い鳥」野地紅霞/原・顔勤礼碑
・高校・専門部(木簡を習う)(3)「直」馬場伶
・「自分をうたうリズム」馬場伶
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・

四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

②十月号(第二十七卷第十号)改題第二百二十三(二百二十四)号)十月一日発行/表紙(詩)(子)

・鑑賞(12人)村木亨子
・幼・小学一・二年「競書休み」なし/田村みや子/小学三・四年「競書休み」大地「子」/小学五年「競書休み」松林/奥村千鶴/小学六年「競書休み」肩車/鳴海正雄
・中学一・二・三年「楮屋良の書を習おう」

・「菩提寺」石島よしみ
・高校・専門部(木簡を習う)(4)「梁」今岡徳夫/「初心」今岡徳夫
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

②十一月号(第二十七卷第十一号)改題第二百二十四(二百二十五)号)十一月一日発行/表紙(硬筆)(子)

・硬筆の勉強「小林龍峰」
・幼・小学一・二年「ぶどう」(子)/小学三・四年「花」(子)/川「子」/小学五・六年「昔の中国の字を習いませよ」原「造像記」

・中学一・二・三年「顔真卿の書を習いませよ」
・「散歩」今井満里/原「宋璟碑側記」
・高校・専門部(集字聖教序を習う)(1)「仏道崇虚」浅野五牛/「平正」浅野五牛
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「忙中書作」高橋蒼玄
・「編集室」江口草玄

②十二月号(第二十七卷第十二号)改題第二百二十五(二百二十六)号)十二月一日発行/表紙(張り字)(子)

・おもしろい作品ですね「中村玉谿」
・幼・小学一・二年「いし」野地紅霞/小学三・四年「雲」/小学五年「庭先」日置路花
・小学六年「絵馬」中本清峯

・中学一・二・三年「年賀状をつくりませよ」
・高校・専門部(集字聖教序を習う)(2)「天地」

苞乎「金森朴堂」/「意先筆後」金森朴堂
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「時間について」堀尾勝彦
・「編集室」江口草玄

昭和五十年(一九七五)
②一月号(第二十八卷第一号)改題第二百二十六(二百二十七)号)一月一日発行/表紙「朝」(子)

・第31(32)回全日本一字競書大会及び第27(28)回全日本硬筆習字大会成績発表号
・「一字競書」(子)40点/硬筆(子)14点
・幼・小学一・二年「こま」井田律子/小学三・四年「平地」(子)/小学五・六年「昔の中国の字を習いませよ」(「感」)

・中学一・二・三年「花意竹情」森霞外/「探検」入沢勝義/「主張」藤川要
・高校・専門部(集字聖教序を習う)(3)「三蔵」池田水城/「臨書に添えて」池田水城
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

②二月号(第二十八卷第二号)改題第二百二十七(二百二十八)号)二月一日発行/表紙「花」(子)

・先生訪問「神野弘道氏」(無記名)江口草玄
・か「(硬筆14例(子)あり)」
・幼・小学一・二年「競書休み」(「し」をかきましよう)「(詩)あめ」(子)/小学三・四年「競書休み」刃「子」/「写生」(子)/小学五・六年「競書休み」紙すき「佐賀三恵子」

・中学一・二・三年「池大雅の書を習おう」
・「邪魔」塩野松雲
・高校・専門部(集字聖教序を習う)(4)「内典」江口草玄/「習ってみて」江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

②三月号(第二十八卷第三号)改題第二百二十八(二百二十九)号)三月一日発行/表紙「庭先」(子)

・木簡と顔真卿の宋璟碑側記の臨書を

見て「野崎邦臣」6例(子)あり
・「集字聖教序の臨書」江口草玄(10例(子)あり)

・幼・小学一・二年「つち」門田其外/小学三・四年「日光」茅田巴里/小学四年「つみ草」酒井静子/小学五年「花くもり」石島よしみ/小学六年「草のかおり」中村玉谿

・中学一・二・三年「自信」森霞外/原「西狭」
・高校・専門部(白隠の書)(1)「常念」塩野松雲/「白隠を叩く」塩野松雲
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「一人の表現」大沢華空
・「編集室」江口草玄

②四月号(第二十八卷第四号)改題第二百二十九(二百三十)号)四月一日発行/表紙「庭先」(子)

・「みんなでお友だちの作品を見て考えましよう」(8例(子)あり)中村玉谿/淵上清園/石本安広
・幼・小学一・二年「あし」今泉楓佳/小学三・四年「そよ風」岡田富美子/小学五・六年「文字」大地

・中学一・二・三年「高貞碑を習いませよ」
・「拡大」下山秋翠
・高校・専門部(白隠の書)(2)「金剛」関谷義道/「SY式」下敷「関谷義道」
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・四年/小学五・六年 関谷義道/中学一・二・三年/高校・一般 小林龍峰
・「編集室」江口草玄

②五月号(第二十八卷第五号)改題第二百三十(二百三十一)号)五月一日発行/表紙「利」(子)

・第二十二回ひびき全国展特集号
・「書」(子)27点
・幼・小学一・二・三年「競書休み」やね「子」/小学四・五・六年「競書休み」十人「北野」智子

・中学一・二・三年「競書休み」規律「鳴海正雄」/「写真」奈良節夫
・高校・専門部(白隠の書)(3)「音」大沢華空
・「形なき形」大沢華空
・硬筆習字部 幼・小学一・二年/小学三・

四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

②六月号第二十八卷第六号・改題第二百三十一(二百三十二)号／六月一日発行／表紙有(子)

〔中学校習字教科書批判〕奈良節夫
・幼・小学一・二年「ひも」入沢勝義／小学三・四年「名前」田村みや子／「あだ名」奥村千鶴／小学五・六年「飛」清水信男
・中学一・二・三年「孟法師碑を習いませう」言論三浦関山
・高校・専門部「関戸本古今集を習う(1)」支佐いの宮のう「江口草玄」見つつ習いつつ「江口草玄」

硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

③七月号第二十八卷第七号・改題第二百三十二(二百三十三)号／七月一日発行／表紙(硬筆)(子)

・幼・小学一・二年「まり」藤川要／小学三・四年「切手」酒井静子／小学五・六年「勇」(子)草(子)
・中学一・二・三年「劉石安の書を習いませう」水音「森下松径」原「斐行儉佚事」高校・専門部「関戸本古今集を習う(2)」伊つ者利と於もふ「江口草玄」目をみはる「江口草玄」

硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

④八月号第二十八卷第八号・改題第二百三十三(二百三十四)号／八月一日発行／表紙(花)(子)

第32(33)回全日本一字競書大会及び第28(29)回全日本硬筆習字大会成績発表号
・(二字競書)(子)40点／硬筆(子)8点
・幼・小学一・二・三年「し」をかきまじょう(詩)ぞうさん(子)／小学四・五・六年(詩をつくり、詩を書く)「星は光る」(子)きれいな声(子)

〔中学校習字教科書批判〕奈良節夫
・幼・小学一・二年「ひも」入沢勝義／小学三・四年「名前」田村みや子／「あだ名」奥村千鶴／小学五・六年「飛」清水信男
・中学一・二・三年「孟法師碑を習いませう」言論三浦関山
・高校・専門部「関戸本古今集を習う(1)」支佐いの宮のう「江口草玄」見つつ習いつつ「江口草玄」

・中学一・二・三年「鄭道昭の書を習う」舞台「三宅保郎」
・高校・専門部「空海の書を習う(1)」高雄山寺「岡部蒼風」名手「岡部蒼風」
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

⑤九月号第二十八卷第九号・改題第二百三十四(二百三十五)号／九月一日発行／表紙「名前」(子)

・自己の生にめざめる書教育「秀島路波」(3例)(子あり)
・幼・小学一・二・三年「子」(子)／「詩」(子)／小学四・五・六年「未来」中本清峯「荷台」井田律子
・中学一・二・三年「顔真卿の行書(祭姪文稿)を習いませう」運河「野地紅霞」
・高校・専門部「空海の書を習う(2)」光仁「馬場恰」もり上がるもの「馬場恰」

硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

⑥十月号第二十八卷第十号・改題第二百三十五(二百三十六)号／十月一日発行／表紙「切手」(子)

・試み「清水信男(3例)(子あり)」
・「学習ノート」豊中高等学校4人
・幼・小学一・二年「競書休み」さく「三浦関山」小学三・四年「競書休み」雲(子)／「道」(子)小学五・六年「競書休み」二側(子)
・中学一・二・三年「競書休み」(集字聖教序を習いませう)「公害」樋口佛右
・高校・専門部「競書休み」空海の書を習う(3)「国」石本安広

硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

⑦十一月号第二十八卷第十一号・改題第二百三十六(二百三十七)号／十一月一日発行／表紙「山の上」(子)

・批評「兵庫県三木東高等学校二年生／公

森仁(10例)(子あり)
・幼・小学一・二年「かお」(子)／小学三・四年「なわとび」日置路花／小学五・六年「琴」(子)雲の色(子)
・中学一・二・三年「木簡を習いませう」
・「いい音」佐賀三恵子
・高校・専門部「晋唐小楷書孝女曹娥碑を習う」伍君逆濤而上「村上翔雲」仙菓の香り「村上翔雲」

硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

⑧十二月号第二十八卷第十二号・改題第二百三十七(二百三十八)号／十二月一日発行／表紙(硬筆)(子)

・「彩拓のこ」と今井満里
・(硬筆)(子)16点
・幼・小学一・二年「ねこ」(子)／小学三・四年「ハンコをつくりませう」4例(子)／小学五・六年「版を彫つて、年賀状におしましよ」2例(子)
・中学一・二・三年「年賀状」
・高校・専門部「晋唐小楷書孝女曹娥碑を習う(2)」女巧「江口草玄」隸意「江口草玄」
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

昭和五十一年(一九七六)

⑨一月号第二十九卷第一号・改題第二百三十八(二百三十九)号／一月一日発行／表紙「道」(子)

第33(34)回全日本一字競書大会第29(30)回全日本硬筆習字大会成績発表号
・(二字競書)(子)44点／硬筆(子)8点
・幼・小学一・二年「そら」門田其外／小学三・四年「馬」三上礼子／小学五・六年「銀色」豊島鐘城
・中学一・二・三年「角度」奈良節夫／原・建中告身帖
・高校・専門部「晋唐小楷書孝女曹娥碑を習う(3)」分葩「江口草玄」萌えるかがやき「江口草玄」

硬筆習字部 幼・小学一・二・三年／小学四・五・六年 関谷義道／中学・高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

⑩二月号第二十九卷第二号・改題第二百三十九(二百四十)号／二月一日発行／表紙「かお」(子)

先生訪問「岡田富美子氏」(無記名「江口草玄か」(12例)(子あり))
・幼・小学一・二年「競書休み」チビ「今泉楓佳」小学三・四年「競書休み」家(子)／用心(子)／小学五・六年「競書休み」近所「渡辺一夫」垂直「芽田巴里」
・中学一・二・三年「競書休み」雁塔聖教序を習おう

・高校・専門部「競書休み」(李嶠百詠断簡を習う(1))「入娥眉」塩野松雲「厳しい温かさ」塩野松雲
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

⑪三月号第二十九卷第三号・改題第二百四十(二百四十一)号／三月一日発行／表紙「おめでと」(子)

「わたしに問われつづけているもの」教育の破壊と創造のあいだで「中村玉谿」(6例)(子あり)
・(子供の手紙3人)
・幼・小学一・二年「にわ」岡本恵美子／小学三・四年「夕空」三浦関山／小学五・六年「太陽」関谷義道
・中学一・二・三年「雅印をつくりませう」(7例)(子あり)

硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
〔編集室〕江口草玄

⑫四月号第二十九卷第四号・改題第二百四十一(二百四十二)号／四月一日発行／表紙(硬筆)(子)

・鑑賞(硬筆29人(江口草玄)(子))
・幼・小学一・二年「みず」近藤豊子／小学

・高校・専門部「李嶠百詠断簡を習う(2)」如白馬来「浅野五牛」心の起伏「浅野五牛」
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・わが作品「森霞外」
〔編集室〕江口草玄

⑬四月号第二十九卷第四号・改題第二百四十一(二百四十二)号／四月一日発行／表紙(硬筆)(子)

・鑑賞(硬筆29人(江口草玄)(子))
・幼・小学一・二年「みず」近藤豊子／小学

・高校・専門部「晋唐小楷書孝女曹娥碑を習う(3)」分葩「江口草玄」萌えるかがやき「江口草玄」

三・四年「朝(子)」「小川(子)」「小学五・六年」
〔庭(子)〕
・中学一・二・三年「顔真卿の書を習いませよ」
〔宝〕清水信男
・高校・専門部(李嶠百詠断簡を習う(3))
〔霄〕公森仁
〔臨書は、こわい〕公森仁
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・編集室「江口草玄」

②五月号(第二十九卷第五号)改題第二百四十二(二百四十三)号／五月一日発行／表紙(子)

・第二十三回ひびき全国展特集号
・鑑賞(35人(江口草玄))
・幼・小学一・二・三年(競書休み)「大」／小学四・五・六年(競書休み)「男(子)」／誠(子)／中学一・二・三年(競書休み)「静」奥村千鶴
〔真珠〕奈良節夫
・高校・専門部(競書休み)(木簡を習う(1))
〔五寸〕池田水城
〔宝库〕池田水城
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・編集室「江口草玄」

③六月号(第二十九卷第六号)改題第二百四十三(二百四十四)号／六月一日発行／表紙「友情(子)」

・高校生の目(1)大阪府立豊中高等学校「秀島踏波(5例(子)あり)」
・自尊心否定「塩野松雲」
・子供の手紙(2人)
・幼・小学一・二年「山(子)」／くも(子)／小学三・四年「大声」入沢勝義
〔投〕鳴海正雄
〔小学五・六年〕家ぞく「佐賀三恵子」
〔あき地〕田村みや子
・中学一・二・三年(高貞碑を習いませよ)〔二羽〕豊島鐘城
・高校・専門部(木簡を習う(2))「道」関谷義道
〔私の古典学習〕関谷義道
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・編集室「江口草玄」

④七月号(第二十九卷第七号)改題第二百四十四(二百四十五)号／七月一日発行／表紙(硬筆2人(子))

・高校生の目(2)大阪府立豊中高等学校「秀島踏波(6例(子)あり)」
・幼・小学一・二年「すな」田村みや子／小学三・四年「草(子)」／問(子)／小学五・六年 原・鷗陽陶書
・中学一・二・三年「先頭」森霞外／原・集字聖教序
・高校・専門部(木簡を習う(3))「人画」堀尾勝彦
〔木簡を書く〕堀尾勝彦
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・編集室「江口草玄」

⑤八月号(第二十九卷第八号)改題第二百四十五(二百四十六)号／八月一日発行／表紙「石(子)」

・第34(35)回全日本一字競書大会第30(31)回全日本硬筆習字大会成績発表号
〔一字競書(子)40点〕
・幼・小学一・二・三年「ふで」(子)／小学四・五・六年「詩を書きませよ」
〔三日月にんじん(子)〕
〔野原ノ(子)〕
・中学一・二・三年「野」日置路花／原・池大雅書
〔サン〕宝子碑
・高校・専門部(孔子廟堂碑を習う(1))「道」金森林堂
〔孔子廟堂碑について〕金森林堂
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・編集室「江口草玄」

⑥九月号(第二十九卷第九号)改題第二百四十六(二百四十七)号／九月一日発行／表紙「家ぞく(子)」

・中国二週間の旅今井満里(12例(子)あり)
〔ひびき巡回展〕大浦真理子
・幼・小学一・二年「いね」(子)／小学三・四年(切り紙作品をつくりませよ)「百(子)」
〔小学五・六年〕星(子)／鉄「中村玉谿」
・中学一・二・三年(雁塔聖教序を習いませよ)「親切」野地紅霞
〔載以〕比田井天来
・高校・専門部(孔子廟堂碑を習う(2))「参天」今井満里
〔たつぷりとした線〕今井

満里
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・編集室「江口草玄」

⑦十月号(第二十九卷第十号)改題第二百四十七(二百四十八)号／十月一日発行／表紙「草(子)」

・鑑賞(23人(江口草玄))
〔書への願い〕堀尾勝彦
・見てもよし食べてもよし「塩野松雲」
・幼・小学一・二年(競書休み)「ねこ」(子)／小学三・四年(競書休み)「近」
〔小学五・六年(競書休み)二人のくせ〕北野智子
〔かげぼうし〕岡田富美子
・中学一・二・三年(競書休み)(詩の作品をつくりませよ)〔5例(子)あり〕
・高校・専門部(孔子廟堂碑を習う(3))「累商」江口草玄
〔素純〕江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・編集室「江口草玄」

⑧十一月号(第二十九卷第十一号)改題第二百四十八(二百四十九)号／十一月一日発行／表紙「原っぱみどり(子)」

・臨書指導考「磯部南海雄(7例(子)あり)」
〔柏汁一椀〕塩野松雲
・鑑賞(4人(江口草玄))
・幼・小学一・二年「かお」(子)／小学三・四年「ふね」(子)／白鳥(子)／小学五・六年「道ばた」酒井静
〔かれ草〕
・中学一・二・三年(良寛の書を習いませよ)〔一球〕(子)
・高校・専門部(張猛龍碑を習う(1))「府」塩田健洲
〔盤石の構えとたくましい線〕塩田健洲
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・編集室「江口草玄」

⑨十二月号(第二十九卷第十二号)改題第二百四十九(二百五十)号／十二月一日発行／表紙「響」表示「いね(子)」

・鑑賞硬筆(16人(江口草玄))

・埼玉光支部 大沢力くんのページ」
・鑑賞(5人(江口草玄))
〔個人会員の方へのお願い〕
・幼・小学一・二年「ゆき」(子)／小学三・四年「雲」(子)2人／小学五・六年「土手」藤川要
〔寒氣〕奈良節夫
・中学一・二・三年(書きぞめの練習をませよ)「龍祥鳳舞」(二種類)森霞外
・高校・専門部(張猛龍碑を習う(2))「初中」江口草玄
〔疑問の中での臨書〕江口草玄
・硬筆習字部 幼・小学一・二年／小学三・四年／小学五・六年 関谷義道／中学一・二・三年／高校・一般 小林龍峰
・編集室「江口草玄」